

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2018年 6月 27日

①事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション					
②測定ツール名	スタディーサポート α タイプ、 β タイプ、 θ タイプ					
③主な対象者	主に、四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
	○	○	○			○
⑥申請する測定ツールの目的・概要	<p>【目的】 大学進学に向けた、国語・数学・英語の基礎学力の定着度と学習力（学習習慣・学習方略等）について把握することで学校の指導改善、生徒の学習改善・基礎学力の定着・向上に役立てていただくことを目的とする。</p> <p>【概要】 ・生徒個人向けに、基礎学力の到達状況とその状況に基づいた個別の学習課題を結果として提供するとともに、課題克服に向けた教材や学習アドバイスを提供することで、受験結果を次の学習改善につなげます。学校へは学年集団の特性がわかる概況データ及びクラス担任・教科担任先生用に学習状況を踏まえた情報を提供することで、指導改善や生徒への声かけの材料として活用いただけます。 ・難易度は3タイプあり、3学年5回（1・2年は2回、3年は1回）の各回で履修進度に応じた出題範囲を設定しています。義務教育範囲を含めた出題は1年1回でのみの出題となっています。 ・各教科「マーク解答式」問題と「記述式」問題に分かれており、主に、「マーク式」問題では基礎学力の「知識・技能」を、「記述式」問題では「思考力・判断力・表現力」を測定します。</p>					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	<p>【特長】 ・事前にドリル問題と目標設定ワーク付き冊子を提供します。この冊子には、診断結果を見て取り組める事後ワークシートやアドバイスもついており、生徒個人が振り返りを行うことで次の学習改善を促します。学力診断については、その結果に応じた復習問題を生徒個別に結果データとあわせて提供し、自身の改善点を自覚し復習に取り組むしくみとなっています。また、問題演習だけでなく学習の仕方や工夫にも具体的なアドバイスを提供します。 ・出題内容は実施時期に合わせた進度対応となっており、各回で異なります。問題難易度は3タイプ（難度順にβ、α、θ）を用意しており、β・αタイプは過年度比較用の同一問題（毎年同じ問題）、又は新作問題の選択が可能です。θタイプは、前年度同一問題のみとなっています。</p> <p>【活用例】 1年4月入学直後に実施し、入学段階での「基礎学力」と「学習力」の初期把握を行い、その結果を学年の指導計画に反映します。また、個人結果をもとにしたクラス担任先生の個別面談により生徒一人ひとりの状況把握ができます。1年9月に第2回を受けることで、4月からの学力の推移と学習力の変容を把握し、4月からの指導成果を検証することで、学年後半の指導改善につなげます。</p>					
⑧実施期間、年間実施回数	<p>実施期間：第1回（3月～5月末）：1年・2年・3年 第2回（8月～10月末）：1年・2年 計5回 お申込み時期：2月～（実施日の15日前まで）</p>					
⑨実施方式（CBT/PBT）	PBTのみ					
⑩試験時間（分）	国語	数学	英語			
	①「マーク式」問題：50分、60分、70分の3種類の設定あり。学年回及び、現／現古／現古漢と難易度タイプで異なります。 ②「記述式」問題：15分	①「マーク式」問題：60分、80分、120分の3種類の設定あり。学年回及び難易度タイプで異なります。120分は3年で数学を2コース受験する場合。 ②「記述式」問題：15分	①「マーク式」問題：1年70分/2年3年は難易度タイプで70分/80分/90分/100分（ライティング・リスニング）の4種類の設定あり。 ②「記述式」問題：15分（ライティング） ③学校採点のスピーキング問題：5分			
⑪受検料	3,100円（1回分） ※動画作は、1・2年用2回セットで7,440円、3年用1回で5,800円 ※すべて消費税等込					
⑫標準返却期間	1回め：「マーク式」結果＝答案到着後約1週間～10日間で返却（紙） 2回め：「記述式」結果＝答案到着後約3～4週間で返却（データ）					
⑬URL（事業者のHPにおける測定ツール紹介）	https://bhsobenesse.ne.jp/ ※教員専用URL					

(様式2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート α タイプ

対象教科:国語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

主な対象者: 四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生
※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプを用意しています。
学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力

「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲:

- 1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題
 - 1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題
 - 2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題
 - 2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題
 - 3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題
- ※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

漢字や語彙、古典知識・文法、読み取りの問題を、主に選択式・短答式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章等から得られた情報をもとに推論する等思考を求めたり、考えたことを自分の言葉で表現したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度: 「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。

「記述式」問題は、平均45～55%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2)構成等

①出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%（一部短答式を含む）程度

②出題範囲

※設問数割合（「マーク式」問題には配点なし）

学年	回	義務教育範囲	必修修科目範囲 (国語総合)	選択科目範囲 (古典AB)	備考
高1	1回	100%	0%	0%	
	2回	0%	100%	0%	
高2	1回	0%	100%	0%	
	2回	0%	60%	40%	
高3	1回	0%	60%	40%	

※学校の指導状況に応じて、古文・漢文の受検をせずに、現代文のみの受検も可能です。

(3) 難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、学習動画を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約 28 万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5) その他特長

- ・出題内容については、新作問題と同一問題（毎年同じ問題）の 2 種があり、学校が自校の希望に応じて、選択することができます。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

学校を通じた受検者個人への結果提供：早期結果提供を重視し、「1 回め」と「2 回め」に時期を分けて結果提供しています。

「1 回め」「マーク式」問題及びアンケート結果について紙媒体にて提供。

※答案到着後約 1 週間～10 日間で返却。

※詳細は帳票見本「個人診断レポート」（資料 3）参照。

「2 回め」記述式問題の結果を 1 回めの結果に加えて、データで提供。

※答案到着後約 3～4 週間で返却。

※イメージは帳票見本「個人診断レポート」（資料 5）参照（今後 19 年度向けに開発予定）。

「1 回め」の結果提供内容：基礎学力と学習習慣に関する診断結果と、その結果に基づいた事後学習・学習改善につながるアドバイス・ドリル等の提供

<個人診断レポート>

- ・各教科の学力診断結果（正答率、校内順位、「学習到達ゾーン（以下 GTZ ※1）」、成績推移等）の提供と、課題項目及び対策ドリルの案内：診断結果とその結果に応じた事後学習教材の提供による学習改善の仕組み
- ・各教科の学習習慣に関するアンケート結果と、課題項目及びアドバイス：学習行動の改善・学習意欲向上の仕組み
- ・学力・学習習慣の診断結果についての過去からの推移：振り返りによる学習行動の改善の仕組み
※1：GTZ・・・「学習到達ゾーン」ベネッセが独自で設定している学力到達指標

「2 回め」の結果提供内容：1 回めの結果に「思考力・判断力・表現力」観点等を追加提供

※電子データによる返却（専用無料 Web サイト経由）。

<個人診断レポート>

- 1 回めの提供内容に加えて、「記述式（思考力・判断力・表現力）」問題に関する各教科の得点率、レベル等の提示による生徒の資質・能力の診断結果の提示
- ・「記述式（思考力・判断力・表現力）」問題に関する各教科の全体得点率・レベル定義（段階別評価）
- ・段階別評価のレベル定義表（各レベルがどういった事ができる力かを示す）
- ・各教科の項目毎の詳細結果 ※英語に関しては技能別の結果
- ・生徒の実答案の返却

(2) 学校等への結果提供内容・方法:

早期結果提供を重視し、「1回め」と「2回め」に時期を分けて結果提供しています。

「1回め」マーク式問題及びアンケート結果について紙媒体にて提供。

※詳細は帳票見本「学年診断レポート」等（資料1・2）参照。

「2回め」記述式問題の結果を1回めの結果に加えてデータで提供。

※イメージは帳票見本「学年診断レポート」（資料4）参照（今後2019年度向けに開発予定）。

「1回め」の結果提供内容：基礎学力と学習習慣に関する診断結果と、その結果に基づいた指導改善につながる資料の提供

学年・進路・教科担当先生への提供

紙媒体（冊子）・電子データ（専用無料Webサイト経由）による返却

<学年診断レポート>学年全体の結果（教科及び学習習慣）と指導成果・課題がわかる資料等

- ・学年全体の教科診断結果（コース別・教科別）及び学習習慣に関するアンケート結果
- ・これら教科学力及び学習習慣に関する診断結果の過回推移・過年度比較結果
- ・クラス別の学力・学習習慣の結果
- ・各教科の詳細結果：教科学力に関する全体、クラス別、成績層別等
- ・各教科の学習に関するアンケート結果：クラス別、成績層別、前回からの推移等
- ・各教科の課題となる項目について振り返りができる具体的な設問イメージ
- ・弊社の他アセスメントとのクロス分析結果

クラス担当先生への提供

紙媒体（冊子）・電子データ（専用無料Webサイト経由）による返却

<クラス診断レポート>クラスごとの結果（教科及び学習習慣）と指導成果・課題がわかる資料等

- ・クラスごとの教科学力・学習習慣に関する診断結果と前回からの上昇下降
 - ・生徒個人の結果一覧 各教科のGTZ、学習習慣の結果、学習をする姿勢、アンケート結果等
 - ・生徒と振り返りを通じたコミュニケーション活動を目的とした生徒面談用資料
- ※全生徒分アセスメント・アンケートから見えてくる声がけ例

「2回め」の結果提供内容： ※現在開発中のため掲載内容は予定（2018年6月時点）。

電子データによる返却（専用無料Webサイト経由）。

<学年診断レポート>

1回めの提供内容に加えて、

- ・「記述式（思考力・判断力・表現力）」問題に関する、各教科の得点率、校内順位、校内偏差値、レベル
 - ・電子データによる返却（専用無料Webサイト経由）。
 - ・各教科の知識・思考力で分けた際の得点率の結果提供。
 - ・各教科「記述式」問題の採点ポイントとその評価と模範答案の提供。
 - ・上述の教師用帳票のPDFデータ及びそのもととなるローデータ（エクセル・CSVデータ）について、専用無料Webサイトに搭載。エクセル・CSVデータについては、学校が必要に応じて加工等行うことが可能です。
 - ・設置者等への報告資料の雛型となる書式及び今回の結果の振り返り情報をデータで提供予定です。この書式と情報をもとに学校で、設置者等への報告資料を作成できることを想定しています。
- ※書式イメージは帳票見本「設置者等への報告書フォーム」（資料6）参照。

分析会の実施について

- ・実施校からの要望に応じて、各県の営業担当者中心に、結果報告会を実施。各校の結果を分析し、指導改善のためのアドバイスやプラン・情報の提供等を行います。

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

「マーク式」問題に配点はなく、正答率を算出し提供しています。この正答率をもとにベネッセの学校向け教科アセスメント共通の指標である「学習到達ゾーン (GTZ)」に紐づけています。

「記述式」問題には配点があり、この得点率をもとに各教科の「記述式問題レベル定義(段階別評価)」に紐づけています。

<GTZ 設定方法>

「GTZ」は学年・回・タイプごとに決定しており、「S1～D3」の15段階で示しています。

これまでの受検実績(受検母集団データより同一受検者を抽出)にもとづき、進研模試の「到達度指標」の設定にあわせてスタディーサポートのGTZを設定しています。

<GTZ(学力の到達度)の目安>

進研模試の結果を参考にGTZの各ゾーンについて次のような目安を設けています。

GTZの目安は、各教科における到達度を大きく5段階に分けて大学等の進学先で必要とされる力を定義しています。段階ごとに、各教科の「〇〇できる」という定性評価を記載します。

<記述式問題レベル定義の設定方法と目安>

レベル定義は、4段階で構成され、各教科問題における測定すべき力を定義しています。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

・毎年新規で制作する出題については、複数名の作問スタッフが問題作成から検討を行い、そのうえで、作問を行っていないチェック者が第三者的視点で、問題の質を吟味することで、出題の客観性が保たれています。また、これまでの過去の結果データを活かしつつ、難易のチェックを含めた作問をしているため、毎回同程度の難易度を維持できています。

(2) 学校における実施方法

- ・ベネッセから学校に問題・アンケート等の資材を送り、学校で実施していただきます。マニュアル(教師用ガイド)や手引き(実施の手引き)等で迷いなく、指導・実施ができるように情報を提供しています。
- ・学校での実施にあたり教員の担うべき役割等については、実施にあたっての資材の開封、実施準備、試験監督、答案の回収、発送のための梱包といった作業があります。
- ・問い合わせ窓口を設けており質問を受け付けられるような体制を敷いています。
また、各校にベネッセの担当者が各拠点に配置されており、実施にあたっての不明点や事前・事後指導等の確認、トラブル等への対応ができるようになっています。
- ・基本的に実施可能期間内であれば、学校の都合に合わせた実施日としていますが、状況に応じて実施可能期間外の実施等にも対応できるようにしています。また、教科については国語・数学・英語3教科実施を前提としていますが2教科のみ、1教科のみでも受検可能です。

(3) 採点の方法と体制

弊社では、採点ガイドラインに基づき、採点結果の信頼性の向上、採点の合理化、迅速化を図るため、種々の取組を実施しています。採点者は、学力と採点適性を見極めるための試験に合格し、年間を通じて研修や、実際の採点経験の中で様々なトレーニングを受け、採点スキルの向上を図りま

す。また、採点結果の信頼性の向上のため、定期的なサンプリング調査や個別のフィードバックを実施しています。

(4)情報管理体制

セキュリティ

・ベネッセは、ISO27001（情報セキュリティマネジメント）、JISQ15001（Pマーク）の認定を取得しています。各規格の要求事項を踏まえ、業務の構築・運用設計を行い、機密情報や個人情報に関する破損・紛失・漏えいリスクの低減や回避を図ります。

全体では、以下の観点でセキュリティ施策を実施します。

観点	概要
A. 人に関する施策	(1)ベネッセグループのセキュリティ規程研修の実施 (2)機密(個人)情報取り扱い各種ルールの遵守
B. 場所に関する施策	(1)ゾーニング施策によるセキュリティ水準確保 ①関係者以外の侵入防止と入退出管理・履歴取得 ②災害対策 ③情報隔離・持ち出し防止 ④保管・廃棄時の安全性確保 (2)拠点の設備・運用の安全性の確認
C. 工程に関する施策	(1)各工程で個別に配慮すべき施策内容・留意事項の確認 ①情報の取得(生成)時 ②情報の利用時 ③情報保管期間内 ④情報の移送(送信)時 ⑤情報の廃棄(消去)時
D. 電子的情報に関する施策	ベネッセセキュリティ基準に準じ、使用する情報機器のセキュリティ対策
E. 業務システムに関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に則りセキュリティ施策を実施

緊急事態や不測の事態への対応

- ・緊急事態や不測の事態へ対応するため、発生時の報告・連絡・相談体制をあらかじめ構築します。
- ・事故・障害発生時に備えて、あらかじめ担当メンバーの緊急連絡網を作成し、重大事案発生時には速やかに事業推進責任者に報告を行い、対応の判断・指示をすることで、的確かつ迅速に対応し、影響を最小限に抑える体制を準備します。

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

1 視覚障害のある受検者への配慮

受検校のご要望をうけ、準備期間をいただき、問題の点訳、一部資料の拡大対応を予定します。弊社では従来のアセスメント実施で経験、実績のある対応です。

2 聴覚障害のある受検者への配慮

リスニング問題「聞くこと」実施に際し、音声と同じスクリプトを該当の受検者に見ていただける用意をして、解答できるよう対応します。

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

- ・全生徒への配付冊子「スタディーサポート活用 BOOK」
実施にあたっての心構え・目標設定・振り返り・対策ができるドリル。
学校の状況に合わせ事前・事後で使える国語・数学・英語のドリル問題集。
- ・生徒用結果帳票
生徒の学力・課題に合わせたオンデマンドのドリルを掲載(国語・数学・英語)。
- ・スタディーサポート Planning BOOK
進路研究のための教材。職業や学問・学科研究を行うことで生徒の可能性を広げる。
- ・ラーニングシステム (※有料での別途申し込みにより使用可能)
事前にも事後にも使える動画を使った学習教材。

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

- ・学習状況リサーチ
生徒一人ひとりの学習習慣・進路意識・生活状況・学習姿勢を調査し学習状況を多面的に確認。

(4) 個人受検の可否

学校での指導を前提としたアセスメント教材であるため、個人受検はできません。

(5) 問題内容の情報提供

問題冊子と解答解説冊子は、受検後の振り返り等で自由に使っていただけます。

(6) その他

教育委員会等への情報提供に係る対応として、学校から教育委員会等への情報提供の元となる書式・集計結果を提供します。前提として、教育委員会等への情報提供は、弊社から直接は行えません。但し教育委員会主催の場合はこの限りではありません。

(様式2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ

対象教科：数学

測定内容の区分：標準タイプ

I. 出題に関すること

(1) 出題の基本方針

主な対象者：四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生
※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプ用意しています。
学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力：

義務教育範囲も含み、

数学Ⅰ「数と式」「図形と計量」「二次関数」「データ分析」

数学Ⅱ「いろいろな式」「図形と方程式」「指数関数・対数関数」「三角関数」「微分・積分の考え」

数学A「場合の数と確率」「図形の性質」「整数の性質」

数学B「数列」「ベクトル」

に関する資質・能力 等

□出題範囲：

1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題

2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題

2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題

3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

※一部選択大問や選択コースを設定しているため、クラスや生徒個別の習熟状況に応じて、解答する出題範囲を選択することが可能です。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針：

計算や公式を用いて解答する問題を、主に選択式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針：

数学の知識を用いて与えられた条件下における課題解決を問うたり、数式や言葉を用いて思考プロセスを説明したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度：「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。

「記述式」問題は、平均45～55%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2) 構成等

① 出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%(一部短答式を含む)程度

②出題範囲

※設問数割合(「マーク式」問題に配点なし)

学年	回	義務教育範囲	必履修科目範囲 (数学Ⅰ)	選択科目範囲 (数学A)	選択科目範囲 (数学A以外)	備考
高1	1回	100%	0%	0%	0%	
	2回	0%	60%	40%	0%	*1
高2	1回	0%	60%	40%	0%	*1
	2回	0%	35%	15%	50%	*1
高3	1回	0%	35%	15%	50%	*1

(※1)複数の選択問題があるため、必履修科目の割合が大きい受検パターンにて記載。

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、動画学習を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約28万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5)その他特長

- ・出題内容については、新作問題と同一問題(毎年同じ問題)の2種があり、学校が自校の希望に応じて、選択することができます。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)学校における実施方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)採点の方法と体制

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(4)情報管理体制

(略)※国語α タイプの申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(6) その他

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(様式2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート α タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

主な対象者: 四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生
※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプ用意しています。
学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力:

「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲:

1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題

2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題

2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題

3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

英単語や文法、聞き取り、読み取りの問題を、主に選択式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章や図表等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、自分の考えを英語で記述・口述したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度:

- ・「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。
- ・「記述式」問題は、平均45～55%程度の得点率となる難易度に設定します。
- ・CEFRにおける「A1～A2」程度

(2)構成等

①出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%(一部短答式を含む)程度

Listening: すべて選択式(7～18問程度)、リスニングCDによる音声放送

Reading: すべて選択式(45問程度)

Writing: 選択式7割程度(5問程度)、記述式3割程度(2問程度、10～20語程度)

Speaking: 対面式(7問程度)。

※「話す」技能については、測定することに代えて問題、解答例及び採点基準を提供。

②出題範囲

※設問数割合(「マーク式」問題には配点がありません)

学年	回	義務教育範囲	必履修科目範囲 (コミュニケーション英語Ⅰ)	選択科目範囲 (コミュニケーション英語Ⅱ)	備考
高1	1回	100%	0%	0%	
	2回	30%	70%	0%	
高2	1回	30%	70%	0%	
	2回	0%	60%	40%	
高3	1回	0%	60%	40%	

(3)難易度設定の考え方・方法

過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、動画学習を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約28万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5)その他特長

- ・出題内容については、新作問題と同一問題(毎年同じ問題)の2種があり、学校が自校の希望に応じて、選択することができます。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

(略)※国語αタイプの申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

(略)※国語αタイプの申請様式参照

英語結果については、先生のみにも技能別でも行います。

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略)※国語αタイプの申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

(略)※国語αタイプの申請様式参照

(2)学校における実施方法

(略)※国語αタイプの申請様式参照

(3)採点の方法と体制

(略)※国語αタイプの申請様式参照

(4)情報管理体制

(略)※国語αタイプの申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1)障害のある受検者等への配慮

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)事前／事後学習教材の有無、内容

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)学習状況等のアンケートの有無、内容

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(4)個人受検の可否

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(5)問題内容の情報提供

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(6)その他

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(様式2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ

対象教科:国語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

主な対象者: 四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生
※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプを用意しています。
学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力

「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲:

1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題

2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題

2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題

3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

漢字や語彙、古典知識・文法、読み取りの問題を、主に選択式・短答式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、考えたことを自分の言葉で表現したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度: 「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。

「記述式」問題は、平均50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2)構成等

①出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%（一部短答式を含む）程度

②出題範囲

※設問数割合（「マーク式」問題には配点なし）

学年	回	義務教育範囲	必履修科目範囲 (国語総合)	選択科目範囲 (古典AB)	備考
高1	1回	100%	0%	0%	
	2回	0%	100%	0%	
高2	1回	0%	100%	0%	
	2回	0%	60%	40%	
高3	1回	0%	60%	40%	

※学校の指導状況に応じて、古文・漢文の受検をせずに、現代文のみの受検も可能です。

(3) 難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、学習動画を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約 28 万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5) その他特長

- ・出題内容については、新作問題と同一問題（毎年同じ問題）の 2 種があり、学校が自校の希望に応じて、選択することができます。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(2) 学校等への結果提供内容・方法

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(2) 学校における実施方法

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(3) 採点の方法と体制

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(4) 情報管理体制

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(6) その他

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(様式2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート β タイプ

対象教科：数学

測定内容の区分：標準タイプ

I. 出題に関すること

(1) 出題の基本方針

主な対象者：四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生
※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプ用意しています。
学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力：

義務教育範囲も含み、

数学Ⅰ「数と式」「図形と計量」「二次関数」「データ分析」

数学Ⅱ「いろいろな式」「図形と方程式」「指数関数・対数関数」「三角関数」「微分・積分の考え」

数学A「場合の数と確率」「図形の性質」「整数の性質」

数学B「数列」「ベクトル」

に関する資質・能力 等

□出題範囲：

1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題

2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題

2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題

3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

※一部選択大問や選択コースを設定しているため、クラスや生徒個別の習熟状況に応じて、解答する出題範囲を選択することが可能です。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針：

計算や公式を用いて解答する問題を、主に選択式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針：

数学の知識を用いて与えられた条件下における課題解決を問うたり、数式や言葉を用いて思考プロセスを説明したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度：「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。

「記述式」問題は、平均50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2) 構成等

① 出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%(一部短答式を含む)程度

②出題範囲

※設問数割合(「マーク式」問題に配点なし)

学年	回	義務教育範囲	必修科目範囲 (数学Ⅰ)	選択科目範囲 (数学A)	選択科目範囲 (数学A以外)	備考
高1	1回	100%	0%	0%	0%	
	2回	0%	60%	40%	0%	*1
高2	1回	0%	60%	40%	0%	*1
	2回	0%	35%	15%	50%	*1
高3	1回	0%	35%	15%	50%	*1

(※1)複数の選択問題があるため、必修科目の割合が大きい受検パターンにて記載。

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができる。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、動画学習を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約28万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5)その他特長

- ・出題内容については、新作問題と同一問題(毎年同じ問題)の2種があり、学校が自校の希望に応じて、選択することができます。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)学校における実施方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)採点の方法と体制

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(4)情報管理体制

(略)※国語α タイプの申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1)障害のある受検者等への配慮

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(2)事前／事後学習教材の有無、内容

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(3)学習状況等のアンケートの有無、内容

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(4)個人受検の可否

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(5)問題内容の情報提供

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(6)その他

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(様式2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

主な対象者: 四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生
※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプ用意しています。
学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力:

「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲:

- 1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題
 - 1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題
 - 2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題
 - 2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題
 - 3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題
- ※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

英単語や文法、聞き取り、読み取りの問題を、主に選択式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章や図表等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、自分の考えを英語で記述・口述したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度:

- ・「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。
- ・「記述式」問題は、平均50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。
- ・CEFRにおける「A1～A2」程度

(2)構成等

①出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%(一部短答式を含む)程度

Listening: すべて選択式(7～18問程度)、リスニングCDによる音声放送

Reading: すべて選択式(45問程度)

Writing: 選択式7割程度(5問程度)、記述式3割程度(2問程度、10～20語程度)

Speaking: 対面式(7問程度)。

※「話す」技能については、測定することに代えて問題、解答例及び採点基準を提供。

②出題範囲

※設問数割合(「マーク式」問題には配点がありません)

学年	回	義務教育範囲	必履修科目範囲 (コミュニケーション英語Ⅰ)	選択科目範囲 (コミュニケーション英語Ⅱ)	備考
高1	1回	100%	0%	0%	
	2回	30%	70%	0%	
高2	1回	30%	70%	0%	
	2回	0%	60%	40%	
高3	1回	0%	60%	40%	

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、動画学習を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約28万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5)その他特長

- ・出題内容については、新作問題と同一問題(毎年同じ問題)の2種があり、学校が自校の希望に応じて、選択することができます。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

(略)※国語αタイプの申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

(略)※国語αタイプの申請様式参照

英語結果については、先生のみにも技能別でも行います。

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略)※国語αタイプの申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

(略)※国語αタイプの申請様式参照

(2)学校における実施方法

(略)※国語αタイプの申請様式参照

(3)採点の方法と体制

(略)※国語αタイプの申請様式参照

(4)情報管理体制

(略)※国語αタイプの申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1)障害のある受検者等への配慮

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)事前／事後学習教材の有無、内容

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)学習状況等のアンケートの有無、内容

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(4)個人受検の可否

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(5)問題内容の情報提供

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(6)その他

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(様式 2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ

対象教科:国語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

主な対象者: 四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生

※学力層の幅広さに対応するため、難易度タイプを、 β 、 α 、 θ の3タイプを用意しています。
学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力

「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲:

1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題

2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題

2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題

3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

漢字や語彙、古典知識・文法、読み取りの問題を、主に選択式・短答式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、考えたことを自分の言葉で表現したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度: 「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。

「記述式」問題は、平均40～50%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2)構成等

①出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%（一部短答式を含む）程度

②出題範囲

※設問数割合（「マーク式」問題には配点なし）

学年	回	義務教育範囲	必履修科目範囲 (国語総合)	選択科目範囲 (古典AB)	備考
高1	1回	100%	0%	0%	
	2回	0%	100%	0%	
高2	1回	0%	100%	0%	
	2回	0%	60%	40%	
高3	1回	0%	60%	40%	

※学校の指導状況に応じて、古文・漢文の受検をせずに、現代文のみの受検も可能です。

(3) 難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、学習動画を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約 28 万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5) その他特長

- ・出題内容については、毎年同一問題であるため、過年度の比較（今年の高1生は、昨年度の高1生に比べて学力はどの程度の到達度か、など）が可能です。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(2) 学校等への結果提供内容・方法

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(2) 学校における実施方法

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(3) 採点の方法と体制

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(4) 情報管理体制

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(6) その他

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(様式 2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：スタディーサポート θ タイプ
対象教科：数学
測定内容の区分：標準タイプ

I. 出題に関すること

(1) 出題の基本方針

主な対象者： 四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生
※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプ用意しています。
学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力：

義務教育範囲も含み、

数学Ⅰ「数と式」「図形と計量」「二次関数」「データ分析」

数学Ⅱ「いろいろな式」「図形と方程式」「指数関数・対数関数」「三角関数」「微分・積分の考え」

数学A「場合の数と確率」「図形の性質」「整数の性質」

数学B「数列」「ベクトル」

に関する資質・能力 等

□出題範囲：

1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題

2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題

2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題

3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

※一部選択大問や選択コースを設定しているため、クラスや生徒個別の習熟状況に応じて、解答する出題範囲を選択することが可能です。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針：

計算や公式を用いて解答する問題を、主に選択式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針：

数学の知識を用いて与えられた条件下における課題解決を問うたり、数式や言葉を用いて思考プロセスを説明したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度：「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。

「記述式」問題は、平均40～50%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2) 構成等

① 出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%(一部短答式を含む)程度

②出題範囲

※設問数割合(「マーク式」問題に配点なし)

学年	回	義務教育範囲	必履修科目範囲 (数学Ⅰ)	選択科目範囲 (数学A)	選択科目範囲 (数学A以外)	備考
高1	1回	100%	0%	0%	0%	
	2回	0%	60%	40%	0%	*1
高2	1回	0%	60%	40%	0%	*1
	2回	0%	35%	15%	50%	*1
高3	1回	0%	35%	15%	50%	*1

(*1)複数の選択問題があるため、必履修科目の割合が大きい受検パターンにて記載。

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、動画学習を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約28万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5)その他特長

- ・出題内容については、毎年同一問題であるため、過年度の比較(今年の高1生は、昨年度の高1生に比べて学力はどの程度の到達度か、など)が可能です。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)学校における実施方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)採点の方法と体制

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(4)情報管理体制

(略)※国語α タイプの申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(6) その他

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(様式 2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θ タイプ

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

I. 出題に関すること

(1) 出題の基本方針

主な対象者：四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生

※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプ用意しています。

学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力

「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲：

1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題

2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題

2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題

3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針：

英単語や文法、聞き取り、読み取りの問題を、主に選択式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針：

文章や図表等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、自分の考えを英語で記述・口述したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度：

・「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。

・「記述式」問題は、平均40～50%程度の得点率となる難易度に設定します。

・CEFRにおける「A1～A2」程度。

(2) 構成等

①出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%(一部短答式を含む)程度

Listening：すべて選択式(5～8問程度)、リスニングCDによる音声放送。

Reading：すべて選択式(45問程度)

Writing：選択式7割程度(5問程度)、記述式3割程度(2問程度、10～20語程度)

Speaking：対面式(7問程度)。

※「話す」技能については、測定することに代えて問題、解答例及び採点基準を提供。

②出題範囲

※設問数割合(「マーク式」問題には配点がありません)

学年	回	義務教育範囲	必履修科目範囲 (コミュニケーション英語Ⅰ)	選択科目範囲 (コミュニケーション英語Ⅱ)	備考
高1	1回	100%	0%	0%	
	2回	30%	70%	0%	
高2	1回	30%	70%	0%	
	2回	0%	60%	40%	
高3	1回	0%	60%	40%	

(3) 難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、動画学習を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約28万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5) その他特長

- ・出題内容については、毎年同一問題であるため、過年度の比較(今年の高1生は、昨年度の高1生に比べて学力はどの程度の到達度か、など)が可能です。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2) 学校等への結果提供内容・方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

英語結果については、先生のみにも技能別でも行います。

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2) 学校における実施方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3) 採点の方法と体制

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(4) 情報管理体制

(略)※国語α タイプの申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1)障害のある受検者等への配慮

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)事前／事後学習教材の有無、内容

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)学習状況等のアンケートの有無、内容

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(4)個人受検の可否

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(5)問題内容の情報提供

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(6)その他

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名:スタディーサポート α タイプ、 β タイプ、 θ タイプ
対象教科:国語・数学・英語
測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準				
			I. (1)	I. (2)	I. (3)	I. (4)	I. (5)

II. 結果提供に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			II. (1)	II. (2)
帳票見本:1回目返却「マーク式」教師用	学年診断レポート クラス診断レポート ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料1 資料2		○
帳票見本:1回目返却「マーク式」生徒用	個人診断レポート ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料3	○	
帳票見本:2回目返却「マーク式」+「記述式」:教師用	学年診断レポート ※見本は作成中のイメージです。19年度に向けて開発予定です。	資料4		○
帳票見本:2回目返却「マーク式」+「記述式」:生徒用	個人診断レポート ※見本は作成中のイメージです。19年度に向けて開発予定です。	資料5	○	
帳票見本:設置者等報告用	設置者等への報告書フォーム ※見本は作成中のイメージです。19年度に向けて開発予定です。	資料6		○

III. 運営に関すること

<提出必須の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項(試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等)	実施案内書2年1回 ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料7
学校用実施マニュアル	実施の手引き2年1回 ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料8

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

IV. 情報開示に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

進級後の 「再スタート」を 成功させる

2017年度
2年生第1回
延べ受験者数

約 **53万人**

スタディーサポート

2018年度2年生第1回のご案内

実施期間：3/1(木)～5/31(木)

Benesse High School Onlineでも
スタディーサポートをご紹介します。



実施の流れや教材の説明などを掲載しています。

<https://bhsso.benesse.ne.jp/>

ハイスクールオンライン

検索

※ログイン後、トップ画面の「テスト&教材」から「スタディーサポート」をクリックしてください。
※ご利用には、学校ID・ログインコード または 先生個人ID・パスワードが必要です。
※画面は変更になる場合があります。

「スタディーサポート × Classi ラーニングシステム」については、同封の「スタディーサポート × Classi ラーニングシステムお申し込みのご案内」をご確認ください。

1 2018年度スタディーサポートの改訂ポイント P.2

2 アイテム紹介 P.3

3 実施の流れと実施例・結果のご活用 P.4-5

4 実施概要と出題範囲 P.6-7

5 お申し込み方法・よくあるお問い合わせ P.8

1

2018年度スタディーサポートの改訂ポイント

生徒の「自ら学ぶ」を後押しするスタディーサポートは2018年度に5つの改訂を行いました。

5つの改訂ポイント

1 『スタディーサポート Planning BOOK 2年生』導入 >>P.3
学びと進路をつなぎ、進路意識を深化

2 「クラス診断レポート」リニューアル >>P.3
生徒一人ひとりの面談ストーリーが見える

3 「学年診断レポート」リニューアル >>P.3
学年と教科で情報を共有し、連携指導ができる

4 「学カリサーチ」新傾向問題を出題 >>P.7
知識・技能の習得から活用までを重点的に測定

5 「志向性チェック」導入 >>P.2
生徒の志向性(強み)の把握で学習の目的を明確化することが可能に

Renewal!

生活状況

学習習慣

学習姿勢

進路意識

+

志向性

起床・就寝時間や学習時間に加え、2017年度からは「学習姿勢(学習行動・学習方法・学習のとらえ方)」を追加し、生徒の学習状況をより多面的に把握できるようになりました。

2018年度からは、希望進路だけでなく、生徒の志向性(強み)をあわせて確認できるようになりました。

※2017年度より、学習状況リサーチの設問を一部追加・変更しております。変更に伴って、2016年度以前にご受験いただいたデータとの過回比較ができなくなる質問もあります。

2

アイテム紹介

実施前から実施後まで「自ら学ぶ」生徒の育成をサポートします。

実施前

スタディーサポート受験に向けて、目標設定や事前学習に計画的に取り組みさせます。



スタディーサポート活用BOOK*
目標設定、振り返りのワークを掲載。事前学習用問題集(スタディーチャージ)もついています。



▲目標設定ワーク
めざす進路のレベルなどをもとに、目標を設定させ、事前学習への取り組み意欲を向上させます。



▲問題集(スタディーチャージ)
目標正解率達成をめざして、スタディーチャージに取り組みます。「基本」「標準」「応用」の問題をご用意しています。



教師用ガイド
スタディーサポートの活用方法について、詳しくご説明しています。

*問題発送時にお申し込み人数分をお届けしますので、スタディーサポート実施の事前学習としてご利用いただくことができます。学校のご指導に合わせて、実施後にもご利用いただけます。

実施

国数英の基礎学力と、学習習慣や進路についての生徒の状況を調べます。



学力リサーチ
診断項目ごとの学力の到達度を確認できるマーク式の学力検査です。2018年度より、知識・技能を活用する力を測る出題も追加しています。



学習状況リサーチ
生徒一人ひとりの進路意識・生活状況・学習習慣・学習姿勢を調査するアンケートです。また2018年度より、志向性チェックを追加しました。



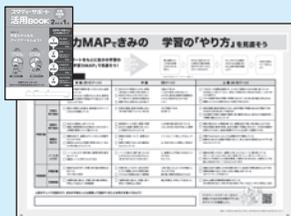
学校オリジナル質問
オプション機能として、学校で独自に質問項目を設定し、結果を集計することができます。サンプルをまとめた「学校オリジナル質問パターン集」から選択してご利用いただくことも可能です。



※問題発送時に、「実施の手引き」と一緒にお届けします。
※Benesse High School Online内の「インターネットフォルダ」にて、結果データをご確認いただけます。
※全国集計結果との比較フォーマットに自校データを貼りつけることで、全国集計結果とも比較できます。

実施後

生徒一人ひとり、クラス全体、学年全体、教科ごとの学力・学習の状況を把握できます。



▲学習力MAP
GTZごとに到達してほしい学習行動や学習習慣を一覧化。自分の学習スタイルを見直すことができます。



スタディーサポートPlanning BOOK
進路研究を行ううえでのポイントや学力向上に向けた学習ポイントに関する情報を掲載しています。



個人診断レポート
今の自分に対する気づきと、「次の一歩」を踏みだすきっかけを得られます。



クラス診断レポート
クラス結果・生徒結果をまとめています。短い面談時間にも、深い生徒把握にもご利用いただけるよう、生徒結果(個人診断票)をリニューアルしています。



学年診断レポート
学年団と教科担任先生で生徒の情報を共有できるよう、これまでの「学年診断レポート」を1冊にしました。学年全体の現状を、学力・学習習慣両面から教科ごとに詳細に把握できます。

※図版はすべてイメージです。実際のものとは異なる可能性があります。

3

実施の流れと実施例・結果のご活用

貴校実施日の 15日前まで

●お申し込み

→ P.8

お申込みWEBまたはFAX(お電話)にてお申し込みください。
※受験番号修正サービス(P.5)についてもご確認ください。
※WEBでお申し込みされた場合には、WEB上でもご確認ください。

●ご請求額のご送金

→ P.8

●お申し込み部数確認

弊社より問題お届け部数についてのご連絡をFAXでお送りしますのでご確認ください。

●問題等到着

早めに部数をご確認ください。万一不足がございましたら「お客様サービスセンター」までご連絡ください。

お届け
するもの

- スタディーサポート活用BOOK・解答解説
- マークシート冊子
- 学カリサーチ・解答解説
- 実施の手引き
- 英語リスニングテスト実施用CD
- 学校オリジナル質問パターン集
- 学習状況リサーチ
- 教師用ガイド

3/1(木)~5/31(木) 実施

●事前準備・実施

生徒に、「スタディーサポート活用BOOK®」の問題集(スタディーチャージ)に取り組ませます。実施の準備については、問題と同封されている「実施の手引き」をご確認ください。実施にあたっての手順、注意事項等をまとめています。

*問題発送時にお申し込み人数分をお届けします。学校のご指導に合わせて、実施後にもご活用いただけます。

●マークシートの発送

マークシート 弊社到着後

*早期にご受験いただいた場合、「同一問題」についても、ご返却までに2週間以上かかることがあります。詳細は「お客様サービスセンター」までお問い合わせください。

3~4日後

●マークリード早期配信サービス

マークシート弊社到着から3~4日後に、マークシートの読み取り結果をBenesse High School Online内の「インターネットフォルダ」からダウンロードできます。

約2週間後*

●結果資料発送

弊社にマークシートが到着してから約2週間後に結果資料を発送いたします。また、Benesse High School Online内の「インターネットフォルダ」に、結果データを搭載いたします。

お届け
するもの

- 先生用帳票
- クラス診断レポート
- 生徒用帳票
- 学年診断レポート
- バインダー
- 個人診断レポート

●全国集計結果

スタディーサポート第1回の全国集計結果をFINE SYSTEMでご覧いただけます。

	1回目	2回目	3回目	4回目
マークシート 弊社到着締切日	3/20(火)	4/20(金)	5/30(水)	7/11(水)
全国集計結果 リリース予定日	4/7(土)	5/14(月)	6/9(土)	7/21(土)

※上記スケジュールは、2017年12月時点の予定です。今後変更になる可能性があります。

●受験番号修正サービスについて

新年度に切り替わる前にご実施いただいた場合に対応させていただくサービスとして、受験番号修正サービスを行っています。編成前のクラス・番号(受験番号)を編成後のクラス・番号(受験番号)に修正して結果をお届けする**3~4月の期間限定サービス**です。ご希望の場合には、「スタディーサポート」お申し込み時に、あわせてお申し込みが必要です。実施後に、「**新旧受験番号対応表*1**」をご提出いただければ、編成後のクラス・番号(受験番号)に並べ替えた結果資料をお届け*2します。結果資料の返却方法は、次のパターンからご選択いただけます。

パターン	成績資料のご活用イメージ	結果資料	
		受験時のクラス・番号	編成後のクラス・番号
利用しない	受験時のクラス・番号で資料を活用する。 受験番号の修正は不要。	先生 生徒	
A	クラス編成後に資料を活用する。 受験時のクラス・番号での資料は不要。		先生 生徒
B	受験時のクラス・番号で資料を活用する。 加えて、先生用帳票のみクラス編成後にも必要。	先生 生徒	先生

*1：受験番号修正サービスをご利用の際には、後日、インターネットフォルダから提供する「新旧受験番号対応表(編成前・編成後それぞれの受験番号情報)」の入力とご提出(4月20日までに必着)が必要です。ご提出いただけない場合には、編成後のクラス・番号(受験番号)での結果資料返却ができませんので、ご注意ください。「**新旧受験番号対応表**」の送受信については、Benesse High School Onlineの「インターネットフォルダ」をご利用いただく必要があります。

*2：編成後の結果は、通常「新旧受験番号対応表」のご提出より約2週間でお届けします。



※上記のスケジュールは目安です。実施時期などにより、前後する可能性があります。

4

実施概要と出題範囲 (2年生第1回)

実施期間

3/1(木) ~ 5/31(木)

※実施期間外の実施をご検討の際は、「お客様サービスセンター(0120-350455:通話料無料)」までお問い合わせください。

検査項目

●学カリサーチ(国語・数学・英語)

●学習状況リサーチ

※すべてマーク式です。

学カリサーチのタイプ

タイプ	目標レベル (難易度目安)	測定できる GTZ(学力の到達度)
β	難関国公立大進学レベル (進研模試偏差値:56~)	S~D
α	国公立大進学レベル (進研模試偏差値:46~56)	S~D
θ	4年制大・国公立大進学レベル (進研模試偏差値:~46)	A~D*

*θタイプでは、Sゾーンは測定できません。

●β・αタイプには、「同一問題」と「新作問題」があります。お申し込みの際にいずれかをご選択ください。

●θタイプは「同一問題」のみになります。

※詳細は、P.7の説明をご確認ください。

実施時間の目安

		βタイプ	αタイプ	θタイプ	
学習状況リサーチ			50分		
学カリサーチ	国語*	現・古・漢	80分	70分	70分
		現・古	60分	60分	60分
		現のみ			50分
	数学	80分	60分	60分	
	英語	リスニング有	90分	70分	70分
		リスニング無	80分	60分	60分

*β・αタイプは漢文が選択問題、θタイプは古文と漢文が選択問題です。

※2018年度より学習状況リサーチに志向性チェック(25問程度)が追加されます。

※上記の実施時間は目安です。正確な診断を行うため、できるだけすべての質問・問題に取り組めるよう実施時間の設定をお願いいたします。

実施時間割例

8:20~8:35	8:40~9:30	9:40~10:40	10:50~11:50	12:00~13:10
受験カード記入	学習状況リサーチ(50分)	学カリサーチ国語(60分)	学カリサーチ数学(60分)	学カリサーチ英語(70分)

3教科ともαタイプを選択の場合
(国語は現・古・英語はリスニングを選択する場合)

※統一実施日がありませんので、上記のような実施例のほかに、平日の授業後を利用した3~4日間の実施日設定や平日の授業後と土曜日の実施の組み合わせなども可能です。貴校のご都合にあわせて設定してください。

2018年度 料金(税込み)

●ご請求額 2,630円

●標準受験料 2,980円

学カリサーチ 問題について

●「同一問題」について

・「同一問題」を選択すると、過去3か年の2年生第1回で「同一問題・同タイプ」のご受験がある場合、設問単位での詳細な学年間（過年度）比較ができます。ただし、変更となった設問については除きます。
 ・2018年度は、数学の $\beta \cdot \alpha \cdot \theta$ タイプを一部変更しました。

●「新作問題」について

・「新作問題」は、2018年度に新しくご用意する問題です。国数英総合や各教科について、GTZ（学力の到達度）による学年間比較ができます。

●問題についてのご注意

$\beta \cdot \alpha$ タイプ	「同一問題(2007年度～)」と「新作問題」をご用意します。
θ タイプ	「同一問題(2012年度～)」のみをご用意します。

※教育課程への対応などにより、一部設問を変更しています。

●実施にあたってのご注意

- ①「同一問題」を受験する場合は、比較したい年度と同じタイプ（ $\beta \cdot \alpha \cdot \theta$ ）を選択してください。
異なるタイプを選択されますと、成績結果を比較できません。
×例) 昨年度は α タイプの「同一問題」を受験したが、今年度は β タイプの「同一問題」を受験。
- ②「同一問題」「新作問題」を混在させてご受験いただくことはできません。
×例) 国語・英語は「新作問題」、数学は「同一問題」を受験。
- ③「 β タイプ」「 θ タイプ」を混在させてご受験いただくことはできません。
×例) 国語・英語は「 β タイプ」、数学は「 θ タイプ」を受験。

学カリサーチ 出題範囲

Renewal!

新傾向問題

従来の「問題を解く」という形式に加えて、図を用いて理解するかや、複数の情報を統合して考察する力などを問うといった、知識・技能を活用する力を測る問題を一部出題。

国語 $\beta \cdot \alpha$ タイプ

- 古文は必答問題です。
- 漢文は選択問題です。

知識	・現代文知識 ・古文知識（助動詞、古文単語） ・漢文知識（文の構造、句法、語彙、漢詩の知識）
読解	・現代文評論読解 ・現代文小説読解 ・古文読解 ・漢文読解

θ タイプ

- 古文、漢文とも選択問題です。
- ただし、現代文と漢文の組み合わせでは受験できません。

知識	・現代文知識 ・古文知識（助詞、助動詞） ・漢文知識（文の構造、句法）
読解	・現代文評論読解 ・現代文小説読解 ・古文読解 ・漢文読解

数学 β タイプ

- 数学Iのみでは受験できません。

公式利用	① 数学I・A（場合の数・確率、図形の性質） ② 数学I・A（場合の数・確率、整数の性質） ※①、②から1つ選択
応用力	数学I（2次関数、図形と計量） 数学A（①場合の数・確率、図形の性質 ②場合の数・確率、整数の性質） ※数学Iは必答。数学Aは①、②から1つ選択
総合力	2次関数中心の融合問題

α タイプ

- 数学Iのみでも受験可能です。

公式理解	① 数学I ② 数学I・A（場合の数・確率、図形の性質） ③ 数学I・A（場合の数・確率、整数の性質） ※①～③から1つ選択
公式利用	
応用力	2次関数 図形と計量

θ タイプ

- 数学Iのみでも受験可能です。

公式理解	① 数学I（データの分析は除く） ② 数学I・A（場合の数・確率、図形の性質） ③ 数学I・A（場合の数・確率、整数の性質） ※①～③から1つ選択
公式利用	

英語 $\beta \cdot \alpha$ タイプ

- リスニングは選択問題です。

基本	・語彙 ・文法（文型、動詞の時制、関係代名詞・関係副詞、比較、代名詞）
応用	・文構成 ・読解 ・リスニング

θ タイプ

- リスニングは選択問題です。

基本	・語彙 ・文法（動詞の時制、比較、代名詞）
応用	・文構成 ・読解 ・リスニング

5

お申し込み方法・よくあるお問い合わせ

「スタディーサポート × Classi ラーニングシステム」をお申し込みの場合は、同封の「スタディーサポート × Classi ラーニングシステム お申し込みのご案内」をご確認ください。

簡単!
WEBでの
お申し込み

Benesse High School Online からご利用いただけます。

URL <https://bhso.benesse.ne.jp/>

※お申し込みには、学校ID・ログインコード または 先生個人ID・パスワードが必要です。ご不明な場合は、下記お客様サービスセンターまでお問い合わせください。

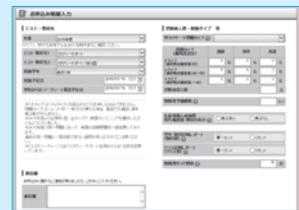
★前年度や前回のお申し込み履歴がいつでも確認できます!

★年間分をまとめてお申し込みいただけます! ※Benesse High School Online
メンテナンス期間は入力できません。

Benesse High School Online上の
「お申込み/見本請求/請求書出力」をクリック

お申し込みいただく教材をクリック

必要情報を入力してください



※図版はすべてイメージです。実際のものとは異なる可能性があります。

FAXでの
お申し込み

同封の申込書に必要事項をご記入のうえ、「お申し込み専用FAX」へご送信ください。

お申し込み
専用FAX

0120-350470 (通話料無料)

スタディーサポートのみをお申し込みの場合は「スタディーサポート2年生第1回 申込書」をご利用ください。

ご送金方法

- 同封の郵便振替用紙(手数料弊社負担)をご利用のうえ、お申し込みと同時に郵便局よりご送金ください。郵便振替用紙ご記入の際には、今回お申し込みいただくスタディーサポートの「学年」・「回」も忘れずにご記入ください。
- 郵便局がお渡しする「振替払込請求書兼受領証」は貴校の控えとなりますので、大切に保管してください。
- 2017年度より、請求書等が上記WEBよりダウンロードできるようになりました。

よくあるお問い合わせ

Q1. 各教科・タイプの実施時間はどこで確認できますか?	A1. 実施案内書(本冊子)P.6の「実施時間の目安」をご確認ください。
Q2. 出題範囲を生徒に教えてもいいですか?	A2. 出題範囲の取り扱いには各学校の判断にお任せしています。ただし、告知をする場合は、特定のクラスだけに知らせるといったことがないよう、学校内で公平になるようお願いいたします。
Q3. 結果はいつ返ってきますか?	A3. 弊社にマークシートが到着してから約2週間後に結果資料を発送いたします。 ※実施日、タイプ、受験番号修正サービスの有無によっては、ご返却に2週間以上かかることがあります。
Q4. 学習状況リサーチとはどのようなものですか?	A4. 生徒一人ひとりの学習習慣・進路意識・生活状況・学習姿勢を調査するアンケートです。2018年度より志向性チェックが追加されており、実施時間の目安は50分です。
Q5. 選択問題を学年で統一する必要はありますか?	A5. 解答する大問が、生徒ごとに異なっても正しく採点されますが、学年全体の強み・課題を正確に診断するためには、学年で統一されることをおすすめします。

お客様
サービスセンター

0120-350455 (通話料無料)

受付時間(祝日、年末・年始を除く) / 月～金 8:00～19:00 土 8:00～17:00

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート αタイプ 1年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、漢字や語彙(類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など)、及び言葉のきまり(口語文法など)を理解し、適切に使うことができる。	【設問数】15問(程度) 【出題形式】選択式	項 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ウ) 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容を的確に読み取り、筆者の主張やその主張の根拠をとらえ、目的や視点に応じて、複数の情報を比較・統合したり、読み取った情報を関連付け・組み合わせるなどして文章の主題をより深くとらえることができる。</u>	【設問数】 5 問 (程度) 【出題形式】 選択式	C 読むこと	中学校学習指導要領 国語 [第 3 学年] C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】 5 問 (程度) 【出題形式】 選択式	C 読むこと	中学校学習指導要領 国語 [第 3 学年] C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】 11 問（程度） 【出題形式】 選択式</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>（ア） 文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕</p> <p>C 読むこと</p> <p>ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。</p> <p>イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>（ア） 歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむこと。</p>

<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取り、文章の内容を要約することができる。</u></p>	<p>【設問数】 6問（程度） 【出題形式】 選択式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 C 読むこと イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむこと。</p>
--	--	--	--

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
複数のテキストの内容を読み取り、 <u>目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明したり、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】選択式	C 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。
	【設問数】2問(程度) 【出題形式】記述式	C B 読むこと 書くこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 B 書くこと イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。 ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート αタイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、 <u>漢字や語彙</u> （類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）、及び <u>言葉のきまり</u> （口語文法など）を理解し、適切に <u>使うことができる</u> 。	【設問数】 15問（程度） 【出題形式】 選択式	事項 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （ア） 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。 （イ） 文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 （ア） 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容を的確に読み取り、筆者の主張やその主張の根拠をとらえ、目的や視点に応じて、複数の情報を比較・統合したり、読み取った情報を関連付け・組み合わせるなどして文章の主題をより深くとらえることができる。</u>	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】 12 問（程度） 【出題形式】 選択式</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 C</p>	<p>国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>
<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取り、文章の内容を要約することができる。</u></p>	<p>【設問数】 5 問（程度） 【出題形式】 選択式 [サンプル問題 1]</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 C 読むこと</p>	<p>国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）を読むにあたり、<u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u></p>	<p>※漢文は2年1回のみとなります 【設問数】15問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 C</p>	<p>国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>
<p>古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取り、文章の内容を要約することができる。</u></p>	<p>※漢文は2年1回のみとなります 【設問数】6問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 C 読むこと</p>	<p>国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
複数のテキストの内容を読み取り、 <u>目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明したり、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 2	C 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。
	【設問数】 2 問(程度) 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2	C B 読むこと 書くこと	国語総合 B 書くこと イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を明確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート αタイプ 2年2回-3年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、 <u>漢字や語彙（類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）、及び言葉のきまり（口語文法など）を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】15問（程度） 【出題形式】選択式	事項 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。 (イ) 文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容を的確に読み取り、筆者の主張やその主張の根拠をとらえ、目的や視点に応じて、複数の情報を比較・統合したり、読み取った情報を関連付け・組み合わせるなどして文章の主題をより深くとらえることができる。</u>	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】13問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>特質に関する事項 〔伝統的な言語文化と国語の〕</p>	<p>国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ） 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>
<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取り、文章の内容を要約することができる。</u></p>	<p>【設問数】6問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>古典B 古典A ア イ ウ エ</p>	<p>古典A イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。</p> <p>古典B ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）を読むにあたり、 <u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u>	【設問数】 14 問（程度） 【出題形式】 選択式	古 古 典 典 B A ア イ	古典A イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 古典B ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取り、文章の内容を要約することができる。</u></p>	<p>【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>古典A イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 エ 伝統的な言語文化についての課題を設定し、様々な資料を読んで探究して、我が国の伝統と文化について理解を深めること。</p> <p>古典B ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。 オ 古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めること。</p>	

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
複数のテキストの内容を読み取り、 <u>目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明したり、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。
	【設問数】2問(程度) 【出題形式】記述式	C B 読むこと 書くこと	国語総合 B 書くこと イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を明確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート α タイプ 1年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■公式理解(1)～(8)</p> <p>・累乗の表し方, 文字を用いた式, 展開の公式, 平方根を理解して, 簡単な式の計算や式の展開ができる。</p> <p>・因数分解や解の公式を利用して, 簡単な一次方程式や連立方程式, 二次方程式を解くことができる。</p>	<p>【設問数】8問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	A 数と式	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕</p> <p>2A (2)</p> <p>イ 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。</p> <p>エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し, 式を用いて表したり読み取ったりすること。</p> <p>2A (3)</p> <p>ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2A (2)</p> <p>ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2A (1)</p> <p>イ 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。</p> <p>2A (2)</p> <p>イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。</p> $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ $(a-b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$ $(a+b)(a-b) = a^2 - b^2$ $(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$ <p>2A (3)</p> <p>イ 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。</p> <p>ウ 解の公式を知り, それを用いて二次方程式を解くこと。</p>

<p>■公式理解(9)～(12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>反比例の性質を理解することができる。</u> ・ <u>二つの点を通る直線の性質を理解することができる。</u> ・ <u>関数 $y=ax^2$ のグラフや変化の割合について理解することができる。</u> 	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>C 関数</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2C (1) イ 比例, 反比例の意味を理解すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2C (1) イ 一次関数について, 表, 式, グラフを相互に関連付けて理解すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2C (1) イ 関数 $y=ax^2$ について, 表, 式, グラフを相互に関連付けて理解すること。</p>
<p>■公式理解(13)～(16)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>球の体積を求めることができる。</u> ・ <u>平行線の錯角や同位角, 三角形の相似, 三平方の定理について理解し, 具体的な角度や線分の長さを求めることができる。</u> 	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>B 図形</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2B (2) ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体, 錐(すい)体及び球の表面積と体積を求めること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2B (1) ア 平行線や角の性質を理解し, それに基づいて図形の性質を確かめ説明すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2B (1) イ 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。</p> <p>2B (3) イ 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。</p>

<p>■公式理解(17)～(19)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>複数の事象を扱う確率を求めることができる。</u> ・ <u>平均値を求めることができる。</u> 	<p>【設問数】3問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>D</p> <p>資料の活用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕</p> <p>2D (1)</p> <p>ア ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2D (1)</p> <p>ア 確率の必要性和意味を理解し, 簡単な場合について確率を求めること。</p> <p>イ 確率を用いて不確定な事象をとらえ説明すること。</p>
---	---------------------------------	-----------------------	--

<p>■公式利用(1)～(6)</p> <p>・ <u>やや複雑な文字式や平方根を含む式の計算, 式の展開, 因数分解を行う</u>ことができる。</p> <p>・ <u>与えられた文章をもとに一次方程式や連立方程式, 二次方程式を立式し, 解く</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】6問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>A 数 と 式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕</p> <p>2A (3) ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2A (1) ア 簡単な整式の加法, 減法及び単項式の乗法, 除法の計算をすること。</p> <p>2A (2) ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2A (1) イ 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。</p> <p>2A (2) イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。</p> $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ $(a-b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$ $(a+b)(a-b) = a^2 - b^2$ $(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$ <p>2A (3) エ 二次方程式を具体的な場面で活用すること。</p>
--	---------------------------------	----------------------------	---

<p>■公式利用(7)～(9)</p> <p>・与えられた文章や条件をもとに一次関数の立式や決定ができる。</p> <p>・関数 $y=ax^2$ において、条件をもとに変域を求めることができる。</p>	<p>【設問数】3問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>C 関数</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2C (1)</p> <p>ウ 二元一次方程式を関数を表す式とみること。</p> <p>エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2C (1)</p> <p>イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。</p>
<p>■公式利用(10)～(12)</p> <p>三角形の相似や円周角の定理を用いて、線分の比や角度、体積を求めることができる。</p>	<p>【設問数】3問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>B 図形</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2B (1)</p> <p>イ 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。</p> <p>ウ 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめること。</p> <p>エ 基本的な立体の相似の意味と、相似な図形の相似比と面積比及び体積比の関係について理解すること。</p> <p>2B (2)</p> <p>イ 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。</p>
<p>■公式利用(13)・(14)</p> <p>・条件を満たす場合の確率を求めることができる。</p> <p>・標本調査の考えをもとに、数を推定することができる。</p>	<p>【設問数】2問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>D 資料の活用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2D (1)</p> <p>イ 確率を用いて不確定な事象をとらえ説明すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2D (1)</p> <p>イ 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明すること。</p>

<p>■応用力〔1〕 与えられた条件から、<u>直線や放物線の方程式、点の座標などを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>C 関数</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2C (1) イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。 中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2C (1) イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。 ウ 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。</p>
<p>■応用力〔2〕 与えられた図と条件を理解し、<u>相似や三平方の定理を利用しながら、線分の長さや面積を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>B 図形</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2B (1) ウ 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確認すること。 2B (3) イ 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。</p>
<p>■数学的表現 日常的な事象において、<u>与えられた状況を読み取り、適切な数式を表すことができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】短答式</p>	<p>A 数と式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2A (1) イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。 ウ 目的に応じて、簡単な式を変形すること。</p>
<p>■数学的表現 日常的な事象において、条件から<u>文字を含む関係式をつくり予想したりそれを確認したりすることを通して、考察の対象を明確に捉えることができるようにする。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】記述式</p>		

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回 (複数の選択大問があるため、受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科：数学

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■公式理解(1)～(10)</p> <p>・ <u>公式や数の性質を用いて、式の計算や因数分解、分母の有理化などの数式の操作を正しく行うことができる。</u></p> <p>・ <u>簡単な集合を求めたり命題の真偽を判断したりすることができる。</u></p>	<p>【設問数】10問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(1)</p> <p>数と式</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 数と集合</p> <p>(ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>(イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 式</p> <p>(ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p> <p>(イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>■公式理解(11)～(16)</p> <p>・ <u>和や積の法則、順列や組合せの考え方を用いて、場合の数を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】6問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(1)</p> <p>場合の数と確率</p>	<p>数学 A</p> <p>ア 場合の数</p> <p>(ア) 数え上げの原則 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解すること。</p> <p>(イ) 順列・組合せ 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求めること。</p>

<p>■公式利用(1)～(6)</p> <p>・ <u>公式や数の性質を用いて、やや複雑な式の計算や因数分解などの数式を操作することができる。</u></p> <p>・ <u>条件を満たす集合を求め、その命題の真偽を判断することができる。</u></p>	<p>【設問数】6問</p> <p>【出題形式】選択式</p> <p>サンプル問題1</p>	<p>(1)</p> <p>数と式</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 数と集合</p> <p>(イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 式</p> <p>(ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p> <p>(イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>■公式利用(7)～(10)</p> <p><u>積の法則、順列や組合せの考え方などを用いて、並び方や組み分けなどの場合の数を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>率 (1)</p> <p>場合の数と確</p>	<p>数学 A</p> <p>ア 場合の数</p> <p>(ア) 数え上げの原則 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解すること。</p> <p>(イ) 順列・組合せ 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求めること。</p>

<p>■応用力〔1〕 与えられた条件をもとに<u>二次不等式を解き、値を求めたり、その範囲を適切に表現したりすることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学Ⅰ ア 数と集合 (ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>■応用力〔2〕 <u>場合を分けて条件を考察し、組合せの考え方をを用いて場合の数を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>の(1) 数と確率 場合</p>	<p>数学A ア 場合の数 (イ) 順列・組合せ 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求めること。</p>
<p>■数学的表現 日常的な事象において、<u>与えられた状況を読み取り、適切な関数をつくる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】短答式 サンプル問題2問1</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学Ⅰ ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>■数学的表現 日常的な事象の文脈における、<u>条件の変化によって、最大値がどのように変化するかを把握する</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式 サンプル問題2問2</p>		<p>数学Ⅰ ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>

<p>■数学的表現 日常的な事象において、<u>複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 <u>サンプル問題 2 問 3</u></p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p> <p>イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p> <p>[課題学習]</p> <p>(1), (2), (3)及び(4)の内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどして、生徒の関心や意欲を高める課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識できるようにする。</p>
---	---	----------------------	--

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート α タイプ 2年2回-3年1回 (複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■公式理解(1)～(3)</p> <p>・<u>数学 I における簡単な数式を正しく操作することができる。</u></p>	<p>【設問数】3 問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(1)</p> <p>数と式</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 数と集合</p> <p>(ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>(イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 式</p> <p>(イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>■公式理解(4)～(6)</p> <p><u>二次関数の最大・最小や、二次不等式の解を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】3 問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(3)</p> <p>二次関数</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p> <p>イ 二次関数の値の変化</p> <p>(ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p> <p>(イ) 二次方程式・二次不等式 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。</p>

<p>■公式理解(7)～(9) <u>定理・公式を利用して、三角形の辺の長さや面積を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。 イ 図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。</p>
<p>■公式理解(10)・(11) ・<u>分散を求めることができる。</u> ・<u>図やグラフの読み取り方法を理解できている。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>の分析 (4) データ</p>	<p>数学 I ア データの散らばり 四分位偏差、分散及び標準偏差などの意味について理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し、説明すること。</p>
<p>■公式理解(12)～(14) <u>順列・組合せについて理解し、簡単な場合の数や確率を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A ア 場合の数 (イ) 順列・組合せ 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求めること。 イ 確率 (ア) 確率とその基本的な法則 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求めること。また、確率を事象の考察に活用すること。</p>

<p>■公式理解(15)・(16) <u>最小公倍数や不定方程式の整数解を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 整数の性質</p>	<p>数学 A ア 約数と倍数 素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解し、整数に関連した事象を論理的に考察し表現すること。 イ ユークリッドの互除法 整数の除法の性質に基づいてユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて二つの整数の最大公約数を求めること。また、二元一次不定方程式の解の意味について理解し、簡単な場合についてその整数解を求めること。</p>
<p>■公式利用(1)・(2) ・数の性質や公式を利用して、<u>やや複雑な数式の操作を行うことができる。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I ア 数と集合 (ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p>

<p>■公式利用(3)・(4) <u>文字定数を含む二次関数について、関数を決定することができる。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
<p>■公式利用(5)・(6) <u>三角形の性質や定理を利用して辺の長さを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>形と計量 (2) 図</p>	<p>数学 I ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>
<p>■公式利用(7)・(8) <u>定理・公式を利用して、やや複雑な事象の場合の数や確率を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A ア 場合の数 (イ) 順列・組合せ 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求めること。 イ 確率 (ア) 確率とその基本的な法則 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求めること。また、確率を事象の考察に活用すること。</p>

<p>■公式利用(9)・(10) <u>整数の性質を利用して、余りや最大公約数などを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 整数の性質</p>	<p>数学A ア 約数と倍数 素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解し、整数に関連した事象を論理的に考察し表現すること。 イ ユークリッドの互除法 整数の除法の性質に基づいてユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて二つの整数の最大公約数を求めること。また、二元一次不定方程式の解の意味について理解し、簡単な場合についてその整数解を求めること。</p>
<p>■応用力〔1〕 <u>文字定数を含む二次関数について、立式したり関数を決定したりすることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学I ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。 (イ) 二次方程式・二次不等式 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。</p>
<p>■応用力〔2〕 <u>三角形の性質や定理を利用して、辺の長さや円の半径を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>と計量 (2) 図形</p>	<p>数学I ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>

<p>■公式理解(1)・(2) <u>二次方程式の解と係数の関係や剰余の定理について理解</u>できている。</p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) いろいろな式</p>	<p>数学Ⅱ イ 高次方程式 (ア) 複素数と二次方程式 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。また、二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。 (イ) 因数定理と高次方程式 因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を因数定理などを用いて求めること。</p>
<p>■公式理解(3)・(4) <u>点と直線の距離を求める公式や領域について理解</u>できている。</p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 図形と方程式</p>	<p>数学Ⅱ ア 直線と円 (ア) 点と直線 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。また、座標平面上の直線を方程式で表し、それを二直線の位置関係などの考察に活用すること。 イ 軌跡と領域 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること。また、簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p>
<p>■公式理解(5)・(6) <u>三角関数を含む方程式を解いたり、三角関数を合成したり</u>することができる。</p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(4) 三角関数</p>	<p>数学Ⅱ イ 三角関数 (イ) 三角関数の基本的な性質 三角関数について、相互関係などの基本的な性質を理解すること。 ウ 三角関数の加法定理 三角関数の加法定理を理解し、それを用いて2倍角の公式を導くこと。</p>

<p>■公式理解(7)・(8) <u>指数関数や対数関数について、計算方法やグラフを理解</u> <u>できている。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(3) 指数関数・ 対数関数</p>	<p>数学Ⅱ ア 指数関数 (イ) 指数関数とそのグラフ 指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p> <p>数学Ⅱ イ 対数関数 (ア) 対数 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。</p>
<p>■公式理解(9)・(10) <u>導関数や不定積分について</u> <u>理解</u>できている。</p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(5) 微分・ 積分の 考え</p>	<p>数学Ⅱ ア 微分の考え (イ) 導関数の応用 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくこと。また、微分の考えを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 積分の考え (ア) 不定積分と定積分 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分を求めること。</p>
<p>■公式理解(11)～(13) <u>いろいろな数列の和を求め</u> <u>ることができる。</u></p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 数列</p>	<p>数学B ア 数列とその和 (ア) 等差数列と等比数列 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項及び和を求めること。</p> <p>(イ) いろいろな数列 いろいろな数列の一般項や和について、その求め方を理解し、事象の考察に活用すること。</p>

<p>■公式理解(14)～(16) ベクトルの内積や位置ベクトルについて理解できている。</p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>	<p>(3) ベクトル</p>	<p>数学B ア 平面上のベクトル (ア) ベクトルとその演算 ベクトルの意味, 相等, 和, 差, 実数倍, 位置ベクトル及びベクトルの成分表示について理解すること。 (イ) ベクトルの内積 ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解し, それらを平面図形の性質などの考察に活用すること。</p>
<p>■公式利用(1) 三次方程式の解を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>ない(1) ろ る</p>	<p>数学Ⅱ イ 高次方程式 (イ) 因数定理と高次方程式 因数定理について理解し, 簡単な高次方程式の解を因数定理などを用いて求めること。</p>
<p>■公式利用(2) 点の軌跡を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>形(2) と 方 程 式 図</p>	<p>数学Ⅱ イ 軌跡と領域 軌跡について理解し, 簡単な場合について軌跡を求めること。また, 簡単な場合について, 不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p>
<p>■公式利用(3) 三角関数のとり得る値の範囲を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>関 数(4) 三 角</p>	<p>数学Ⅱ イ 三角関数 (ア) 三角関数とそのグラフ 三角関数とそのグラフの特徴について理解すること。 ウ 三角関数の加法定理 三角関数の加法定理を理解し, それを用いて2倍角の公式を導くこと。</p>
<p>■公式利用(4)・(5) 指数関数や対数関数を含む方程式の解を求めることができる。</p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>対 数 関 数(3) 指 数 関 数 ・</p>	<p>数学Ⅱ ア 指数関数 (イ) 指数関数とそのグラフ 指数関数とそのグラフの特徴について理解し, それらを事象の考察に活用すること。 イ 対数関数 (イ) 対数関数とそのグラフ 対数関数とそのグラフの特徴について理解し, それらを事象の考察に活用すること。</p>

<p>■公式利用(6) <u>放物線で囲まれる部分の面積を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択</p>	<p>分 の 考 え 積 (5)</p>	<p>数学Ⅱ イ 積分の考え (イ) 面積 定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めること。</p>
<p>■公式利用(7)・(8) <u>数列の和の式から一般項や最大値を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 数列</p>	<p>数学B ア 数列とその和 (ア) 等差数列と等比数列 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項及び和を求めること。 (イ) いろいろな数列 いろいろな数列の一般項や和について、その求め方を理解し、事象の考察に活用すること。</p>
<p>■公式利用(9)・(10) <u>ベクトルの性質や条件をもとに、大きさなどを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(3) ベクトル</p>	<p>数学B ア 平面上のベクトル (ア) ベクトルとその演算 ベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル及びベクトルの成分表示について理解すること。 (イ) ベクトルの内積 ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解し、それらを平面図形の性質などの考察に活用すること。</p>

<p>■応用力〔1〕 <u>三角形や円の性質を用いて点の軌跡を求め、動点と定点がつくる三角形の面積を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 図形と方程式</p>	<p>数学Ⅱ ア 直線と円 (ア) 点と直線 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。また、座標平面上の直線を方程式で表し、それを二直線の位置関係などの考察に活用すること。 (イ) 円の方程式 座標平面上の円を方程式で表し、それを円と直線の位置関係などの考察に活用すること。 イ 軌跡と領域 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること。また、簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p>
<p>■応用力〔2〕 <u>接線の方程式や、放物線で囲まれる部分の面積を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>考(5) 微分・積分の</p>	<p>数学Ⅱ ア 微分の考え (イ) 導関数の応用 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくこと。また、微分の考えを事象の考察に活用すること。 イ 積分の考え (イ) 面積 定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めること。</p>
<p>■数学的表現 日常的な事象において、<u>与えられた状況を読み取り、適切な関数をつくる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】短答式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学Ⅰ ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>

<p>■数学的表現 日常的な事象の文脈における、<u>条件の変化によって、最大値がどのように変化するかを把握することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式</p>	<p>数学 I ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
<p>■数学的表現 日常的な事象において、<u>複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式</p>	<p>数学 I ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p> <p>[課題学習]</p> <p>(1), (2), (3) 及び(4)の内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどして、生徒の関心や意欲を高める課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識できるようにする。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 10問 【CEFR】 A1程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>文法を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 25問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 25問 【CEFR】 A1程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルの英文を、 <u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u> することができる。	【設問数】 5問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 5問 【CEFR】 A1程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。
・ある程度のまとまりのある会話文を読んで、 <u>会話の内容を推測したり、会話の内容に合わせて文レベルで再構築したり</u> することができる。	【設問数】 2問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 2問 【CEFR】 A1程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。 (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。
	【設問数】 2問(程度) 【出題形式】 選択式(文整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 2問 【CEFR】 A1程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・まとまりのある文章を読んで、<u>その内容、テーマや概要をとらえる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】6問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 6問 【CEFR】A1程度</p>	<p>読むこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。 (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること</p>
<p>・与えられた情報を正しく読み取り、<u>英語で描写したり、自分の意見を簡潔に英語で表現したり</u>することができる。</p>	<p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 2問 【CEFR】A1程度</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。 (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・会話や説明文などを聞いて、 その場面や状況、内容を聞き取る ことができる。	【設問数】 7問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 7問 【CEFR】 A1程度	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ア 聞くこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく聞き取ること。 (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて, 情報を正確に聞き取ること。 (オ) まとまりのある英語を聞いて, 概要や要点を適切に聞き取ること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 日常的话题や社会的な话题で、「やり取り」や「発表」を<u>する</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】4問～7問(程度) 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】義務教育範囲 4問～7問(程度) 【CEFR】A1～2程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>	<p>話すこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) イ 話すこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち, 事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて, 問答したり意見を述べ合ったりなどすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 5問 コミュニケーション英語 I 5問 【CEFR】 A1程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>文法を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 25問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 5問 コミュニケーション英語 I 20問 【CEFR】 A1～A2程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ 文レベルの英文を、<u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u>することができる。</p>	<p>【設問数】 5問 (程度) 【出題形式】 選択式 (整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 コミュニケーション 英語 I 4問 【CEFR】 A1～A2 程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ある程度のまとまりのある会話文を読んで、<u>文脈に合わせて会話の内容を推測したり、会話の内容に合わせ文レベルで会話を再構築したり</u>することができる。</p>	<p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 コミュニケーション 英語 I 2問 【CEFR】A1~A2程度</p>	読むこと	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>
	<p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 選択式(文整序) 【出題数の割合】 コミュニケーション 英語 I 2問 【CEFR】A1~A2程度</p>		
<p>・まとまりのある文章の説明や物語などを読んで、<u>その内容、テーマや概要をとらえる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】6問(程度) 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1 【出題数の割合】 コミュニケーション 英語 I 6問 【CEFR】A1~A2程度</p>		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた情報を正しく読み取り、英語で描写したり、自分の意見を簡潔に英語で表現したりすることができる。</p>	<p>【設問数】 2問 (程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 コミュニケーション 英語 I 2問 【CEFR】 A1～A2 程度</p> <p>サンプル問題 2</p>	<p>書くこと</p>	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・会話や説明文を聞いて、その <u>場面や状況、内容を聞き取るこ とができる。</u>	【設問数】 7問 (程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング サンプル問題 3 【出題数の割合】 コミュニケーション 英語 I 7問 【CEFR】 A1～A2 程度	聞くこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・日常的な話題や社会的な話題で、「やり取り」や「発表」を<u>する</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】4問～7問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問～5問(程度) コミュニケーション英語 I 1問～2問(程度) 【CEFR】A1～2程度</p> <p>サンプル問題 4</p> <p>※スピーキング試験は実施せず</p>	<p>話すこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) イ 話すこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち, 事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて, 問答したり意見を述べ合ったりなどすること。</p> <p>コミュニケーション英語 I (1) イ 説明や物語などを読んで, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。また, 聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 2年2回-3年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ 5問程度 コミュニケーション英語Ⅱ 5問程度 【CEFR】 A1～A2程度	読むこと・書くこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>文法を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 25問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ 12問程度 コミュニケーション英語Ⅱ 13問程度 【CEFR】 A1～A2程度		(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。 (2) ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・文レベルの英文を、<u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u>することができる。</p>	<p>【設問数】 5問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 コミュニケーション 英語Ⅰ 3問程度 コミュニケーション 英語Ⅱ 2問程度 【CEFR】 A1～A2程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p> <p>コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。 (2) ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・まとまりのある文章の説明や物語などを読んで、<u>テーマや概要、展開などをとらえる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 9問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ 4問程度 コミュニケーション英語Ⅱ 5問程度 【CEFR】 A1～A2程度</p>	<p>読むこと</p>	<p>コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた情報を正しく読み取り、英語で描写したり、自分の意見を簡潔に英語で表現したりすることができる。</p>	<p>【設問数】 2問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 コミュニケーション英語 I 2問程度 【CEFR】 A1～A2 程度</p>	<p>書くこと</p>	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・会話や説明文を聞いて、その場面や状況、内容を聞き取ることができる。</p>	<p>【設問数】18問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ 10問 コミュニケーション英語Ⅱ 8問 【CEFR】 A1～A2程度</p>	<p>聞くこと</p>	<p>コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1)ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 日常的な話題や社会的な話題で、「やり取り」や「発表」を<u>することができる。</u></p>	<p>【設問数】 4問～7問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 コミュニケーション英語 I 3～5問 (程度) コミュニケーション英語 II 1問～2問 (程度) 【CEFR】 A1～2 程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>	<p>話すこと</p>	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基 づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をし たりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、 話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりす ること。</p> <p>コミュニケーション英語 II 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したこと に基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論を まとめる。 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞 いたり話したりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話 したり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート βタイプ 1年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、漢字や語彙（類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）、及び言葉のきまり（口語文法など）を理解し、適切に使うことができる。	【設問数】15問（程度） 【出題形式】選択式	項 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （ウ） 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （イ） 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容を的確に読み取り、筆者の主張やその主張の根拠をとらえ、目的や視点に応じて、複数の情報を比較・統合したり、読み取った情報を関連付け・組み合わせるなどして文章の主題をより深くとらえることができる。</u>	【設問数】 5問（程度） 【出題形式】 選択式	C 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】 5問（程度） 【出題形式】 選択式	C 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】 11 問（程度） 【出題形式】 選択式</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむこと。</p>

<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取り、文章の内容を要約することができる。</u></p>	<p>【設問数】 6問（程度） 【出題形式】 選択式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 C 読むこと イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむこと。</p>
--	--	--	--

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
複数のテキストの内容を読み取り、 <u>目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明したり、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】選択式	C 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。
	【設問数】2問(程度) 【出題形式】記述式	C B 読むこと 書くこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 B 書くこと イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。 ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート βタイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、 <u>漢字や語彙（類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）、及び言葉のきまり（口語文法など）を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】 15問（程度） 【出題形式】 選択式	事項 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 ア 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。 イ 文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 ア 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容を的確に読み取り、筆者の主張やその主張の根拠をとらえ、目的や視点に応じて、複数の情報を比較・統合したり、読み取った情報を関連付け・組み合わせるなどして文章の主題をより深くとらえることができる。</u>	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】12問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 C</p>	<p>国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>
<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取り、文章の内容を要約することができる。</u></p>	<p>【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式 [サンプル問題 1]</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 C 読むこと</p>	<p>国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）を読むにあたり、<u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u></p>	<p>※漢文は2年1回のみとなります 【設問数】15問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 C</p>	<p>国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ） 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>
<p>古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取り、文章の内容を要約することができる。</u></p>	<p>※漢文は2年1回のみとなります 【設問数】6問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 C 読むこと</p>	<p>国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ） 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
複数のテキストの内容を読み取り、 <u>目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明したり、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 2	C 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。
	【設問数】 2 問(程度) 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2	C B 読むこと 書くこと	国語総合 B 書くこと イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を明確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート βタイプ 2年2回-3年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、 <u>漢字や語彙（類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）、及び言葉のきまり（口語文法など）を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】15問（程度） 【出題形式】選択式	事項 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。 (イ) 文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容を的確に読み取り、筆者の主張やその主張の根拠をとらえ、目的や視点に応じて、複数の情報を比較・統合したり、読み取った情報を関連付け・組み合わせるなどして文章の主題をより深くとらえることができる。</u>	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】13問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>特質に関する事項 〔伝統的な言語文化と国語の〕</p>	<p>国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ） 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>
<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取り、文章の内容を要約することができる。</u></p>	<p>【設問数】6問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>古典B 古典A ア イ ウ エ</p>	<p>古典A イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。</p> <p>古典B ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）を読むにあたり、 <u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u>	【設問数】 14 問（程度） 【出題形式】 選択式	古 古 典 典 B A ア イ	古典A イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 古典B ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取り、文章の内容を要約することができる。</u></p>	<p>【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>古典A イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 エ 伝統的な言語文化についての課題を設定し、様々な資料を読んで探究して、我が国の伝統と文化について理解を深めること。</p> <p>古典B ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。 オ 古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めること。</p>	

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
複数のテキストの内容を読み取り、 <u>目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明したり、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。
	【設問数】2問(程度) 【出題形式】記述式	C B 読むこと 書くこと	国語総合 B 書くこと イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を明確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 1年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■公式利用(1)～(6)</p> <p>・ <u>やや複雑な文字式や平方根を含む式の計算, 式の展開, 因数分解を行うことができる。</u></p> <p>・ <u>与えられた文章をもとに一次方程式や連立方程式, 二次方程式を立式し, 解くことができる。</u></p>	<p>【設問数】6問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	A 数と式	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕</p> <p>2A (3) ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2A (1) ア 簡単な整式の加法, 減法及び単項式の乗法, 除法の計算をすること。</p> <p>2A (2) ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2A (1) イ 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。</p> <p>2A (2) イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。</p> $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ $(a-b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$ $(a+b)(a-b) = a^2 - b^2$ $(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$ <p>2A (3) エ 二次方程式を具体的な場面で活用すること。</p>

<p>■公式利用(7)～(9)</p> <p>・与えられた文章や条件をもとに一次関数の立式や決定ができる。</p> <p>・関数 $y=ax^2$ において、条件をもとに変域を求めることができる。</p>	<p>【設問数】3問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>C 関数</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2C (1)</p> <p>ウ 二元一次方程式を関数を表す式とみること。</p> <p>エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2C (1)</p> <p>イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。</p>
<p>■公式利用(10)～(12)</p> <p>三角形の相似や円周角の定理を用いて、線分の比や角度、体積を求めることができる。</p>	<p>【設問数】3問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>B 図形</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2B (1)</p> <p>イ 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。</p> <p>ウ 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめること。</p> <p>エ 基本的な立体の相似の意味と、相似な図形の相似比と面積比及び体積比の関係について理解すること。</p> <p>2B (2)</p> <p>イ 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。</p>
<p>■公式利用(13)・(14)</p> <p>・条件を満たす場合の確率を求めることができる。</p> <p>・標本調査の考えをもとに、数を推定することができる。</p>	<p>【設問数】2問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>D 資料の活用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2D (1)</p> <p>イ 確率を用いて不確定な事象をとらえ説明すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2D (1)</p> <p>イ 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明すること。</p>

<p>■応用力〔1〕</p> <p><u>与えられた条件から、直線や放物線の方程式、点の座標などを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>C 関数</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2C (1)</p> <p>イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2C (1)</p> <p>イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。</p> <p>ウ 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。</p>
<p>■応用力〔2〕</p> <p><u>与えられた図と条件を理解し、相似や三平方の定理を利用しながら、線分の長さや面積を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>B 図形</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2B (1)</p> <p>ウ 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確認すること。</p> <p>2B (3)</p> <p>イ 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。</p>

<p>■総合力</p> <p>・関数や三角形の定理・性質を利用して、点の座標などを求めることができる。</p> <p>・直線や平行線の性質を利用して、図形の面積やその比を求めることができる。</p>	<p>【出題形式】8問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>A B C</p> <p>数関と形数式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2B (1)</p> <p>ア 平行線や角の性質を理解し、それに基づいて図形の性質を確かめ説明すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2A (3)</p> <p>エ 二次方程式を具体的な場面で活用すること。</p> <p>2B (1)</p> <p>エ 基本的な立体の相似の意味と、相似な図形の相似比と面積比及び体積比の関係について理解すること。</p> <p>2B (3)</p> <p>イ 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。</p> <p>2C (1)</p> <p>イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。</p>
<p>■数学的表現</p> <p>日常的な事象において、与えられた状況を読み取り、適切な数式を表すことができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】短答式</p>	<p>A</p> <p>数と式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2A (1)</p> <p>(1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。</p> <p>イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。</p> <p>ウ 目的に応じて、簡単な式を変形すること。</p>
<p>■数学的表現</p> <p>日常的な事象において、条件から文字を含む関係式をつくり予想やそれを確認することを通して、考察の対象を明確に捉えることができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】記述式</p>		

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回 (複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■公式利用(1)～(6)</p> <p>・ <u>公式や数の性質を用いて、やや複雑な式の計算や因数分解ができる。</u></p> <p>・ <u>与えられた文章から一次不等式を立式し、解を求めることができる。</u></p> <p>・ <u>条件を満たす集合を求め、その命題の真偽を判断することができる。</u></p>	<p>【設問数】6問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(1)</p> <p>数と式</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 数と集合</p> <p>(イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 式</p> <p>(ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p> <p>(イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>■公式利用(7)～(10)</p> <p><u>積の法則、順列や組合せの考え方などを用いて、並び方や組み分けなどの場合の数を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>確率(1)</p> <p>場合の数と</p>	<p>数学 A</p> <p>ア 場合の数</p> <p>(ア) 数え上げの原則 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解すること。</p> <p>(イ) 順列・組合せ 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求めること。</p>

<p>■応用力〔1〕 与えられた条件をもとに<u>二次不等式を解き、値を求めたり、その範囲を適切に表現したりすることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I ア 数と集合 (ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>■応用力〔2〕 <u>定義域が変化するときの二次関数の最大値や最小値について、定義域に注意しながら考察することができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式 サンプル問題 1</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>

<p>■総合力 <u>動点からつくられる図形を把握し、面積と時間の関係を関数の式で表し条件を満たす数を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 8 問 【出題形式】 選択式</p>	<p>(1) 数と式 (3) 二次関数</p>	<p>数学 I (1) 数と式 ア 数と集合 (ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。 (3) 二次関数 ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
<p>■数学的表現 日常的な事象において、<u>与えられた状況を読み取り、適切な関数をつくる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 <u>サンプル問題 2 問 1</u></p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>■数学的表現 日常的な事象の文脈における、<u>条件の変化によって、最大値がどのように変化するかを把握</u>することができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 <u>サンプル問題 2 問 2</u></p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>

<p>■数学的表現 日常的な事象において、<u>複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 <u>サンプル問題 2 問 3</u></p>	<p>数学 I</p> <p>ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p> <p>イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p> <p>[課題学習]</p> <p>(1), (2), (3)及び(4)の内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどして、生徒の関心や意欲を高める課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識できるようにする。</p>
---	---	--

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 2年2回-3年1回 (複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■公式利用(1)・(2)</p> <p>・数の性質や公式を利用して、式の計算ができる。</p> <p>・条件を満たす集合を求めたり、命題の真偽を判断したりすることができる。</p>	<p>【設問数】2問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(1)</p> <p>数と式</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 数と集合</p> <p>(ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>(イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること</p> <p>イ 式</p> <p>(ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p>
<p>■公式利用(3)・(4)</p> <p><u>文字定数を含む二次関数について、関数を決定することができる。</u></p>	<p>【設問数】2問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(3)</p> <p>二次関数</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p> <p>イ 二次関数の値の変化</p> <p>(ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
<p>■公式利用(5)・(6)</p> <p><u>三角形の性質や定理を利用して辺の長さを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>形と計量</p> <p>(2)</p> <p>図</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 三角比</p> <p>(ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>

<p>■公式利用(7)・(8) <u>知識を利用して、やや複雑な事象の場合の数や確率を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A ア 場合の数 (イ) 順列・組合せ 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求めること。 イ 確率 (ア) 確率とその基本的な法則 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求めること。また、確率を事象の考察に活用すること。</p>
<p>■公式利用(9)・(10) <u>整数の性質を利用して、余りや最大公約数などを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 整数の性質</p>	<p>数学 A ア 約数と倍数 素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解し、整数に関連した事象を論理的に考察し表現すること。 イ ユークリッドの互除法 整数の除法の性質に基づいてユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて二つの整数の最大公約数を求めること。また、二元一次不定方程式の解の意味について理解し、簡単な場合についてその整数解を求めること。</p>
<p>■公式利用(1) <u>三次方程式の解を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>ない (1) 式 いろ</p>	<p>数学 II イ 高次方程式 (イ) 因数定理と高次方程式 因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を因数定理などを用いて求めること。</p>
<p>■公式利用(2) <u>点の軌跡を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>形と (2) 方程式 図</p>	<p>数学 II イ 軌跡と領域 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること。また、簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p>

<p>■公式利用(3)</p> <p><u>三角関数のとり得る値の範囲を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>関数(4)</p> <p>三角</p>	<p>数学Ⅱ</p> <p>イ 三角関数 (ア) 三角関数とそのグラフ 三角関数とそのグラフの特徴について理解すること。</p> <p>ウ 三角関数の加法定理 三角関数の加法定理を理解し、それを用いて2倍角の公式を導くこと。</p>
<p>■公式利用(4)・(5)</p> <p><u>指数関数や対数関数を含む方程式の解を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>対数関数(3)</p> <p>指数関数・</p>	<p>数学Ⅱ</p> <p>ア 指数関数 (イ) 指数関数とそのグラフ 指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 対数関数 (イ) 対数関数とそのグラフ 対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p>
<p>■公式利用(6)</p> <p><u>放物線で囲まれる部分の面積を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択</p>	<p>分微(5)</p> <p>の分・考え積</p>	<p>数学Ⅱ</p> <p>イ 積分の考え (イ) 面積 定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めること。</p>
<p>■公式利用(7)・(8)</p> <p><u>数列の和の式から一般項や最大値を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(2)</p> <p>数列</p>	<p>数学B</p> <p>ア 数列とその和 (ア) 等差数列と等比数列 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項及び和を求めること。</p> <p>(イ) いろいろな数列 いろいろな数列の一般項や和について、その求め方を理解し、事象の考察に活用すること。</p>

<p>■公式利用(9)・(10) ベクトルの性質や条件をもとに、<u>大きさなどを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(3) ベクトル</p>	<p>数学B ア 平面上のベクトル (ア) ベクトルとその演算 ベクトルの意味, 相等, 和, 差, 実数倍, 位置ベクトル及びベクトルの成分表示について理解すること。 (イ) ベクトルの内積 ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解し, それらを平面図形の性質などの考察に活用すること。</p>
<p>■応用力〔1〕 <u>三角形の性質や定理を利用して, 辺の長さや円の半径を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>と計量(2) 図形</p>	<p>数学I ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し, それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>
<p>■応用力〔2〕 与えられた<u>条件を満たす組合せの確率を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>の数と確率(1) 場合</p>	<p>数学A イ 確率 (ア) 確率とその基本的な法則 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め, それらを用いて事象の確率を求めること。また, 確率を事象の考察に活用すること。</p>
<p>■応用力〔1〕 <u>接線の方程式や, 放物線で囲まれる部分の面積を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>考え(5) 微分・積分の</p>	<p>数学II ア 微分の考え (イ) 導関数の応用 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ, グラフの概形をかくこと。また, 微分の考えを事象の考察に活用すること。 イ 積分の考え (イ) 面積 定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めること。</p>

<p>■応用力〔2〕</p> <p><u>2つの数列の一般項を求め、それらを組み合わせてできる新たな数列の和を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(2)</p> <p>数列</p>	<p>数学 B</p> <p>ア 数列とその和</p> <p>(ア) 等差数列と等比数列 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項及び和を求めること。</p> <p>(イ) いろいろな数列 いろいろな数列の一般項や和について、その求め方を理解し、事象の考察に活用すること。</p>
<p>■総合力</p> <p><u>三角関数を2次関数に帰着させ、最大・最小や直線との共有点の個数などを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】8問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(3)(4)</p> <p>二次関数 三角関数</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p> <p>イ 二次関数の値の変化</p> <p>(ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p> <p>(イ) 二次方程式・二次不等式 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。</p> <p>数学 II</p> <p>イ 三角関数</p> <p>(ア) 三角関数とそのグラフ 三角関数とそのグラフの特徴について理解すること。</p> <p>ウ 三角関数の加法定理 三角関数の加法定理を理解し、それを用いて2倍角の公式を導くこと。</p>

<p>■総合力</p> <p><u>円の存在条件や軌跡, 円の通過領域の面積などを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 8 問</p> <p>【出題形式】 選択式</p>	<p>(2)(2)</p> <p>図形と計量 図形と方程式</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 三角比</p> <p>(ア) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。</p> <p>(イ) 鈍角の三角比 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し, 鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。</p> <p>数学 II</p> <p>ア 直線と円</p> <p>(ア) 点と直線 座標を用いて, 平面上の線分を内分する点, 外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。また, 座標平面上の直線を方程式で表し, それを二直線の位置関係などの考察に活用すること。</p> <p>(イ) 円の方程式 座標平面上の円を方程式で表し, それを円と直線の位置関係などの考察に活用すること。</p> <p>イ 軌跡と領域 軌跡について理解し, 簡単な場合について軌跡を求めること。また, 簡単な場合について, 不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p>
<p>■数学的表現</p> <p><u>日常的な事象において, 与えられた状況を読み取り, 適切な関数をつくることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>関数(3) 二次</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また, 二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>

<p>■数学的表現 日常的な事象の文脈における、<u>条件の変化によって、最大値がどのように変化するかを把握することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式</p>	<p>数学 I ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
<p>■数学的表現 日常的な事象において、<u>複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式</p>	<p>数学 I ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p> <p>[課題学習]</p> <p>(1), (2), (3) 及び(4) の内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどして、生徒の関心や意欲を高める課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識できるようにする。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート βタイプ 1年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 10問 【CEFR】A1程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。
・文レベルで英文内容を理解し、 <u>文法を正しく使用</u> することができる。	【設問数】25問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 25問 【CEFR】A1程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 文レベルの英文を、<u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u>することができる。</p>	<p>【設問数】5問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 5問 【CEFR】A1程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p>
<p>・ ある程度のまとまりのある会話文を読んで、<u>会話の内容を推測したり、会話の内容に合わせて文レベルで再構築</u>したりすることができる。</p>	<p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 2問 【CEFR】A1程度</p> <p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 選択式(文整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 2問 【CEFR】A1程度</p>	<p>読むこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。 (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・まとまりのある文章の説明や物語などを読んで、<u>その内容、テーマや概要をとらえる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】6問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 6問 【CEFR】A1程度</p>	<p>読むこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。 (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること</p>
<p>・与えられた情報を正しく読み取り、<u>英語で描写したり、自分の意見を簡潔に英語で表現したり</u>することができる。</p>	<p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 2問 【CEFR】A1程度</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。 (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・会話や説明文を聞いて、その 場面や状況、内容を聞き取るこ とができる。	【設問数】7問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 7問 【CEFR】A1程度	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) ア 聞くこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴を とらえ, 正しく聞き取ること。 (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて, 情報を正確 に聞き取ること。 (オ) まとまりのある英語を聞いて, 概要や要点を適切に聞き取ること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 日常的话题や社会的な话题で、「やり取り」や「発表」を <u>する</u> ことができる。	【設問数】4問～7問(程度) 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】義務教育範囲 4問～7問(程度) 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) イ 話すこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち, 事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて, 問答したり意見を述べ合ったりなどすること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート βタイプ 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 5問 コミュニケーション英語 I 5問 【CEFR】 A1程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 コミュニケーション英語 I (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。
・文レベルで英文内容を理解し、 <u>文法を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 25問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 5問 コミュニケーション英語 I 20問 【CEFR】 A1~A2程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 文レベルの英文を、<u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u>することができる。</p>	<p>【設問数】5問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 コミュニケーション 英語 I 4問 【CEFR】A1~A2程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ある程度のまとまりのある会話文を読んで、<u>文脈に合わせた会話の内容を推測したり、会話の内容に合わせて文レベルで再構築したり</u>することができる。</p>	<p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 コミュニケーション英語 I 2問 【CEFR】A1~A2 程度</p>	読むこと	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>
	<p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 選択式(文整序) 【出題数の割合】 コミュニケーション英語 I 2問 【CEFR】A1~A2 程度</p>		
<p>・まとまりのある文章の説明や物語などを読んで、<u>その内容、テーマや概要をとらえる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】6問(程度) 【出題形式】 選択式 サンプル問題1 【出題数の割合】 コミュニケーション英語 I 6問 【CEFR】A1~A2 程度</p>	読むこと	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた情報を正しく読み取り、英語で描写したり、自分の意見を簡潔に英語で表現したりすることができる。</p>	<p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 記述式 サンプル問題2</p> <p>【出題数の割合】 コミュニケーション 英語 I 2問 【CEFR】A1~A2程度</p>	<p>書くこと</p>	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・会話や説明文を聞いて、その 場面や状況、内容を聞き取るこ とができる。	【設問数】 7問 (程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング サンプル問題 3 【出題数の割合】 コミュニケーション 英語 I 7問 【CEFR】 A1~A2 程 度	聞 く こ と	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解し たり、概要や要点をとらえたりする。

(様式4)

測定しようとする資 質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ 日常的な話題や社会的な話題で、「やり取り」や「発表」をすることができる。</p>	<p>【設問数】 4問～7問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 3～5問 (程度) コミュニケーション英語 I 1問 ～2問 (程度) 【CEFR】 A1～2 程度</p> <p>サンプル問題 4</p> <p>※スピーキング試験は実施せず</p>	<p>話すこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) イ 話すこと (ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること。</p> <p>コミュニケーション英語 I (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:(株)ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート βタイプ 2年2回-3年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ 5問程度 コミュニケーション英語Ⅱ 5問程度 【CEFR】A1~A2程度	読むこと・書くこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>文法を正しく使用</u> することができる。	【設問数】25問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ 12問程度 コミュニケーション英語Ⅱ 13問程度 【CEFR】A1~A2程度		コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。 (2) ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 文レベルの英文を、<u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u>することができる。</p>	<p>【設問数】5問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 コミュニケーション 英語Ⅰ 3問程度 コミュニケーション 英語Ⅱ 2問程度 【CEFR】A1~A2程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p> <p>コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。 (2) ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・まとまりのある文章の説明や物語などを読んで、<u>テーマや概要、展開</u>などをとらえることができる。</p>	<p>【設問数】13問(程度) 【出題形式】 選択式</p> <p>【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ 6問程度 コミュニケーション英語Ⅱ 7問程度 【CEFR】A1~A2程度</p>	<p>読むこと</p>	<p>コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた情報を正しく読み取り、英語で描写したり、自分の意見を簡潔に英語で表現したりすることができる。</p>	<p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 コミュニケーション 英語 I 2問程度 【CEFR】A1~A2程度</p>	<p>書くこと</p>	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p> <p>コミュニケーション英語 II 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・会話や説明文を聞いて、その場面や状況、内容を聞き取ることができる。</p>	<p>【設問数】18問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ 9問 コミュニケーション英語Ⅱ 9問 【CEFR】A1～A2程度</p>	<p>聞くこと</p>	<p>コミュニケーション英語Ⅰ 2内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>コミュニケーション英語Ⅱ 2内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資 質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<p>・ 日常的な話題や社会的な話題で、「やり取り」や「発表」をすることができる。</p>	<p>【設問数】 4問～7問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 コミュニケーション英語 I 3～5問 (程度) コミュニケーション英語 II 1問～2問 (程度) 【CEFR】 A1～2 程度</p> <p>※スピーキング試験は実施せず</p>	<p>話すこと</p>	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>コミュニケーション英語 II 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θタイプ 1年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、 <u>漢字や語彙</u> （類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）、及び <u>言葉のきまり</u> （口語文法など）を理解し、適切に <u>使うことができる</u> 。	【設問数】 15問（程度） 【出題形式】 選択式	事項 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する〕	中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （ウ） 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 （イ） 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容を的確に読み取り、筆者の主張やその主張の根拠をとらえ、目的や視点に応じて、複数の情報を比較・統合したり、読み取った情報を関連付け・組み合わせるなどして文章の主題をより深くとらえることができる。</u>	【設問数】 5 問 (程度) 【出題形式】 選択式	C 読むこと	中学校学習指導要領 国語 [第 3 学年] C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】 5 問 (程度) 【出題形式】 選択式	C 読むこと	中学校学習指導要領 国語 [第 3 学年] C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】 11 問（程度） 【出題形式】 選択式</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア）文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア）歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむこと。</p>

<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取り、文章の内容を要約することができる。</u></p>	<p>【設問数】 6 問（程度） 【出題形式】 選択式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 C 読むこと イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむこと。</p>
--	---	--	--

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>複数のテキストの内容を読み取り、<u>目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明したり、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問（程度） 【出題形式】 選択式</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
	【設問数】2問(程度) 【出題形式】記述式	C B 読むこと 書くこと	<p>中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕</p> <p>B 書くこと</p> <p>イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。</p> <p>ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。</p> <p>C 読むこと</p> <p>ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。</p> <p>イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。</p> <p>ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θタイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、 <u>漢字や語彙</u> （類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）、及び <u>言葉のきまり</u> （口語文法など）を理解し、適切に <u>使うことができる</u> 。	【設問数】 15問（程度） 【出題形式】 選択式	事項 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。 (イ) 文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容を的確に読み取り、筆者の主張やその主張の根拠をとらえ、目的や視点に応じて、複数の情報を比較・統合したり、読み取った情報を関連付け・組み合わせるなどして文章の主題をより深くとらえることができる。</u>	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】12問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 C</p>	<p>国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>
<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取り、文章の内容を要約することができる。</u></p>	<p>【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式 [サンプル問題 1]</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 C 読むこと</p>	<p>国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）を読むにあたり、<u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u></p>	<p>※漢文は2年1回のみとなります 【設問数】15問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 C</p>	<p>国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ） 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>
<p>古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取り、文章の内容を要約することができる。</u></p>	<p>※漢文は2年1回のみとなります 【設問数】6問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 C 読むこと</p>	<p>国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ） 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
複数のテキストの内容を読み取り、 <u>目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明したり、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 2	C 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。
	【設問数】 2 問(程度) 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2	C B 読むこと 書くこと	国語総合 B 書くこと イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を明確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θタイプ 2年2回-3年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、 <u>漢字や語彙（類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）、及び言葉のきまり（口語文法など）を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】15問（程度） 【出題形式】選択式	事項 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。 (イ) 文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容を的確に読み取り、筆者の主張やその主張の根拠をとらえ、目的や視点に応じて、複数の情報を比較・統合したり、読み取った情報を関連付け・組み合わせるなどして文章の主題をより深くとらえることができる。</u>	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】13問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>特質に関する事項 〔伝統的な言語文化と国語の〕</p>	<p>国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 （ア） 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 （イ） 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>
<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取り、文章の内容を要約することができる。</u></p>	<p>【設問数】6問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>古典B 古典A ア イ ウ エ</p>	<p>古典A イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。</p> <p>古典B ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）を読むにあたり、 <u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u>	【設問数】 14 問（程度） 【出題形式】 選択式	古 古 典 典 B A ア イ	古典A イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 古典B ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取り、文章の内容を要約することができる。</u></p>	<p>【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>古典A イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 エ 伝統的な言語文化についての課題を設定し、様々な資料を読んで探究して、我が国の伝統と文化について理解を深めること。</p> <p>古典B ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。 オ 古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めること。</p>	

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明したり、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。	【設問数】1問(程度) 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。
	【設問数】2問(程度) 【出題形式】記述式	C B 読むこと 書くこと	国語総合 B 書くこと イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を明確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 1年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■公式理解(1)～(11)</p> <p>・累乗の表し方, 文字を用いた式, 展開の公式, 平方根を理解して, 簡単な式の計算や式の展開など数式を正しく操作することができる。</p>	<p>【設問数】11 問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>A</p> <p>数と式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕</p> <p>2A (2)</p> <p>イ 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。</p> <p>2A (3)</p> <p>ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2A (2)</p> <p>ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2A (1)</p> <p>イ 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。</p> <p>2A (2)</p> <p>イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。</p> $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ $(a-b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$ $(a+b)(a-b) = a^2 - b^2$ $(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$ <p>2A (3)</p> <p>イ 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。</p> <p>ウ 解の公式を知り, それを用いて二次方程式を解くこと。</p>

<p>■公式理解(12)～(16)</p> <p>・比例・反比例，一次関数，<u>関数 $y=ax^2$ などのグラフの特徴や式の変化について理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】5問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>C 関数</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕</p> <p>2C (1)</p> <p>イ 比例，反比例の意味を理解すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2C (1)</p> <p>イ 一次関数について，表，式，グラフを相互に関連付けて理解すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2C (1)</p> <p>イ 関数 $y=ax^2$ について，表，式，グラフを相互に関連付けて理解すること。</p>
<p>■公式理解(17)～(21)</p> <p>・平行線の錯角や同位角，<u>三角形の相似，三平方の定理について理解し，具体的な角度や線分の長さを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】5問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>B 図形</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕</p> <p>2B (2)</p> <p>ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体，錐(すい)体及び球の表面積と体積を求めること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2B (1)</p> <p>ア 平行線や角の性質を理解し，それに基づいて図形の性質を確かめ説明すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2B (1)</p> <p>イ 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。</p> <p>2B (3)</p> <p>イ 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。</p>

<p>■公式理解(22)～(25)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>複数の事象を扱う確率を求めることができる。</u> ・ <u>平均値を求めることができる。</u> 	<p>【設問数】4問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>D</p> <p>資料の活用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕</p> <p>2D (1)</p> <p>イ ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2D (1)</p> <p>ア 確率の必要性と意味を理解し, 簡単な場合について確率を求めること。</p> <p>イ 確率を用いて不確定な事象をとらえ説明すること。</p>
---	---------------------------------	-----------------------	---

<p>■公式利用(1)～(8)</p> <p>・ <u>やや複雑な文字式や平方根を含む式の計算, 式の展開, 因数分解を行う</u>ことができる。</p> <p>・ <u>与えられた文章をもとに一次方程式や連立方程式, 二次方程式を立式し, 解く</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】8問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>A 数 と 式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕</p> <p>2A (3) ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2A (1) ア 簡単な整式の加法, 減法及び単項式の乗法, 除法の計算をすること。</p> <p>2A (2) ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2A (1) イ 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。</p> <p>2A (2) イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。</p> $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ $(a-b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$ $(a+b)(a-b) = a^2 - b^2$ $(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$ <p>2A (3) エ 二次方程式を具体的な場面で活用すること。</p>
--	---------------------------------	----------------------------	---

<p>■公式利用(9)～(12)</p> <p>・与えられた文章や条件をもとに一次関数の立式や決定ができる。</p> <p>・関数 $y=ax^2$ において、条件をもとに変域を求めることができる。</p>	<p>【設問数】4問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>C 関数</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2C (1)</p> <p>ウ 二元一次方程式を関数を表す式とみること。 エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2C (1)</p> <p>イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。</p>
<p>■公式利用(1)～(4)</p> <p>三角形の相似や円周角の定理を用いて、線分の比や角度、体積を求めることができる。</p>	<p>【設問数】4問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>B 図形</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2B (1)</p> <p>イ 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。 ウ 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめること。 エ 基本的な立体の相似の意味と、相似な図形の相似比と面積比及び体積比の関係について理解すること。</p> <p>2B (2)</p> <p>イ 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。</p>
<p>■公式利用(5)～(7)</p> <p>・条件を満たす場合の確率を求めることができる。</p> <p>・標本調査の考えをもとに、数を推定することができる。</p>	<p>【設問数】3問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>D 資料の活用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2D (1)</p> <p>イ 確率を用いて不確定な事象をとらえ説明すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2D (1)</p> <p>イ 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明すること。</p>

<p>■数学的表現</p> <p>日常的な事象において、<u>与えられた状況を読み取り、適切な数式を表すことができる。</u></p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】短答式</p>	<p>A 数 と 式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>2A (1)</p> <p>イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。</p> <p>ウ 目的に応じて、簡単な式を変形すること。</p>
<p>■数学的表現</p> <p>日常的な事象において、条件から<u>文字を含む関係式をつくり予想したりそれを確かめたりすることを通して、考察の対象を明確に捉えることができるようにする。</u></p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】記述式</p>		

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 1年2回-2年1回 (複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■公式理解(1)～(14)</p> <p>・ <u>公式や数の性質を用いて、式の計算や因数分解、分母の有理化</u>ができる。</p> <p>・ <u>簡単な方程式や不等式を解く</u>ことができる。</p> <p>・ <u>簡単な集合を求めたり命題の真偽を判断したり</u>することができる。</p>	<p>【設問数】14問</p> <p>【出題形式】選択式</p> <p>サンプル問題 1(1)</p> <p>サンプル問題 1(3)</p> <p>サンプル問題 1(4)</p> <p>サンプル問題 1(5)</p>	<p>(1)</p> <p>数と式</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 数と集合</p> <p>(ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>(イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 式</p> <p>(ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p> <p>(イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>■公式理解(1)～(8)</p> <p>・ <u>和や積の法則、順列や組合せの考え方を用いて、場合の数を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】8問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(1)</p> <p>場合の数と確率</p>	<p>数学 A</p> <p>ア 場合の数</p> <p>(ア) 数え上げの原則 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解すること。</p> <p>(イ) 順列・組合せ 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求めること。</p>

<p>■公式利用(1)～(10)</p> <p>・ <u>公式や数の性質を用いて、やや複雑な式の計算や因数分解ができる。</u></p> <p>・ <u>与えられた文章から一次不等式を立式し、解を求めることができる。</u></p> <p>・ <u>条件を満たす集合を求め、その命題の真偽を判断することができる。</u></p>	<p>【設問数】10問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(1)</p> <p>数と式</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 数と集合</p> <p>(イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 式</p> <p>(ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p> <p>(イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>■公式利用(1)～(6)</p> <p><u>積の法則、順列や組合せの考え方などを用いて、並び方や組み分けなどの場合の数を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】6問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>確率(1)</p> <p>場合の数と</p>	<p>数学 A</p> <p>ア 場合の数</p> <p>(ア) 数え上げの原則 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解すること。</p> <p>(イ) 順列・組合せ 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求めること。</p>
<p>■数学的表現</p> <p>日常的な事象において、<u>与えられた状況を読み取り、適切な関数をつくる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】短答式</p> <p>サンプル問題 2問 1</p>	<p>関数(3)</p> <p>二次</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>

<p>■数学的表現</p> <p>日常的な事象の文脈における、<u>条件の変化によって、最大値がどのように変化するかを把握することができる。</u></p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p> <p>サンプル問題 2問 2</p>		<p>数学 I</p> <p>ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p> <p>イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
<p>■数学的表現</p> <p>日常的な事象において、<u>複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決することができる。</u></p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】記述式</p> <p>サンプル問題 2問 3</p>		<p>数学 I</p> <p>ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p> <p>イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p> <p>[課題学習]</p> <p>(1), (2), (3) 及び(4)の内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどして、生徒の関心や意欲を高める課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識できるようにする。</p>

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 2年2回-3年1回 (複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■公式理解(1)～(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>分母の有理化</u>などができる。 ・ <u>一次不等式を解く</u>ことができる。 ・ <u>簡単な命題の真偽を判断</u>できる。 	<p>【設問数】4問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	(1) 数と式	<p>数学 I</p> <p>ア 数と集合</p> <p>(ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>(イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 式</p> <p>(イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>■公式理解(5)～(8)</p> <p><u>二次関数の最大・最小や、二次不等式の解を求め</u>ることができる。</p>	<p>【設問数】4問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	(3) 二次関数	<p>数学 I</p> <p>ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p> <p>イ 二次関数の値の変化</p> <p>(ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p> <p>(イ) 二次方程式・二次不等式 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。</p>

<p>■公式理解(9)～(12) <u>定理・公式を利用して、三角形の辺の長さや面積などを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。 イ 図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。</p>
<p>■公式理解(13)・(14) ・<u>分散を求めることができる。</u> ・<u>図やグラフの表し方が理解できている。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>の分析 (4) データ</p>	<p>数学 I ア データの散らばり 四分位偏差、分散及び標準偏差などの意味について理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し、説明すること。</p>
<p>■公式理解(15)～(18) <u>順列・組合せについて理解し、簡単な場合の数や確率を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A ア 場合の数 (イ) 順列・組合せ 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求めること。 イ 確率 (ア) 確率とその基本的な法則 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求めること。また、確率を事象の考察に活用すること。</p>

<p>■公式理解(19)～(22) <u>最小公倍数や不定方程式の整数解を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 整数の性質</p>	<p>数学 A ア 約数と倍数 素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解し、整数に関連した事象を論理的に考察し表現すること。 イ ユークリッドの互除法 整数の除法の性質に基づいてユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて二つの整数の最大公約数を求めること。また、二元一次不定方程式の解の意味について理解し、簡単な場合についてその整数解を求めること。</p>
<p>■公式利用(1)～(3) ・数の性質や公式を利用して、<u>式の計算</u>ができる。 ・<u>条件を満たす集合を求めたり、命題の真偽を判断したり</u>することができる。</p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I ア 数と集合 (ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p>

<p>■公式利用(4)～(6) <u>文字定数を含む二次関数について、関数を決定することができる。</u></p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
<p>■公式利用(7)～(10) <u>三角形の性質や定理を利用して辺の長さを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>形と計量 (2) 図</p>	<p>数学 I ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>
<p>■公式利用(1)～(3) <u>知識を利用して、やや複雑な事象の場合の数や確率を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A ア 場合の数 (イ) 順列・組合せ 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求めること。 イ 確率 (ア) 確率とその基本的な法則 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求めること。また、確率を事象の考察に活用すること。</p>

<p>■公式利用(4)～(6) <u>整数の性質を利用して、余りや最大公約数などを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 整数の性質</p>	<p>数学A ア 約数と倍数 素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解し、整数に関連した事象を論理的に考察し表現すること。 イ ユークリッドの互除法 整数の除法の性質に基づいてユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて二つの整数の最大公約数を求めること。また、二元一次不定方程式の解の意味について理解し、簡単な場合についてその整数解を求めること。</p>
<p>■公式理解(1)～(3) <u>二次方程式の解と係数の関係や剰余の定理について理解できている。</u></p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) いろいろな式</p>	<p>数学Ⅱ イ 高次方程式 (ア) 複素数と二次方程式 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。また、二次方程式の解の種類の見分け及び解と係数の関係について理解すること。 (イ) 因数定理と高次方程式 因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を因数定理などを用いて求めること。</p>
<p>■公式理解(4)～(6) <u>点と直線の距離を求める公式や領域について理解できている。</u></p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 図形と方程式</p>	<p>数学Ⅱ ア 直線と円 (ア) 点と直線 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。また、座標平面上の直線を方程式で表し、それを二直線の位置関係などの考察に活用すること。 イ 軌跡と領域 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること。また、簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p>

<p>■公式理解(7)～(9) <u>三角関数を含む方程式を解いたり,三角関数を合成したりすることができる。</u></p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>	<p>(4) 三角関数</p>	<p>数学Ⅱ イ 三角関数 (イ) 三角関数の基本的な性質 三角関数について,相互関係などの基本的な性質を理解すること。 ウ 三角関数の加法定理 三角関数の加法定理を理解し,それを用いて2倍角の公式を導くこと。</p>
<p>■公式理解(10)・(11) <u>指数関数や対数関数について,計算方法やグラフを理解できている。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(3) 指数関数・対数関数</p>	<p>数学Ⅱ ア 指数関数 (イ) 指数関数とそのグラフ 指数関数とそのグラフの特徴について理解し,それらを事象の考察に活用すること。 数学Ⅱ イ 対数関数 (ア) 対数 対数の意味とその基本的な性質について理解し,簡単な対数の計算をすること。</p>
<p>■公式理解(12)～(14) <u>導関数や不定積分について理解できている。</u></p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>	<p>(5) 微分・積分の考え</p>	<p>数学Ⅱ ア 微分の考え (イ) 導関数の応用 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ,グラフの概形をかくこと。また,微分の考えを事象の考察に活用すること。 イ 積分の考え (ア) 不定積分と定積分 不定積分及び定積分の意味について理解し,関数の定数倍,和及び差の不定積分や定積分を求めること。</p>

<p>■公式理解(15)～(18) <u>いろいろな数列の和を求め る</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 数列</p>	<p>数学B ア 数列とその和 (ア) 等差数列と等比数列 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項及び和を求め ること。 (イ) いろいろな数列 いろいろな数列の一般項や和について、その求め方を理解し、事象 の考察に活用すること。</p>
<p>■公式理解(19)～(22) <u>ベクトルの内積や位置ベク トルについて理解</u>できている。</p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>(3) ベクトル</p>	<p>数学B ア 平面上のベクトル (ア) ベクトルとその演算 ベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル及びベクトル の成分表示について理解すること。 (イ) ベクトルの内積 ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解し、それらを平 面図形の性質などの考察に活用すること。</p>
<p>■公式利用(1)～(3) <u>三次方程式の解を求め</u>ること ができる。</p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>	<p>ない(1) いろいろ</p>	<p>数学Ⅱ イ 高次方程式 (イ) 因数定理と高次方程式 因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を因数定理などを 用いて求めること。</p>
<p>■公式利用(4)・(5) <u>点の軌跡を求め</u>ることがで きる。</p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>形(2) と方 程 式 図</p>	<p>数学Ⅱ イ 軌跡と領域 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること。また、 簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表 したりすること。</p>

<p>■公式利用(6) <u>三角関数のとり得る値の範囲を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>関数(4) 三角</p>	<p>数学Ⅱ イ 三角関数 (ア) 三角関数とそのグラフ 三角関数とそのグラフの特徴について理解すること。 ウ 三角関数の加法定理 三角関数の加法定理を理解し、それを用いて2倍角の公式を導くこと。</p>
<p>■公式利用(7)・(8) <u>指数関数や対数関数を含む方程式の解を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>対数関数(3) 指数関数</p>	<p>数学Ⅱ ア 指数関数 (イ) 指数関数とそのグラフ 指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。 イ 対数関数 (イ) 対数関数とそのグラフ 対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p>
<p>■公式利用(9)・(10) <u>放物線で囲まれる部分の面積などを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>考分(5) え・積分の微</p>	<p>数学Ⅱ イ 積分の考え (イ) 面積 定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めること。</p>
<p>■公式利用(1)～(3) <u>数列の和の式から一般項や最大値を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 数列</p>	<p>数学B ア 数列とその和 (ア) 等差数列と等比数列 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項及び和を求めること。 (イ) いろいろな数列 いろいろな数列の一般項や和について、その求め方を理解し、事象の考察に活用すること。</p>

<p>■公式利用(4)～(6) ベクトルの性質や条件をもとに、<u>大きさなどを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>	<p>(3) ベクトル</p>	<p>数学B ア 平面上のベクトル (ア) ベクトルとその演算 ベクトルの意味, 相等, 和, 差, 実数倍, 位置ベクトル及びベクトルの成分表示について理解すること。 (イ) ベクトルの内積 ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解し, それらを平面図形の性質などの考察に活用すること。</p>
<p>■数学的表現 日常的な事象において、<u>与えられた状況を読み取り, 適切な関数をつくる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】短答式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学I ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また, 二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>■数学的表現 日常的な事象の文脈における、<u>条件の変化によって, 最大値がどのように変化するかを把握</u>することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学I ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また, 二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について, グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
<p>■数学的表現 日常的な事象において、<u>複数の条件から新たな数式をつくり, 思考プロセスを説明し課題を解決</u>することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】記述式</p>		<p>数学I ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また, 二次関数のグラフの特徴について理解すること。 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について, グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>

			<p>[課題学習]</p> <p>(1), (2), (3)及び(4)の内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどして,生徒の関心や意欲を高める課題を設け,生徒の主体的な学習を促し,数学のよさを認識できるようにする。</p>
--	--	--	---

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θタイプ 1年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 10問 【CEFR】A1程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。
・文レベルで英文内容を理解し、 <u>文法を正しく使用</u> することができる。	【設問数】15問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 15問 【CEFR】A1程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・文レベルの英文を、 <u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u> することができる。	【設問数】5問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 5問 【CEFR】A1程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。
・まとまりのある会話や手紙、物語などの英文を読んで、 <u>その内容、テーマや概要をとら</u> えることができる。	【設問数】15問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 15問 【CEFR】A1程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。 (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた情報を正しく読み取り、英語で描写したり、自分の意見を簡潔に英語で表現したりすることができる。	【設問数】2問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 2問 【CEFR】A1程度	書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。 (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・会話や説明文を聞いて、その 場面や状況、内容を聞き取るこ とができる。	【設問数】 7問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 7問 【CEFR】 A1程度	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) ア 聞くこと (ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、 正しく聞き取ること。 (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取 ること。 (オ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 日常的な話題や社会的な話題で、「やり取り」や「発表」を<u>することができる。</u></p>	<p>【設問数】 4問～7問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4～ 7問(程度) 【CEFR】 A1程度 ※スピーキング試験は実 施せず</p>	<p>話 す こ と</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1)言語活動 イ 話すこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち, 事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて, 問答したり意見を述べ合ったりなどすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θタイプ 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 5問 コミュニケーション英語 I 5問 【CEFR】 A1程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 エ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>文法を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 25問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 5問 コミュニケーション英語 I 20問 【CEFR】 A1~A2程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 文レベルの英文を、<u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u>することができる。</p>	<p>【設問数】5問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 コミュニケーション 英語 I 4問 【CEFR】A1~A2程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ある程度のまとまりのある会話文を読んで、<u>文脈に合わせた会話の内容を推測したり、会話の内容に合わせて文レベルで再構築したり</u>することができる。</p>	<p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 コミュニケーション英語 I 2問 【CEFR】A1~A2 程度</p>	読むこと	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>
	<p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 選択式(文整序) 【出題数の割合】 コミュニケーション英語 I 2問 【CEFR】A1~A2 程度</p>		
<p>・まとまりのある会話や、文章の説明や物語などを読んで、<u>テーマや概要をとらえる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】6問(程度) 【出題形式】 選択式 <u>サンプル問題 1</u> 【出題数の割合】 コミュニケーション英語 I 6問 【CEFR】A1~A2 程度</p>	読むこと	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた情報を正しく読み取り、英語で描写したり、自分の意見を簡潔に英語で表現したりすることができる。</p>	<p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 記述式 サンプル問題2</p> <p>【出題数の割合】 コミュニケーション 英語 I 2問 【CEFR】A1~A2程度</p>	<p>書くこと</p>	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・会話や説明文を聞いて、その <u>場面や状況、内容を聞き取るこ とができる。</u>	【設問数】 7問 (程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング サンプル問題 3 【出題数の割合】 コミュニケーション 英語 I 7問 【CEFR】 A1~A2 程 度	聞 く こ と	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解し たり、概要や要点をとらえたりする。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<p>・ 日常的な話題や社会的な話題で、「やり取り」や「発表」を<u>することができる。</u></p>	<p>【設問数】4問～7問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 3～5問(程度) コミュニケーション英語 I 1問～2問(程度)</p> <p>サンプル問題 4</p> <p>※スピーキング試験は実施せず</p>	<p>話すこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) イ 話すこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち, 事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて, 問答したり意見を述べ合ったりなどすること。</p> <p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。また, 聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θタイプ 2年2回-3年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 文レベルで英文内容を理解し、<u>英語語彙を正しく使用</u>することができる。</p>	<p>【設問数】10問(程度) 【出題形式】 選択式</p> <p>【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ 5問程度 コミュニケーション英語Ⅱ 5問程度 【CEFR】A1~A2程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p> <p>コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。 (2) ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>
<p>・ 文レベルで英文内容を理解し、<u>文法を正しく使用</u>することができる。</p>	<p>【設問数】25問(程度) 【出題形式】 選択式</p> <p>【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ 13問程度 コミュニケーション英語Ⅱ 12問程度 【CEFR】A1~A2程度</p>		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 文レベルの英文を、<u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u>することができる。</p>	<p>【設問数】5問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 コミュニケーション 英語Ⅰ 3問程度 コミュニケーション 英語Ⅱ 2問程度 【CEFR】A1~A2程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p> <p>コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。 (2) ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・まとまりのある文章の説明や物語などを読んで、<u>テーマや概要、展開などをとらえる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】9問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ 5問程度 コミュニケーション英語Ⅱ 4問程度 【CEFR】A1~A2程度</p>	<p>読むこと</p>	<p>コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた情報を正しく読み取り、英語で描写したり、自分の意見を簡潔に英語で表現したりすることができる。</p>	<p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ 1問程度 コミュニケーション英語Ⅱ 1問程度 【CEFR】A1~A2程度</p>	<p>書くこと</p>	<p>コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p> <p>コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・会話や説明文を聞いて、その場面や状況、内容を聞き取ることができる。</p>	<p>【設問数】5～8問(程度)</p> <p>【出題形式】 選択式</p> <p>※リスニング</p> <p>【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ 3～5問程度 コミュニケーション英語Ⅱ 2～3問程度</p> <p>【CEFR】A1～A2程度</p>	<p>聞くこと</p>	<p>コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 日常的话题や社会的な话题で、「やり取り」や「発表」を<u>する</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 4問～7問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 コミュニケーション英語 I 4問～7問 (程度) 【CEFR】 A1～2 程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>	<p>話すこと</p>	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート αタイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：1

出題科目	国語総合																								
出題のポイント	古典の文章（古文）について、描かれている人物、情景、心情及び展開、主題・要旨などを表現に即して読み取ることができる力を測定する。																								
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○	問四		○	問五		○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																							
問一		○																							
問二		○																							
問三		○																							
問四		○																							
問五		○																							
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問五</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二	○			問三	○			問四	○			問五	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																						
問一	○																								
問二	○																								
問三	○																								
問四	○																								
問五	○																								

古文・読解

この問題は、古文読解の方法とその内容把握について、学力を確認します。

大問番号 **5** 次の文章は『御伽物語』の一節である。ある晩、いたずら者の狸は侍の妻を驚かせたところ、思いがけず逆に妻に手を切り落とされてしまった。本文はそれに続く場面である。これを読んで、後の各問い(問一〜五)に答えよ。

次の夜つま戸(注1)をたたくものあり。「たそ」とどがむれば、「いやくる(注2)しからぬ。ゆふべ手を失ひし狸にて候ふ(注3)。はかなくも無用のこといたし、今さら迷惑に候ふ。御腹立ちはさることなれど、ひたすら許し給ひて、その手これへ下され候へかすとわびごと(注4)に参り候ふ」といふ。侍聞きて、「やおれ畜生の分に、女なりとて人をあなどる。いかで手をかへさん。よしまたかへすとも、一度きれはなれし手の、何の役にか立たん。とくかへれ、深きとがになれば、命は助くるぞ」といふ。狸聞いて、「いくへも御わびごと申すべし。また手さへ下され候へば、よき薬もちてつきはべり」

といふ。「さらばその薬をしへたらばとらせん」といふ。「やすきことなり」と。「その草この木などにて、かやうにあはず」と語りて、狸は手もちりてかへれり。その方今にあり。しるしままありてめでたき薬にてはべり。

(注) 1 つま戸——家の端にある、両開きの板戸。

2 くるしからぬ——誰かと聞かれたときの返事。怪しい者ではな

3 やおれ——目下の者に呼びかける語。やい、おのれ。

問一 二重傍線部ア・イの動作主の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

38。

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① | ア | 狸 | イ | 侍 |
| ② | ア | 侍 | イ | 侍 |
| ③ | ア | 狸 | イ | 狸 |
| ④ | ア | 侍 | イ | 狸 |

問二 傍線部 A 「はかなくも無用のこといたし、今さら迷惑に候ふ」とあるが、ここで述べられた狸の心情の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

39。

- ① 悪気なく行っていたはずであつたが、侍の妻にけがを負わせたことはやりすぎであつたと思い、深く反省している。
- ② 軽い気持ちで行っていたはずだったので、まさかやり返されて手を失うとは思つてもおらず、途方に暮れている。
- ③ いたずらをしておきながら今さら謝りに行つても、かえつて侍夫婦に迷惑がられるのではないかと、心配している。
- ④ いたずらに対し、手を切り落とされてもたいしたことではないと思つていたが、今になって不便を感じて困っている。

問三 傍線部B「いかで手をかへさん」とあるが、侍がこのよう

に言った理由は何か。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 40。

- ① 妻へ無礼を働いただけでも腹立たしいのに、謝りもせず手を返せとまで言ってくるのは厚かましいと思つたから。
- ② 狸に手を返してやりたいが切り離された手をつなげてやる方法がわからず、返してもしかたがないと思つたから。
- ③ 狸が妻にいたずらをしかけたことは大変腹立たしく、狸をこらしめるためにもただでは返すまいと思つたから。
- ④ いくら謝つても狸がいたずらしたことは許しがたく、また切り離された手など返しても無駄であろうと思つたから。

問四 傍線部C「語りて」とあるが、狸の語つた内容の説明とし

て最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 41。

- ① 切り離された手をつなぐことのできる薬は、どのような草や木を混ぜて作るのかということ。
- ② 侍に、どのような草や木で薬を作るのか、採ってきて見せてやろうということ。
- ③ 自分は、どのような草や木から作つた薬で、切り離された手をつないだのかということ。
- ④ どのような草や木から薬を作れば、あらゆる傷を自然にふさぐことができるのかということ。

問五 本文の内容に合致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 42。

- ① 侍は、手を取り戻しに来た狸に対し、いたずらの理由を問いただした。
- ② 侍は、狸が手をなくした以上、もういたずらはできないと考え、命は助けることにした。
- ③ 狸は、侍に薬の作り方を教えてあげるかわりに、手を返してもらった。
- ④ 侍は、狸が手をつないだ薬の残りを今も持つており、時々役立てている。

<p>解答例</p>	<p>問一 3 問二 2 問三 4 問四 1 問五 3</p>
<p>(参考)学習指導要領 の関連項目</p>	<p>国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気づき、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート αタイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：2

出題科目	国語総合																		
出題のポイント	複数の文章の内容を読み取り、その内容を比較したうえで、必要な情報を取り出し たり、論拠を示しながら考えを説明したりすることができる力を測定する。																		
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
問一		○																	
問二		○																	
問三		○																	
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			小問番号	選択式	短答式	記述式	問一			○	問二	○			問三			○
小問番号	選択式	短答式	記述式																
問一			○																
問二	○																		
問三			○																

国語の解答時間は20分です。早く終わっても他の教科の解答を
してはいけません。

1

図書委員会では、読書週間を行うための話し合いを行うこ
とになった。次に示すものは、話し合いの前に図書委員に配
られた【読書週間の計画書】の一部と、読書週間で行うイベ
ントについての提案が記された【イベントについて】であ
る。それに続く【話し合い】と合わせて読み、後の各問に
答えよ。

【読書週間の計画書】

読書週間について

四月二十三日配付

内容

- ・ 図書委員長より
- ・ 係の仕事について
- 1 係の仕事
- 2 係の仕事の振り分け
- ・ イベントについて（別紙プリント参照）

図書委員長より

三年二組 高橋 明

五月二十五日より六月一日までの一週間、毎年恒例の読書週
間を今年も行うことになりました。近年、若者の活字離れが進

んでいると指摘されています。しかし、我が校では開校以来、
図書委員会が「読書を通して健全な精神を養う」という目標を
掲げ読書週間を続けてきた結果、昨年度の図書館からの本の貸
出冊数は前年度比で2割増えました。このことは、読書に親し
む生徒が増えていることを示していると言えます。

しかし一方で、図書委員会で実施したアンケートでは、1か
月に1冊も本を読まない生徒がまだまだ多いことがわかりまし
た。そこで、今年は、そういった普段読書をしていない人にどうした
ら本に興味をもってもらえるかということを目玉として開催し
たいと考えています。高校生のうちに読書する習慣を身につける
ことができれば、卒業後の長い人生で読書を通して自分の世界を
広げていくことができるはずです。社会に出てわからないことが
あっても、本を通して学ぶことができます。このことを念頭に置
いて今年の読書週間について話し合いをしましょう。一年生は、
図書委員になってまだ一週間なので慣れないことも多いと思っ
ますが、みんな一丸となって読書週間を成功させましょう。

係の仕事について

読書週間までの準備期間の係は以下のようにする。

1. 係の仕事

- ・ 「図書たより」制作係

読書週間を告知するために、通常の「図書たより」では

なく、「図書たより」の特別号を作成する。開催期間やイベントに関する細かい情報などを載せるだけでなく、読書に関する調査結果や読書週間の目的なども掲載する。

・ポスター制作係

読書週間を告知するためのポスターを作成し、校内に掲示する。開催期間やイベントの内容などを視覚的にわかりやすく作成する。

・イベント準備係

イベントの内容については、全体の話し合いで決定し、その後、具体的な計画を立て、準備を進める。

・通常の図書委員会の仕事の担当

図書室の本の整理や貸出業務など、通常の図書委員会の業務を行う。基本的に一年生が担当するものとする。通常は午前の授業終了後から午後の始業まで二人で行っているが、準備期間は一人で行う。放課後の貸出業務は通常通り二人体制で行うが、通常は一人につき週一回担当のところ、準備期間中は人数が不足するため週三回担当する。

2. 係の仕事の振り分け

イベントの内容について、本日決定した後、係の振り分けを行う。前述の通り、通常業務は一年生が担当するので、一、二年生がそれぞれ希望する係を申し出、振り分け人数より多

い場合は抽選で係を決定する。決定後、係の作業の開始は、読書週間二週間前の五月十一日からとする。

【イベントについて】

●提出された案

案A 本のパンフレットを作成する

図書委員が推薦する本を紹介する文章を一冊のパンフレットにまとめて配り、本に興味をもってもらう。あらすじだけではなく、作者の生い立ちを写真なども使って説明するなど、多面的に本の魅力を伝える。

案B 読書感想文コンテスト

読書感想文を全員に提出してもらう。課題図書を決めると、普段は本を読まない人でも取り組みやすいと思うので、課題図書を事前に決めて発表しておく。課題図書は読書に慣れていない人のため、短めのものにする。

案C 本の紹介コーナーの設置

本のあらすじを紹介するコーナーを図書室に設ける。イラストや参考になる写真なども添えて、内容に興味をもってもらえるような工夫をする。内容を膨らませるため、本を読んだ人が感想を書き込めるスペースも用意する。

問一 【読書週間の計画書】の図書委員長より

の図書館からの本の貸出冊数は前年度比で2割増えました。このことは、読書に親しむ生徒が増えていることを示していると言えます」について、ある委員から次のような指摘を受けた。次の文の空欄に当てはまる内容を二十五字以内で書け。

1

全体での読書冊数が増えていたとしても、ので、読書に親しむ生徒が増えたとは言えないのではないか。

問二 【読書週間の計画書】の係の仕事について

員から問題点の指摘と改善案の提案がなされた。その内容において計画を実行する上で実現が難しいものを、次の1～4のうちから一つ選び、番号で答えよ。

2

- 1 一年生だけで通常業務を行うのはまだ難しいので、上級生が交代で助けるべきではないか。
- 2 昼食をとる時間が確保できないので、昼の通常業務は前半と後半の交代制にすべきではないか。
- 3 係の振り分けでは抽選を行わず、誰もが希望する係の仕事を担当することにすべきではないか。
- 4 作業開始日を一定にせず、先に行うべき作業と後から行う作業で開始日を分けるべきではないか。

問三 「話し合い」の について、ここで鈴木さんは何と述べたと考えられるか。鈴木さんが「よい」と思っ
て選んだ提案を案A～Dの中から一つ選び、次の〈条件〉①～③を満たすように書け。
 3

〈条件〉

- ① 適切な案をA～Dのうちから一つ選ぶこと。
- ② 「イベントについて」と「話し合い」の内容をもとに鈴木さんの発言内容を考えて書くこと。
- ③ 五十字以上、七十字以内で書くこと。

<p>解答例</p>	<p>問一（例）限られた生徒が多くの本を読んでいる可能性がある（23字） 問二 3 問三（選択）C （例）読書が好きな人も本の感想を書き込むことで参加でき、活字が苦手な人にもイラストや写真で視覚的に内容を伝えられ、また、本を選ぶ助けにもなる（67字）</p> <p>【採点のポイント】</p> <p>「読書が好きな人も本の感想を書き込むことで参加できる」／「活字が苦手な人にもイラストや写真で視覚的に内容を伝えられる」／「本を選ぶ助けにもなる」という内容が書けていること。</p>
<p>（参考）学習指導要領の関連項目</p>	<p>国語総合</p> <p>B 書くこと</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を明確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>C 読むこと</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート βタイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：1

出題科目	国語総合																								
出題のポイント	古典の文章（古文）について、描かれている人物、情景、心情および展開、主題・要旨などを表現に即して読み取ることができる力を測定する。																								
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○	問四		○	問五		○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																							
問一		○																							
問二		○																							
問三		○																							
問四		○																							
問五		○																							
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問五</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二	○			問三	○			問四	○			問五	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																						
問一	○																								
問二	○																								
問三	○																								
問四	○																								
問五	○																								

古文・読解

この問題は、古文読解の方法とその内容把握について、学力を確認します。

大問番号 5 次の文章は「世間胸算用」の一節で、年越しのお金を手に入れるために、浪人の夫に持たされた安物の長刀の鞘を質に入れて来た女房と、質屋の主人（亭主）とのやりとりである。これを読んで、後の各問い（問一～五）に答えよ。

「こんなものが何の役に立つべし」と、手にしばしも持たず、なげ戻しければ、浪人の女房、そのまま気色を愛へ、「人の大事の道具を、何とてなげてそこなひけるぞ。質にいやならば、いやですむことなり。そのうへ何の役に立たぬとは、ここが聞き所ぢや。」それはわれらが親、石田治部少輔乱に、ならびなき手からあそばしたる長刀なれども、男子なき故にわたくしに譲り給はり、世に有る時の嫁入りを持たせたるに、役に立たぬものとは先祖の恥。女にこそ生まれたれ、命はをしまぬ。相手は亭主」と取り付きて泣き出せば、あるじ迷惑して、さまざま詫びてもきかず。そ

のうちに近所の者集まりて、「あのつれあひ浪人はねだり者なれば、聞きつけ来ぬうちにこれをあつかへ」と、いづれも亭主にささやき、錢三百と黒米三升にてやうやうにすましける。

- (注) 1 われら——自分のことをへりくだって言うときに用いる自称の代名詞。わたしめ。
 2 石田治部少輔乱——関ヶ原の合戦。「石田治部少輔」は石田三成のこと。
 3 世に有る時——栄えている時。
 4 ねだり者——人をおどして物をとる者。
 5 黒米——玄米。

問一 二重傍線部ア～ウの主語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 38。

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|---|-------|
| ① | ア | 質屋の主人 | イ | 浪人 | ウ | 質屋の主人 |
| ② | ア | 質屋の主人 | イ | 浪人の女房 | ウ | 浪人の女房 |
| ③ | ア | 浪人の女房 | イ | 浪人 | ウ | 浪人の女房 |
| ④ | ア | 浪人の女房 | イ | 浪人の女房 | ウ | 質屋の主人 |

問二 傍線部A「ここが開き所ちや」とは、この場合どういふことを言っているのか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 39。

- ① 質に入れようとした大切な鞆を質屋の主人はよく見たにもかかわらず、何の役にも立たないと言ったその理由を、是非聞かせてほしいということ。
- ② 大切な鞆を質に入れるのをしる自分に、質屋の主人が何の役にも立たないと暴言を吐いたのは、聞いてはられないほど失礼だったということ。
- ③ 質屋の主人には役に立たないように見えたかもしれないが、鞆は大変価値のあるものなので、その価値を教えてやるからよく聞いてほしいということ。
- ④ 質入れしようとした大切な鞆に対し、質屋の主人がただ断るだけでなく何の役にも立たないと言ったことは聞き捨てならず、許し難いということ。

問三 傍線部B「あるじ迷惑して」とあるが、あるじの様子の説

明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

40。

- ① 全く価値のない鞆だと思い質入れを断ったのに、女房は鞆がいかに価値のあるものかということを言いたて、泣き出したため困っている。
- ② 女房の話聞き、自分が鞆の価値を見誤ったために、武家としての誇りを傷つけてしまったと知り、謝罪にいくら払うべきか頭を悩ませている。
- ③ 価値がないと思いい乱暴に扱って壊してしまった鞆だが、実は由緒正しい品であったと知り、女房に申し訳ないことをしてしまったと悔んでいる。
- ④ 鞆には価値がないと判断してそう言ったのに、女房が鞆の価値を一方的に説明しはじめ、自分の目利きの腕を悪く言うので腹を立てている。

問四 傍線部C「いづれも亭主にささやき」とあるが、近所の者

たちが亭主に伝えた内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

41。

- ① 女房の夫は人をおどして物をまきあげるような人間なので、もし夫が騒ぎを聞いてやってきたとしても、金品を与えれば引き下がるはずだということ。
- ② 女房の夫は人をおどして物をまきあげるような人間なので、夫が来て騒ぎを起こす前に、皆で金品を出し合って女房の怒りをしずめたいということ。
- ③ 女房の夫は人をおどして物をまきあげるような人間なので、夫が出てくる前に鞆を質預かりし金品を渡して女房に帰ってもらうのがいいということ。
- ④ 女房の夫は人をおどして物をまきあげるような人間なので、夫が来る前に言葉を尽くして謝り、女房に許してもらえるようにすべきだということ。

問五 本文で描かれた浪人の女房の人物像の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

42。

- ① 武家の女性でありながら、迷惑を承知でねじ込むようにして鞘を質入れしお金を手にしようとするあさましい人物。
- ② お金があることで傲慢にふるまう質屋の主人とは対照的に、貧しい中でも武家の誇りを失わない堂々とした人物。
- ③ 女性でありながら、先祖の名譽のためなら男性相手でもひるまず戦い、ついには人々の心を動かすたくましい人物。
- ④ 武家の誇りを理解しない冷徹な質屋の主人に反発するものの、結局は家の宝を売らざるを得ない貧しく哀れな人物。

<p>解答例</p>	<p>問一 2 問二 4 問三 1 問四 3 問五 1</p>
<p>(参考)学習指導要領 の関連項目</p>	<p>国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気づき、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート βタイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：2

出題科目	国語総合																		
出題のポイント	複数の文章の内容を読み取り、その内容を比較したうえで、必要な情報を取り出し たり、論拠を示しながら考えを説明したりすることができる力を測定する。																		
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
問一		○																	
問二		○																	
問三		○																	
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			小問番号	選択式	短答式	記述式	問一			○	問二	○			問三			○
小問番号	選択式	短答式	記述式																
問一			○																
問二	○																		
問三			○																

国語の解答時間は20分です。早く終わっても他の教科の解答を
してはいけません。

1

図書委員会では、読書週間を行うための話し合いを行うこ
とになった。次に示すものは、話し合いの前に図書委員に配
られた【読書週間の計画書】の一部と、読書週間で行うイベ
ントについての提案が記された【イベントについて】であ
る。それに続く【話し合い】と合わせて読み、後の各問に
答えよ。

【読書週間の計画書】

読書週間について

四月二十三日配付

内容

- ・ 図書委員長より
- ・ 係の仕事について
- 1 係の仕事
- 2 係の仕事の振り分け
- ・ イベントについて（別紙プリント参照）

図書委員長より

三年二組 高橋 明

五月二十五日より六月一日までの一週間、毎年恒例の読書週
間を今年も行うことになりました。近年、若者の活字離れが進

んでいると指摘されています。しかし、我が校では開校以来、
図書委員会が「読書を通して健全な精神を養う」という目標を
掲げ読書週間を続けてきた結果、昨年度の図書館からの本の貸
出冊数は前年度比で2割増えました。このことは、読書に親し
む生徒が増えていることを示していると言えます。

しかし一方で、図書委員会で実施したアンケートでは、1か
月に1冊も本を読まない生徒がまだまだ多いことがわかりまし
た。そこで、今年は、そういった普段読書をしていない人にどうした
ら本に興味をもってもらえるかということを目玉として開催し
たいと考えています。高校生のうちに読書する習慣を身につける
ことができれば、卒業後の長い人生で読書を通して自分の世界を
広げていくことができるはずです。社会に出てわからないことが
あっても、本を通して学ぶことができます。このことを念頭に置
いて今年の読書週間について話し合いをしましょう。一年生は、
図書委員になってまだ一週間なので慣れないことも多いと思っ
ますが、みんな一丸となって読書週間を成功させましょう。

係の仕事について

読書週間までの準備期間の係は以下のようにする。

1. 係の仕事

- ・ 「図書たより」制作係

読書週間を告知するために、通常の「図書たより」では

なく、「図書たより」の特別号を作成する。開催期間やイベントに関する細かい情報などを載せるだけでなく、読書に関する調査結果や読書週間の目的なども掲載する。

・ポスター制作係

読書週間を告知するためのポスターを作成し、校内に掲示する。開催期間やイベントの内容などを視覚的にわかりやすく作成する。

・イベント準備係

イベントの内容については、全体の話し合いで決定し、その後、具体的な計画を立て、準備を進める。

・通常の図書委員会の仕事の担当

図書室の本の整理や貸出業務など、通常の図書委員会の業務を行う。基本的に一年生が担当するものとする。通常は午前の授業終了後から午後の始業まで二人で行っているが、準備期間は一人で行う。放課後の貸出業務は通常通り二人体制で行うが、通常は一人につき週一回担当のところ、準備期間中は人数が不足するため週三回担当する。

2. 係の仕事の振り分け

イベントの内容について、本日決定した後、係の振り分けを行う。前述の通り、通常業務は一年生が担当するので、一、二年生がそれぞれ希望する係を申し出、振り分け人数より多

い場合は抽選で係を決定する。決定後、係の作業の開始は、読書週間二週間前の五月十一日からとする。

【イベントについて】

●提出された案

案A 本のパンフレットを作成する

図書委員が推薦する本を紹介する文章を一冊のパンフレットにまとめて配り、本に興味をもってもらう。あらすじだけではなく、作者の生い立ちを写真なども使って説明するなど、多面的に本の魅力を伝える。

案B 読書感想文コンテスト

読書感想文を全員に提出してもらう。課題図書を決めると、普段は本を読まない人でも取り組みやすいと思うので、課題図書を事前に決めて発表しておく。課題図書は読書に慣れていない人のため、短めのものにする。

案C 本の紹介コーナーの設置

本のあらすじを紹介するコーナーを図書室に設ける。イラストや参考になる写真なども添えて、内容に興味をもってもらえるような工夫をする。内容を膨らませるため、本を読んだ人が感想を書き込めるスペースも用意する。

―案D アニメ・漫画コーナーの設置

人気のあるアニメに関する資料や原作となった漫画などを自由に読めるコーナーを設置する。キャラクターのイラストなども展示して、アニメや漫画が好きな人が図書室に来るきっかけを作り、徐々に読書に興味をもってもらおう。

【話し合い】

司会 続いてイベントについて話し合います。配付した「イベントについて」のプリントの具体的な案について話す前に、どのようなことを目標にしてイベントを行うべきかということについて話し合いたいと思います。何か意見のある人はいませんか。

鈴木 私の周囲の人たちに話を聞くと、どの本を選んだらよいかわからないから本に手を出しにくいという人がいます。おそらく、同じように考えている人も多いのではないのでしょうか。そこで、読書をしない人たちに向けて、読む本を選ぶための助けとなるようなイベントを行うとよいと思います。

司会 普段読書をしない人が本を選ぶ助けになるイベントがよいということですね。ほかに意見がある人はいますか。

高橋 鈴木さんの言うような普段は読書をしない人たちには、読書以前に活字を読むこと自体が苦手だという人も多いように思います。そういう人たちも興味をもてるような方法がある

とよいと思います。

山田 活字を読むのが苦手なら、もっと視覚的に本の内容がわかるようなものにすればよいのではないのでしょうか。

高橋 そうですね。その方向性の活動がよいと思います。

司会 高橋さんと山田さんの意見をまとめると、活字を読むのが苦手な人にも興味をもってもらえるように視覚的に本の内容がわかるようなものにする、ということですね。ほかにはどうですか。

佐藤 やはりなるべく多くの人に参加してもらいたいのです。そのためには、今まで皆さんが話し合っていた読書をしない人たちに向けたものだけではなく、読書が好きだという人も何らかの形で参加できる形式のイベントがよいと思います。

高橋 賛成です。そうすれば読書が好きな人、読書をしない人の両方に参加してもらえますね。

司会 以上でだいたい意見は出尽くしましたね。それでは、「イベントについて」に挙げられているA～Dの提案について、どれがよいでしょうか。意見を出してください。

鈴木 はい。私は案()がよいと思います。なぜなら案()は

の意見すべてを満たしていると思うからです。

(話し合いは続く)

問一 【読書週間の計画書】の図書委員長より

の図書館からの本の貸出冊数は前年度比で2割増えました。このことは、読書に親しむ生徒が増えていることを示していると言えます」について、ある委員から次のような指摘を受けた。次の文の空欄に当てはまる内容を二十五字以内で書け。

1

全体での読書冊数が増えていたとしても、ので、読書に親しむ生徒が増えたとは言えないのではないか。

問二 【読書週間の計画書】の係の仕事について

員から問題点の指摘と改善案の提案がなされた。その内容において計画を実行する上で実現が難しいものを、次の1～4のうちから一つ選び、番号で答えよ。

2

- 1 一年生だけで通常業務を行うのはまだ難しいので、上級生が交代で助けるべきではないか。
- 2 昼食をとる時間が確保できないので、昼の通常業務は前半と後半の交代制にすべきではないか。
- 3 係の振り分けでは抽選を行わず、誰もが希望する係の仕事を担当することにすべきではないか。
- 4 作業開始日を一定にせず、先に行うべき作業と後から行う作業で開始日を分けるべきではないか。

問三 「話し合い」の について、ここで鈴木さんは何と述べたと考えられるか。鈴木さんが「よい」と思っ
て選んだ提案を案A～Dの中から一つ選び、次の〈条件〉①～③を満たすように書け。
 3

〈条件〉

- ① 適切な案をA～Dのうちから一つ選ぶこと。
- ② 「イベントについて」と「話し合い」の内容をもとに鈴木さんの発言内容を考えて書くこと。
- ③ 五十字以上、七十字以内で書くこと。

<p>解答例</p>	<p>問一（例）限られた生徒が多くの本を読んでいる可能性がある（23字） 問二 3 問三（選択）C （例）読書が好きな人も本の感想を書き込むことで参加でき、活字が苦手な人にもイラストや写真で視覚的に内容を伝えられ、また、本を選ぶ助けにもなる（67字） 【採点のポイント】 「読書が好きな人も本の感想を書き込むことで参加できる」／「活字が苦手な人にもイラストや写真で視覚的に内容を伝えられる」／「本を選ぶ助けにもなる」という内容が書けていること。</p>
<p>（参考）学習指導要領の関連項目</p>	<p>国語総合 B 書くこと イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を明確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θタイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：1

出題科目	国語総合																								
出題のポイント	古典の文章（古文）について、描かれている人物、情景、心情及び展開、主題・要旨などを表現に即して読み取ることができるかを測定する。																								
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○	問四		○	問五		○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																							
問一		○																							
問二		○																							
問三		○																							
問四		○																							
問五		○																							
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問五</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二	○			問三	○			問四	○			問五	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																						
問一	○																								
問二	○																								
問三	○																								
問四	○																								
問五	○																								

古文・読解

この問題は、古文読解の方法とその内容把握について、学力を確認します。

大問番号 5 次の文章は、『沙石集』の一節である。京都の吉水にある寺に仕える房官（寺院の事務官）と、御室（仁和寺）に仕える房官は、二人とも顔が猿に似ていると有名であった。これを読んで、後の各問い（問一～五）に答えよ。

ある時、御室より件の房官、吉水の御所へ御使ひに参る。「一件の猿房官参りたり」とて、御所中ささめきけり。「この猿房官、出だし合はせて、あひしらはせよ」とて、御所にも御覧じけり。御所中の上下、かしこここにたたずみ見る程に、吉水の房官歩み向かひて、うち笑みて、「いかが覚ゆる」と問ふに、「鏡を見る心地こそすれ」と答へければ、人々興に入りて愛し感じけり。時に取りてゆゆしく聞こえけり。

世間の人の、失を忘れて人の失をのみ見て、人を鏡として我が身を照らす事なきこそ感かなれ。人をそしりては我が身の失を省みる、これ人を鏡とする心なり。人の感かにつたなきを見ては、

我をもまた人のかくのごとく見ん事を思へ。この人則ち我が鏡なり。猿房官がごとし。

- (注) 1 御所——寺のこと。また、その寺の主人である高僧のこと。
- 2 あひしらはせよ——応対させよ。
- 3 失——欠点。

問一 二重傍線部ア・イの動作主の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

37

- ① ア 御室の房官 イ 御所の人々
- ② ア 御室の房官 イ 御室の房官
- ③ ア 吉水の房官 イ 御所の人々
- ④ ア 吉水の房官 イ 御室の房官

問二 傍線部 A「この猿房官、出だし合はせて、あひしらはせよ」とあるが、この時の御所の人々の心情の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

38

- ① うわさの猿に似た房官がやってきたので、こちらも房官の中から誰か猿に似た者を選んで会わせようという気持ち。
- ② うわさの猿に似た房官がやってきたので、こちらも猿房官を出し、相手の反応を見てみたいという気持ち。
- ③ うわさの猿に似た房官がやってきたので、こちらの猿房官とどちらが優れた人物か比べたいという気持ち。
- ④ うわさの猿に似た房官がやってきたので、こちらの猿房官の方がより猿に似ていると自慢したいという気持ち。

問三 傍線部B「時に取りやめてゆゆしく聞こえけり」の説明として

最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答

番号は 39。

- ① 吉水の房官の問いかけに対する御室の房官の返答はあまりにもその場にびったりで、周囲の者たちが思わず感嘆するよ
うなものだったということ。
- ② 御室の房官と吉水の房官のやりとりを周囲の者たちは面白
がっていたが、吉水の主人である高僧だけはひどいことをし
てしまったと悔いていたということ。
- ③ 御室の房官と吉水の房官の顔がそっくりだったことによっ
て、周囲の者たちは大事な教訓を思い起こすことができ、厳
粛な気持ちになったということ。
- ④ 御室の房官と吉水の房官が交わした会話は、周囲で見えてい
た者たちが面白がって話を広めたため、当時の人々の間で大
きな評判を呼んだということ。

問四 傍線部C「この人則ち我が鏡なり」とあるが、人を鏡とし

てどうするべきだと言っているのか。その説明として最も適
当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

40。

- ① 自分の欠点を棚に上げて他人の欠点ばかり見るのは大変愚
かなことで、他人を鏡として、そのよい行いの方を真似して
いくべきだということ。
- ② 人の批判ばかりしていると、相手も鏡のように自分に対し
て批判しなくなりつつあるが、その批判にも素直に耳を傾
けるべきだということ。
- ③ 他人の愚かな行いを批判してしまったときは、自分の顔を
鏡に映して見るようにし、人の批判ばかりする自分の欠点に
気付くべきだということ。
- ④ 他人の欠点や愚かさを見たとき、それは自分を映した鏡だ
と考え、相手も同様に自分の欠点や愚かさを見ているのだと
考えるべきだということ。

問五 本文の内容に合致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 41。

- ① 吉水の房官は、御所の人々が自分たちの対面に期待していることを理解し、その期待に沿うようなふるまいをした。
- ② 御室から来た房官は、吉水の房官に会うのが久しぶりであったため、再会の喜びを込めて冗談めかした挨拶をした。
- ③ 御室から来た房官は、吉水の房官に対し初めは愛想のない態度であったが、顔が似ていることですぐに打ち解けた。
- ④ 吉水の房官は、自分によく似た御室の房官の行いを自らの鏡とし、自分のよくない行いを反省することができた。

解答例	問一 2 問二 2 問三 1 問四 4 問五 1
(参考)学習 指導要領の 関連項目	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θタイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：2

出題科目	国語総合																		
出題のポイント	複数の文章の内容を読み取り、その内容を比較したうえで、必要な情報を取り出し たり、論拠を示しながら考えを説明したりすることができる力を測定する。																		
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
問一		○																	
問二		○																	
問三		○																	
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			小問番号	選択式	短答式	記述式	問一			○	問二	○			問三			○
小問番号	選択式	短答式	記述式																
問一			○																
問二	○																		
問三			○																

国語の解答時間は20分です。早く終わっても他の教科の解答を
してはいけません。

1

図書委員会では、読書週間を行うための話し合いを行うこ
とになった。次に示すものは、話し合いの前に図書委員に配
られた【読書週間の計画書】の一部と、読書週間で行うイベ
ントについての提案が記された【イベントについて】であ
る。それに続く【話し合い】と合わせて読み、後の各問に
答えよ。

【読書週間の計画書】

読書週間について

四月二十三日配付

内容

- ・ 図書委員長より
- ・ 係の仕事について
- 1 係の仕事
- 2 係の仕事の振り分け
- ・ イベントについて（別紙プリント参照）

図書委員長より

三年二組 高橋 明

五月二十五日より六月一日までの一週間、毎年恒例の読書週
間を今年も行うことになりました。近年、若者の活字離れが進

んでいると指摘されています。しかし、我が校では開校以来、
図書委員会が「読書を通して健全な精神を養う」という目標を
掲げ読書週間を続けてきた結果、昨年度の図書館からの本の貸
出冊数は前年度比で2割増えました。このことは、読書に親し
む生徒が増えていることを示していると言えます。

しかし一方で、図書委員会で実施したアンケートでは、1か
月に1冊も本を読まない生徒がまだまだ多いことがわかりまし
た。そこで、今年は、そういった普段読書をしていない人にどうした
ら本に興味をもってもらえるかということを目玉として開催し
たいと考えています。高校生のうちに読書する習慣を身につける
ことができれば、卒業後の長い人生で読書を通して自分の世界を
広げていくことができるはずです。社会に出てわからないことが
あっても、本を通して学ぶことができます。このことを念頭に置
いて今年の読書週間について話し合いをしましょう。一年生は、
図書委員になってまだ一週間なので慣れないことも多いと思っ
ますが、みんな一丸となって読書週間を成功させましょう。

係の仕事について

読書週間までの準備期間の係は以下のようにする。

1. 係の仕事

- ・ 「図書たより」制作係

読書週間を告知するために、通常の「図書たより」では

なく、「図書たより」の特別号を作成する。開催期間やイベントに関する細かい情報などを載せるだけでなく、読書に関する調査結果や読書週間の目的なども掲載する。

・ポスター制作係

読書週間を告知するためのポスターを作成し、校内に掲示する。開催期間やイベントの内容などを視覚的にわかりやすく作成する。

・イベント準備係

イベントの内容については、全体の話し合いで決定し、その後、具体的な計画を立て、準備を進める。

・通常の図書委員会の仕事の担当

図書室の本の整理や貸出業務など、通常の図書委員会の業務を行う。基本的に一年生が担当するものとする。通常は午前の授業終了後から午後の始業まで二人で行っているが、準備期間は一人で行う。放課後の貸出業務は通常通り二人体制で行うが、通常は一人につき週一回担当のところ、準備期間中は人数が不足するため週三回担当する。

2. 係の仕事の振り分け

イベントの内容について、本日決定した後、係の振り分けを行う。前述の通り、通常業務は一年生が担当するので、一、二年生がそれぞれ希望する係を申し出、振り分け人数より多

い場合は抽選で係を決定する。決定後、係の作業の開始は、読書週間二週間前の五月十一日からとする。

【イベントについて】

●提出された案

案A 本のパンフレットを作成する

図書委員が推薦する本を紹介する文章を一冊のパンフレットにまとめて配り、本に興味をもってもらう。あらすじだけではなく、作者の生い立ちを写真なども使って説明するなど、多面的に本の魅力を伝える。

案B 読書感想文コンテスト

読書感想文を全員に提出してもらおう。課題図書を決めると、普段は本を読まない人でも取り組みやすいと思うので、課題図書を事前に決めて発表しておく。課題図書は読書に慣れていない人のため、短めのものにする。

案C 本の紹介コーナーの設置

本のあらすじを紹介するコーナーを図書室に設ける。イラストや参考になる写真なども添えて、内容に興味をもってもらえるような工夫をする。内容を膨らませるため、本を読んだ人が感想を書き込めるスペースも用意する。

問一 【読書週間の計画書】の図書委員長より

の図書館からの本の貸出冊数は前年度比で2割増えました。このことは、読書に親しむ生徒が増えていることを示していると言えます」について、ある委員から次のような指摘を受けた。次の文の空欄に当てはまる内容を二十五字以内で書け。

1

全体での読書冊数が増えていたとしても、ので、読書に親しむ生徒が増えたとは言えないのではないか。

問二 【読書週間の計画書】の係の仕事について

員から問題点の指摘と改善案の提案がなされた。その内容において計画を実行する上で実現が難しいものを、次の1～4のうちから一つ選び、番号で答えよ。

2

- 1 一年生だけで通常業務を行うのはまだ難しいので、上級生が交代で助けるべきではないか。
- 2 昼食をとる時間が確保できないので、昼の通常業務は前半と後半の交代制にすべきではないか。
- 3 係の振り分けでは抽選を行わず、誰もが希望する係の仕事を担当することにすべきではないか。
- 4 作業開始日を一定にせず、先に行うべき作業と後から行う作業で開始日を分けるべきではないか。

問三 「話し合い」の について、ここで鈴木さんは何と述べたと考えられるか。鈴木さんが「よい」と思っ
て選んだ提案を案A～Dの中から一つ選び、次の〈条件〉①～③を満たすように書け。
 3

〈条件〉

- ① 適切な案をA～Dのうちから一つ選ぶこと。
- ② 「イベントについて」と「話し合い」の内容をもとに鈴木さんの発言内容を考えて書くこと。
- ③ 五十字以上、七十字以内で書くこと。

<p>解答例</p>	<p>問一（例）限られた生徒が多くの本を読んでいる可能性がある（23字） 問二 3 問三（選択）C （例）読書が好きな人も本の感想を書き込むことで参加でき、活字が苦手な人にもイラストや写真で視覚的に内容を伝えられ、また、本を選ぶ助けにもなる（67字） 【採点のポイント】 「読書が好きな人も本の感想を書き込むことで参加できる」／「活字が苦手な人にもイラストや写真で視覚的に内容を伝えられる」／「本を選ぶ助けにもなる」という内容が書けていること。</p>
<p>（参考）学習指導要領の関連項目</p>	<p>国語総合 B 書くこと イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を明確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート αタイプ 1年2回-2年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	数学 I																				
出題のポイント	定理・公式や数学的性質などの知識・技能の理解を測定する。																				
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>	番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)	○		(2)	○		(3)	○		(4)	○						
番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																			
(1)	○																				
(2)	○																				
(3)	○																				
(4)	○																				
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○			(3)	○			(4)	○		
番号	選択式	短答式	記述式																		
(1)	○																				
(2)	○																				
(3)	○																				
(4)	○																				
サンプル問題	<p>(1) $x^2 + 16x + 64 - 49y^2 = (x + \boxed{\text{ア}}y + \boxed{\text{イ}})(x - \boxed{\text{ウ}}y + \boxed{\text{エ}})$ である。</p> <p>(2) $x = \sqrt{3} + 2\sqrt{2}$, $y = \sqrt{3} - 2\sqrt{2}$ のとき, $x^2 - xy + y^2 = \boxed{\text{オカ}}$ である。</p> <p>(3) $(\sqrt{6} + \sqrt{3} + 2)(\sqrt{6} - \sqrt{3} + 2) = \boxed{\text{キ}} + \boxed{\text{ク}}\sqrt{\boxed{\text{ケ}}}$ である。</p> <p>(4) ある整数 x を 3 倍した数に, x から 5 を引いて 8 倍した数を加えた数が, 0 以上 50 以下であるような整数 x は全部で $\boxed{\text{コ}}$ 個ある。</p>																				

<p>解答例</p>	<p>(1) 因数分解 (数と式)</p> $x^2 + 16x + 64 - 49y^2$ $= (x+8)^2 - (7y)^2$ $= (x+8+7y)(x+8-7y)$ $= (x+7y+8)(x-7y+8)$ <p>(2) 対称式の計算 (数と式)</p> $x+y = (\sqrt{3} + 2\sqrt{2}) + (\sqrt{3} - 2\sqrt{2})$ $= 2\sqrt{3}$ $xy = (\sqrt{3} + 2\sqrt{2})(\sqrt{3} - 2\sqrt{2})$ $= (\sqrt{3})^2 - (2\sqrt{2})^2$ $= 3 - 8$ $= -5$ <p>よって</p> $x^2 - xy + y^2 = (x+y)^2 - 3xy$ $= (2\sqrt{3})^2 - 3 \cdot (-5)$ <p>(3) 無理数の計算 (数と式)</p> $(\sqrt{6} + \sqrt{3} + 2)(\sqrt{6} - \sqrt{3} + 2)$ $= \{(\sqrt{6} + 2) + \sqrt{3}\} \{(\sqrt{6} + 2) - \sqrt{3}\}$ $= (\sqrt{6} + 2)^2 - (\sqrt{3})^2$ $= (\sqrt{6})^2 + 2 \cdot \sqrt{6} \cdot 2 + 2^2 - 3$ $= 7 + 4\sqrt{6}$ <p>(4) 1次不等式 (数と式)</p> $0 \leq 3x + 8(x-5) \leq 50$ $0 \leq 11x - 40 \leq 50$ $40 \leq 11x \leq 90$ $\frac{40}{11} \leq x \leq \frac{90}{11}$ <p>ここで, $\frac{40}{11} = 3.63\dots$, $\frac{90}{11} = 8.18\dots$ であるから, これを満たす整数 x は, 4, 5, 6, 7, 8 の全部で5個ある。</p>	<p>◀ $x+8 = A$, $7y = B$ とおくと, $A^2 - B^2$ の形になっている。</p> <p>◀ $x^2 - xy + y^2$ を和 $x+y$ と積 xy だけで表す。</p> <p>◀ $A = \sqrt{6} + 2$, $B = \sqrt{3}$ とおくと, $(A+B)(A-B)$ の形になっている。</p> <p>◀ $A \leq B$ ならば $A+C \leq B+C$ であるから, $0+40 \leq 11x-40+40 \leq 50+40$</p>
<p>(参考) 学習指導要領の関連項目</p>	<p>数学 I</p> <p>ア 数と集合</p> <p>(ア) 実数</p> <p>数を実数まで拡張する意義を理解し, 簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>イ 式</p> <p>(ア) 式の展開と因数分解</p> <p>二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め, 式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p>	

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート αタイプ 1年2回-2年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:2

出題科目	数学 I																				
出題のポイント	日常的な事象において、複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決する力を測定する。																				
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問2</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問3</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問1		○	問2		○	問3		○						
番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																			
問1		○																			
問2		○																			
問3		○																			
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問2</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問3</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			番号	選択式	短答式	記述式	問1		○		問2	○			問3			○		
番号	選択式	短答式	記述式																		
問1		○																			
問2	○																				
問3			○																		
サンプル問題	<p>恭平さんが住んでいる地域では、毎年10月に釣り大会が開催され、記念のキャップが販売されている。キャップ販売の担当として、恭平さんはボランティアとして参加することにした。販売担当の係の中で過去の販売価格とキャップの販売数のデータをもとに価格設定を話し合うことになった。</p>  <table border="1"><thead><tr><th></th><th>販売価格(円)</th><th>販売数(個)</th></tr></thead><tbody><tr><td>5年前</td><td>1000</td><td>158</td></tr><tr><td>4年前</td><td>1300</td><td>134</td></tr><tr><td>3年前</td><td>1500</td><td>120</td></tr><tr><td>2年前</td><td>1100</td><td>151</td></tr><tr><td>昨年</td><td>1000</td><td>161</td></tr></tbody></table> <p>恭平さんは、この表を見て『1000円では160個売れ、販売価格を100円上げると、販売数が8個ずつ減るのではないかと考え、キャップの販売価格をx(円)、キャップの販売数をy(個)として販売数を</p> $y = -\frac{2}{25}x + 240$ <p>と表し、yはxの1次関数になると仮定して、販売価格を検討していくことになった。</p> <p>問1 売上総額をz(円)とすると、zをxの式で表せ。</p>				販売価格(円)	販売数(個)	5年前	1000	158	4年前	1300	134	3年前	1500	120	2年前	1100	151	昨年	1000	161
	販売価格(円)	販売数(個)																			
5年前	1000	158																			
4年前	1300	134																			
3年前	1500	120																			
2年前	1100	151																			
昨年	1000	161																			

問2

話し合いの中で、5年前より以前に1000円で販売した際には140個しか売れなかったことがわかり

「1000円では140個売れ、販売価格を100円上げると、販売数が8個ずつ減る」という考えで、販売数を仮定して検討した方がよいのではないかという意見が出た。

恭平さんの仮定と同様に、販売数は販売価格の1次関数になると仮定すると

$$y = -\frac{2}{25}x + 220$$

と表すことができる。この新しい仮定では、恭平さんの仮定と比べると、売上総額が最大になるキャップの販売価格と、そのときの売上総額はどのように変化するか。次の1～7のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 売上総額が最大になる販売価格は上がり、売上総額は増える。
- 2 売上総額が最大になる販売価格は上がり、売上総額は減る。
- 3 売上総額が最大になる販売価格は上がり、売上総額は変わらない。
- 4 売上総額が最大になる販売価格は下がり、売上総額は増える。
- 5 売上総額が最大になる販売価格は下がり、売上総額は減る。
- 6 売上総額が最大になる販売価格は下がり、売上総額は変わらない。
- 7 売上総額が最大になる販売価格は変わらず、売上総額も変わらない。

問3

恭平さんの仮定のもとで販売したときの利益を考えていくことにした。キャップを制作する費用については下記の表のとおり、「デザイン料」と「キャップ本体＋プリント代」の2つがあるものとし、売上総額からかかった費用を引いたものを利益とする。

デザイン料	1200円
キャップ本体＋プリント代	1個につき900円

すべてを売り切るつもりでキャップを制作する。キャップの販売価格を x (円)、利益を p (円)とすると、 p を x の式で表し、利益が最大となるキャップの販売価格を求めよ。その理由も説明せよ。

解答例

問1

キャップの売上総額は、キャップの販売価格と販売数の積であるから $z = xy = x\left(-\frac{2}{25}x + 240\right)$

問2

假定④での売上総額が最大になる x の値を考える。問1より

$$z = x\left(-\frac{2}{25}x + 240\right) \dots \textcircled{1}$$

この2次関数①が最大となるような x の値を求めればよい。 $z = 0$ のときの x の値は、 $x = 0, 3000$ より、2次関数①のグラフの軸は直線 $x = 1500$ となる。よって、 $0 < x < 3000$ より $x = 1500$ のとき z は最大となる。そのときの z の値は

$$z = 1500\left(-\frac{2}{25} \times 1500 + 240\right) = 1500 \times 120 = 180000$$

となる。

次に

「1000円では140個売れ、販売価格を100円上げると、販売数が8個ずつ減る」…⑤

この假定⑤についての売上総額が最大になる x の値を假定④と同様に考える。假定⑤における売上総額を z' (円) とすると

$$z' = x\left(-\frac{2}{25}x + 220\right) \dots \textcircled{2}$$

となり、この2次関数②が最大となるような x の値を考える。まず、 $x > 0$ 、 $-\frac{2}{25}x + 220 > 0$ より、

$$0 < x < 2750$$

$z' = 0$ のときの x の値は、 $x = 0, 2750$ より、2次関数②のグラフの軸は直線 $x = 1375$ となる。よって、 $0 < x < 2750$ より $x = 1375$ のとき z' は最大となる。そのときの z' の値は

$$z' = 1375\left(-\frac{2}{25} \times 1375 + 220\right) = 1375 \times 110 = 151250$$

となる。

これより、假定⑤の場合を、假定④の場合と比較すると

「売上総額が最大になる販売価格は下がり、売上総額は減る。」

となり答えは5である。

$$\blacktriangleleft (\text{売上総額}) = (\text{販売価格}) \times (\text{販売数})$$

$$\blacktriangleleft x\left(-\frac{2}{25}x + 240\right) = 0 \quad (0 < x < 3000)$$

を解いた値。

※式を展開し、平方完成して、グラフの頂点の座標を求めてもよいが、実際の場面では、数値が大きくなるので、計算が煩雑になる。グラフの性質などを利用して、計算の工夫を行いたい。

◀①では(假定④) $x = 1500$ のとき最大値は180000

②では(假定⑤) $x = 1375$ のとき最大値は151250となる。

【別解】

売上総額は(販売価格)×(販売数)で表すことができるので

$$z = x(ax+b)$$

として表すと

$$z = ax^2 + bx = a\left(x^2 + \frac{b}{a}x\right) = a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2}{4a}$$

となり、仮定④、⑤ともに $a < 0$ であるから、売上総額が最大となる x の値を s 、そのときの売上総額を t とすると
 $s = -\frac{b}{2a}$, $t = -\frac{b^2}{4a}$ である。

次に、仮定④、⑤の場合の a と b の値をそれぞれ比較すると、 a については

$$(\text{仮定④}) = (\text{仮定⑤})$$

となり、 b については

$$(\text{仮定④}) > (\text{仮定⑤})$$

となる。以上より

$$s : (\text{仮定④}) > (\text{仮定⑤})$$

$$t : (\text{仮定④}) > (\text{仮定⑤})$$

となる。よって、

「売上総額が最大になる販売価格は下がり、売上総額は減る。」

となり答えは **5** である。

問3

条件より

$$\begin{aligned} p &= xy - 900y - 1200 \\ &= (x-900)y - 1200 \\ &= (x-900)\left(-\frac{2}{25}x + 240\right) - 1200 \quad \dots \text{③} \end{aligned}$$

と表されるので、 p は x の2次関数である。ここで、2次関数のグラフの対称性を利用すると、2次関数③のグラフの軸は直線

$$x = \frac{900+3000}{2} = 1950$$

となる。よって、 $0 < x < 3000$ より $x = 1950$ のとき p は最大となる。よって利益が最大となるキャップの販売価格は1950円である。 p の最大値は

$$\begin{aligned} p &= 1050\left(-\frac{2}{25} \times 1950 + 240\right) - 1200 = 1050 \times 84 - 1200 \\ &= 87000 \end{aligned}$$

となる。

◀ y (販売数) を $y = ax+b$ として考えている。

◀ 仮定④では

$$a = -\frac{2}{25}, b = 240$$

仮定⑤では

$$a = -\frac{2}{25}, b = 220$$

である。

◀ 仮定④、⑤のときの b の値をそれぞれ b' と b'' とすると、 $a < 0$ より

$$-\frac{b'}{2a} > -\frac{b''}{2a}$$

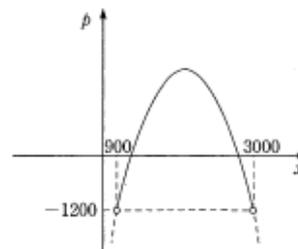
$$-\frac{b'^2}{4a} > -\frac{b''^2}{4a}$$

となる。

◀ y は販売数なので、1個ごとにかかる費用は $900y$ と表すことができる。

◀ 2次関数③は $x = 900$ 、または $x = 3000$ のときに $p = -1200$ となる。

x^2 の係数が負なので、グラフの概形は下のようになる。



2次関数のグラフの対称性からこのグラフの軸は、900と3000の中央にあることがわかる。

(参考) 学習指導要領の関連項目

数学 I

ア 二次関数とそのグラフ

事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。

イ 二次関数の値の変化

(ア) 二次関数の最大・最小

二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。

〔課題学習〕

(1), (2), (3)及び(4)の内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどして、生徒の関心や意欲を高める課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識できるようにする。

サンプル問題について

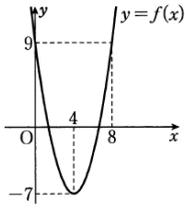
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート βタイプ 1年2回-2年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	数学 I			
出題のポイント	定義域が変化するときの 2 次関数の最大値や最小値について、定義域に注意しながら考察することができるかを測定する。			
主として問う能力	番号 (3)	知識・技能	思考力・判断力・表現力等 ○	
出題形式	番号 (3)	選択式 ○	短答式	記述式
サンプル問題	<p>2 次関数 $f(x) = x^2 - 8x + 2a^2 - 5a + 11$ (a は定数) がある。</p> <p>(3) $a = \boxed{\text{テ}}$ とする。 $0 \leq x \leq k$ (k は正の定数) における関数 $f(x)$ の最大値を M、最小値を m とする。</p> <p>(i) $M = f(0)$ となるような k の値の範囲は、 $0 < k \leq \boxed{\text{ト}}$ である。</p> <p>(ii) $M + 2m = 4$ を満たす k の値は、 $\boxed{\text{ナ}} - \boxed{\text{ニ}} \sqrt{\boxed{\text{ヌ}}}$ または $\boxed{\text{ノ}}$ $\boxed{\text{ネ}}$ である。</p>			
解答例	<p>(3) $a = 2$ とすると、 $f(x) = x^2 - 8x + 9$ $= (x - 4)^2 - 7$ となるから、 $y = f(x)$ のグラフは右の図のようになる。</p>  <p>(i) $f(0) = f(8) = 9$ であるから、 $M = f(0)$ となるような k の値の範囲は、 $0 < k \leq 8$ である。</p> <p>(ii) $0 < k < 4$ のとき、 $M = f(0) = 9$ $m = f(k) = k^2 - 8k + 9$ となるから、 $M + 2m = 4$ のとき、 $9 + 2(k^2 - 8k + 9) = 4$ $2k^2 - 16k + 23 = 0$ ゆえに、 $k = \frac{-(-8) \pm \sqrt{(-8)^2 - 2 \cdot 23}}{2} = \frac{8 \pm 3\sqrt{2}}{2}$ $0 < k < 4$ より、 $k = \frac{8 - 3\sqrt{2}}{2}$</p> <p>◀ $y = f(x)$ のグラフは、頂点が点 $(4, -7)$ で下に凸の放物線である。</p> <p>◀ $ax^2 + 2bx + c = 0$ ($a \neq 0$) の解は、 $x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - ac}}{a}$</p>			

<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>(3) 二次関数</p> <p>ア二次関数とそのグラフ</p> <p>事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p> <p>イ二次関数の値の変化</p> <p>(ア) 二次関数の最大・最小</p> <p>二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
---------------------------------------	---

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:2

出題科目	数学 I																				
出題のポイント	日常的な事象において、複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決する力を測定する。																				
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問2</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問3</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問1		○	問2		○	問3		○						
番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																			
問1		○																			
問2		○																			
問3		○																			
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問2</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問3</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			番号	選択式	短答式	記述式	問1		○		問2	○			問3			○		
番号	選択式	短答式	記述式																		
問1		○																			
問2	○																				
問3			○																		
サンプル問題	<p>恭平さんが住んでいる地域では、毎年10月に釣り大会が開催され、記念のキャップが販売されている。キャップ販売の担当として、恭平さんはボランティアとして参加することにした。販売担当の係の中で過去の販売価格とキャップの販売数のデータをもとに価格設定を話し合うことになった。</p>  <table border="1"><thead><tr><th></th><th>販売価格(円)</th><th>販売数(個)</th></tr></thead><tbody><tr><td>5年前</td><td>1000</td><td>158</td></tr><tr><td>4年前</td><td>1300</td><td>134</td></tr><tr><td>3年前</td><td>1500</td><td>120</td></tr><tr><td>2年前</td><td>1100</td><td>151</td></tr><tr><td>昨年</td><td>1000</td><td>161</td></tr></tbody></table> <p>恭平さんは、この表を見て『1000円では160個売れ、販売価格を100円上げるごとに、販売数が8個ずつ減るのではないか』と考え、キャップの販売価格をx(円)、キャップの販売数をy(個)として販売数を</p> $y = -\frac{2}{25}x + 240$ <p>と表し、yはxの1次関数になると仮定して、販売価格を検討していくことになった。</p> <p>問1</p> <p>売上総額をz(円)とすると、zをxの式で表せ。</p>				販売価格(円)	販売数(個)	5年前	1000	158	4年前	1300	134	3年前	1500	120	2年前	1100	151	昨年	1000	161
	販売価格(円)	販売数(個)																			
5年前	1000	158																			
4年前	1300	134																			
3年前	1500	120																			
2年前	1100	151																			
昨年	1000	161																			

問2

話し合いの中で、5年前より以前に1000円で販売した際には140個しか売れなかったことがわかり

「1000円では140個売れ、販売価格を100円上げると、販売数が8個ずつ減る」という考えで、販売数を仮定して検討した方がよいのではないかという意見が出た。

恭平さんの仮定と同様に、販売数は販売価格の1次関数になると仮定すると

$$y = -\frac{2}{25}x + 220$$

と表すことができる。この新しい仮定では、恭平さんの仮定と比べると、売上総額が最大になるキャップの販売価格と、そのときの売上総額はどのように変化するか。次の1～7のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 売上総額が最大になる販売価格は上がり、売上総額は増える。
- 2 売上総額が最大になる販売価格は上がり、売上総額は減る。
- 3 売上総額が最大になる販売価格は上がり、売上総額は変わらない。
- 4 売上総額が最大になる販売価格は下がり、売上総額は増える。
- 5 売上総額が最大になる販売価格は下がり、売上総額は減る。
- 6 売上総額が最大になる販売価格は下がり、売上総額は変わらない。
- 7 売上総額が最大になる販売価格は変わらず、売上総額も変わらない。

問3

恭平さんの仮定のもとで販売したときの利益を考えていくことにした。キャップを制作する費用については下記の表のとおり、「デザイン料」と「キャップ本体＋プリント代」の2つがあるものとし、売上総額からかかった費用を引いたものを利益とする。

デザイン料	1200円
キャップ本体＋プリント代	1個につき900円

すべてを売り切るつもりでキャップを制作する。キャップの販売価格を x (円)、利益を p (円)とすると、 p を x の式で表し、利益が最大となるキャップの販売価格を求めよ。その理由も説明せよ。

解答例

問1

キャップの売上総額は、キャップの販売価格と販売数の積であるから $z = xy = x\left(-\frac{2}{25}x + 240\right)$

問2

仮定④での売上総額が最大になる x の値を考える。問1より

$$z = x\left(-\frac{2}{25}x + 240\right) \dots \textcircled{1}$$

この2次関数①が最大となるような x の値を求めればよい。 $z = 0$ のときの x の値は、 $x = 0, 3000$ より、2次関数①のグラフの軸は直線 $x = 1500$ となる。よって、 $0 < x < 3000$ より $x = 1500$ のとき z は最大となる。そのときの z の値は

$$z = 1500\left(-\frac{2}{25} \times 1500 + 240\right) = 1500 \times 120 = 180000$$

となる。

次に

「1000円では140個売れ、販売価格を100円上げると、販売数が8個ずつ減る」…⑤

この仮定⑤についての売上総額が最大になる x の値を仮定④と同様に考える。仮定⑤における売上総額を z' (円) とすると

$$z' = x\left(-\frac{2}{25}x + 220\right) \dots \textcircled{2}$$

となり、この2次関数②が最大となるような x の値を考える。まず、 $x > 0, -\frac{2}{25}x + 220 > 0$ より、

$$0 < x < 2750$$

$z' = 0$ のときの x の値は、 $x = 0, 2750$ より、2次関数②のグラフの軸は直線 $x = 1375$ となる。よって、 $0 < x < 2750$ より $x = 1375$ のとき z' は最大となる。そのときの z' の値は

$$z' = 1375\left(-\frac{2}{25} \times 1375 + 220\right) = 1375 \times 110 = 151250$$

となる。

これより、仮定⑤の場合を、仮定④の場合と比較すると

「売上総額が最大になる販売価格は下がり、売上総額は減る。」

となり答えは**5**である。

$$\blacktriangleleft (\text{売上総額}) = (\text{販売価格}) \times (\text{販売数})$$

$$\blacktriangleleft x\left(-\frac{2}{25}x + 240\right) = 0 \quad (0 < x < 3000)$$

を解いた値。
※式を展開し、平方完成して、グラフの頂点の座標を求めてもよいが、実際の場面では、数値が大きくなるので、計算が煩雑になる。グラフの性質などを利用して、計算の工夫を行いたい。

◀①では(仮定④) $x = 1500$ のとき最大値は180000

②では(仮定⑤) $x = 1375$ のとき最大値は151250となる。

【別解】

売上総額は(販売価格)×(販売数)で表すことができるので

$$z = x(ax+b)$$

として表すと

$$z = ax^2 + bx = a\left(x^2 + \frac{b}{a}x\right) = a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2}{4a}$$

となり、仮定④、⑤ともに $a < 0$ であるから、売上総額が最大となる x の値を s 、そのときの売上総額を t とすると $s = -\frac{b}{2a}$ 、 $t = -\frac{b^2}{4a}$ である。

次に、仮定④、⑤の場合の a と b の値をそれぞれ比較すると、 a については

$$(\text{仮定④}) = (\text{仮定⑤})$$

となり、 b については

$$(\text{仮定④}) > (\text{仮定⑤})$$

となる。以上より

$$s : (\text{仮定④}) > (\text{仮定⑤})$$

$$t : (\text{仮定④}) > (\text{仮定⑤})$$

となる。よって、

「売上総額が最大になる販売価格は下がり、売上総額は減る。」

となり答えは **5** である。

問3

条件より

$$\begin{aligned} p &= xy - 900y - 1200 \\ &= (x-900)y - 1200 \\ &= (x-900)\left(-\frac{2}{25}x + 240\right) - 1200 \quad \dots \text{③} \end{aligned}$$

と表されるので、 p は x の2次関数である。ここで、2次関数のグラフの対称性を利用すると、2次関数③のグラフの軸は直線

$$x = \frac{900 + 3000}{2} = 1950$$

となる。よって、 $0 < x < 3000$ より $x = 1950$ のとき p は最大となる。よって利益が最大となるキャップの販売価格は1950円である。 p の最大値は

$$\begin{aligned} p &= 1050\left(-\frac{2}{25} \times 1950 + 240\right) - 1200 = 1050 \times 84 - 1200 \\ &= 87000 \end{aligned}$$

となる。

◀ y (販売数) を $y = ax + b$ として考えている。

◀ 仮定④では

$$a = -\frac{2}{25}, \quad b = 240$$

仮定⑤では

$$a = -\frac{2}{25}, \quad b = 220$$

である。

◀ 仮定④、⑤のときの b の値をそれぞれ b' と b'' とすると、 $a < 0$ より

$$-\frac{b'}{2a} > -\frac{b''}{2a}$$

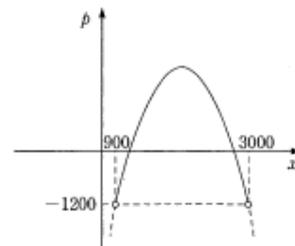
$$-\frac{b'^2}{4a} > -\frac{b''^2}{4a}$$

となる。

◀ y は販売数なので、1個ごとにかかる費用は $900y$ と表すことができる。

◀ 2次関数③は $x = 900$ 、または $x = 3000$ のときに $p = -1200$ となる。

x^2 の係数が負なので、グラフの概形は下のようになる。



2次関数のグラフの対称性からこのグラフの軸は、900と3000の中央にあることがわかる。

(参考) 学習指導要領の関連項目

数学 I

ア 二次関数とそのグラフ

事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。

イ 二次関数の値の変化

(ア) 二次関数の最大・最小

二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。

〔課題学習〕

(1)、(2)、(3)及び(4)の内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどして、生徒の関心や意欲を高める課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識できるようにする。

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θタイプ 1年2回-2年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	数学 I																				
出題のポイント	定理・公式や数学的性質などの知識・技能の理解を測定する。																				
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(5)</td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>	番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)	○		(3)	○		(4)	○		(5)	○						
番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																			
(1)	○																				
(3)	○																				
(4)	○																				
(5)	○																				
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(5)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(3)	○			(4)	○			(5)	○		
番号	選択式	短答式	記述式																		
(1)	○																				
(3)	○																				
(4)	○																				
(5)	○																				
サンプル問題	<p>(1) $xy^3(x^3y)^2 = \boxed{\text{ア}}$ である。</p> <p>① x^6y^6 ② x^7y^5 ③ x^9y^6 ④ $x^{10}y^5$</p> <p>(3) $3x^2 - 5x - 12 = \boxed{\text{イ}}$ である。</p> <p>① $(x-3)(3x+4)$ ② $(x+3)(3x-4)$ ③ $(x-6)(3x+2)$ ④ $(x+6)(3x-2)$</p> <p>(4) $\sqrt{(-9)^2} = \boxed{\text{ウ}}$ である。</p> <p>① -9 ② 9 ③ ± 9 ④ 81</p> <p>(5) $3 - \sqrt{10} = \boxed{\text{エ}}$ である。</p> <p>① $-3 - \sqrt{10}$ ② $3 - \sqrt{10}$ ③ $-3 + \sqrt{10}$ ④ $3 + \sqrt{10}$</p>																				

<p>解答例</p>	<p>(1) 指数法則 (数と式) $a^m a^n = a^{m+n}$, $(a^m)^n = a^{mn}$, $(ab)^n = a^n b^n$ (ただし, m, n は正の整数)</p> <p>(3) 因数分解 (数と式) $acx^2 + (ad+bc)x + bd = (ax+b)(cx+d)$ a, b, c, d を見つけるためには, たすきがけを利用するとよい。</p> $\begin{array}{ccc} a & \times & b \rightarrow bc \\ c & \times & d \rightarrow ad \\ \hline ac & & bd \quad ad+bc \end{array}$ <p style="text-align: center;">(x^2 の係数) (定数項) (x の係数)</p> <p>(4) 平方根 (数と式) a を実数とする。 $\begin{cases} a \geq 0 \text{ のとき, } \sqrt{a^2} = a \\ a < 0 \text{ のとき, } \sqrt{a^2} = -a \end{cases}$ まとめると, $\sqrt{a^2} = a$</p> <p>(5) 絶対値 (数と式) a を実数とする。 $\begin{cases} a \geq 0 \text{ のとき, } a = a \\ a < 0 \text{ のとき, } a = -a \end{cases}$</p>	<p>② $xy^3(x^3y)^2$ $= xy^3(x^3)^2y^2$ $= xy^3x^{3 \times 2}y^2$ $= x^{1+6}y^{3+2} = x^7y^5$</p> <p>① $3x^2 - 5x - 12$ $= (x-3)(3x+4)$</p> $\begin{array}{ccc} 1 & \times & -3 \rightarrow -9 \\ 3 & \times & 4 \rightarrow 12 \\ \hline 3 & & -12 \quad -5 \end{array}$ <p>② $\sqrt{(-9)^2} = -(-9) = 9$ または, $\sqrt{(-9)^2} = -9 = 9$ としてもよい。</p> <p>③ $3 = \sqrt{3^2} = \sqrt{9}$ $\sqrt{9} < \sqrt{10}$ より, $3 - \sqrt{10} < 0$ よって, $3 - \sqrt{10}$ $= -(3 - \sqrt{10})$ $= -3 + \sqrt{10}$</p>
<p>(参考) 学習指導要領の関連項目</p>	<p>(1), (3) 数学 I イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め, 式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p> <p>(4), (5) 数学 I ア 数と集合 (ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し, 簡単な無理数の四則計算をすること。</p>	

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 1年2回-2年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:2

出題科目	数学 I																				
出題のポイント	日常的な事象において、複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決する力を測定する。																				
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問2</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問3</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問1		○	問2		○	問3		○						
番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																			
問1		○																			
問2		○																			
問3		○																			
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問2</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問3</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			番号	選択式	短答式	記述式	問1		○		問2	○			問3			○		
番号	選択式	短答式	記述式																		
問1		○																			
問2	○																				
問3			○																		
サンプル問題	<p>恭平さんが住んでいる地域では、毎年10月に釣り大会が開催され、記念のキャップが販売されている。キャップ販売の担当として、恭平さんはボランティアとして参加することにした。販売担当の係の中で過去の販売価格とキャップの販売数のデータをもとに価格設定を話し合うことになった。</p>  <table border="1"><thead><tr><th></th><th>販売価格(円)</th><th>販売数(個)</th></tr></thead><tbody><tr><td>5年前</td><td>1000</td><td>158</td></tr><tr><td>4年前</td><td>1300</td><td>134</td></tr><tr><td>3年前</td><td>1500</td><td>120</td></tr><tr><td>2年前</td><td>1100</td><td>151</td></tr><tr><td>昨年</td><td>1000</td><td>161</td></tr></tbody></table> <p>恭平さんは、この表を見て『1000円では160個売れ、販売価格を100円上げると、販売数が8個ずつ減るのではないかと考え、キャップの販売価格をx(円)、キャップの販売数をy(個)として販売数を</p> $y = -\frac{2}{25}x + 240$ <p>と表し、yはxの1次関数になると仮定して、販売価格を検討していくことになった。</p> <p>問1 売上総額をz(円)とすると、zをxの式で表せ。</p>				販売価格(円)	販売数(個)	5年前	1000	158	4年前	1300	134	3年前	1500	120	2年前	1100	151	昨年	1000	161
	販売価格(円)	販売数(個)																			
5年前	1000	158																			
4年前	1300	134																			
3年前	1500	120																			
2年前	1100	151																			
昨年	1000	161																			

問2

話し合いの中で、5年前より以前に1000円で販売した際には140個しか売れなかったことがわかり

「1000円では140個売れ、販売価格を100円上げると、販売数が8個ずつ減る」という考えで、販売数を仮定して検討した方がよいのではないかという意見が出た。

恭平さんの仮定と同様に、販売数は販売価格の1次関数になると仮定すると

$$y = -\frac{2}{25}x + 220$$

と表すことができる。この新しい仮定では、恭平さんの仮定と比べると、売上総額が最大になるキャップの販売価格と、そのときの売上総額はどのように変化するか。次の1～7のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 売上総額が最大になる販売価格は上がり、売上総額は増える。
- 2 売上総額が最大になる販売価格は上がり、売上総額は減る。
- 3 売上総額が最大になる販売価格は上がり、売上総額は変わらない。
- 4 売上総額が最大になる販売価格は下がり、売上総額は増える。
- 5 売上総額が最大になる販売価格は下がり、売上総額は減る。
- 6 売上総額が最大になる販売価格は下がり、売上総額は変わらない。
- 7 売上総額が最大になる販売価格は変わらず、売上総額も変わらない。

問3

恭平さんの仮定のもとで販売したときの利益を考えていくことにした。キャップを制作する費用については下記の表のとおり、「デザイン料」と「キャップ本体+プリント代」の2つがあるものとし、売上総額からかかった費用を引いたものを利益とする。

デザイン料	1200円
キャップ本体+プリント代	1個につき900円

すべてを売り切るつもりでキャップを制作する。キャップの販売価格を x (円)、利益を p (円)とすると、 p を x の式で表し、利益が最大となるキャップの販売価格を求めよ。その理由も説明せよ。

解答例

問1

キャップの売上総額は、キャップの販売価格と販売数の積であるから $z = xy = x\left(-\frac{2}{25}x + 240\right)$

問2

仮定④での売上総額が最大になる x の値を考える。問1より

$$z = x\left(-\frac{2}{25}x + 240\right) \dots \text{①}$$

この2次関数①が最大となるような x の値を求めればよい。 $z = 0$ のときの x の値は、 $x = 0, 3000$ より、2次関数①のグラフの軸は直線 $x = 1500$ となる。よって、 $0 < x < 3000$ より $x = 1500$ のとき z は最大となる。そのときの z の値は

$$z = 1500\left(-\frac{2}{25} \times 1500 + 240\right) = 1500 \times 120 = 180000$$

となる。

次に

「1000円では140個売れ、販売価格を100円上げると、販売数が8個ずつ減る」…⑤

この仮定⑤についての売上総額が最大になる x の値を仮定④と同様に考える。仮定⑤における売上総額を z' (円) とすると

$$z' = x\left(-\frac{2}{25}x + 220\right) \dots \text{②}$$

となり、この2次関数②が最大となるような x の値を考える。まず、 $x > 0$ 、 $-\frac{2}{25}x + 220 > 0$ より、

$$0 < x < 2750$$

$z' = 0$ のときの x の値は、 $x = 0, 2750$ より、2次関数②のグラフの軸は直線 $x = 1375$ となる。よって、 $0 < x < 2750$ より $x = 1375$ のとき z' は最大となる。そのときの z' の値は

$$z' = 1375\left(-\frac{2}{25} \times 1375 + 220\right) = 1375 \times 110 = 151250$$

となる。

これより、仮定⑤の場合を、仮定④の場合と比較すると

「売上総額が最大になる販売価格は下がり、売上総額は減る。」

となり答えは5である。

$$\blacktriangleleft (\text{売上総額}) = (\text{販売価格}) \times (\text{販売数})$$

$$\blacktriangleleft x\left(-\frac{2}{25}x + 240\right) = 0 \quad (0 < x < 3000)$$

を解いた値。

※式を展開し、平方完成して、グラフの頂点の座標を求めてもよいが、実際の場面では、数値が大きくなるので、計算が煩雑になる。グラフの性質などを利用して、計算の工夫を行いたい。

$$\blacktriangleleft \text{①では(仮定④) } x = 1500 \text{ のとき最大値は } 180000$$

$$\text{②では(仮定⑤) } x = 1375 \text{ のとき最大値は } 151250 \text{ となる。}$$

【別解】

売上総額は(販売価格)×(販売数)で表すことができるので

$$z = x(ax+b)$$

として表すと

$$z = ax^2 + bx = a\left(x^2 + \frac{b}{a}x\right) = a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2}{4a}$$

となり、仮定④、⑤ともに $a < 0$ であるから、売上総額が最大となる x の値を s 、そのときの売上総額を t とすると
 $s = -\frac{b}{2a}$, $t = -\frac{b^2}{4a}$ である。

次に、仮定④、⑤の場合の a と b の値をそれぞれ比較すると、 a については

$$(\text{仮定④}) = (\text{仮定⑤})$$

となり、 b については

$$(\text{仮定④}) > (\text{仮定⑤})$$

となる。以上より

$$s : (\text{仮定④}) > (\text{仮定⑤})$$

$$t : (\text{仮定④}) > (\text{仮定⑤})$$

となる。よって、

「売上総額が最大になる販売価格は下がり、売上総額は減る。」

となり答えは **5** である。

問3

条件より

$$\begin{aligned} p &= xy - 900y - 1200 \\ &= (x-900)y - 1200 \\ &= (x-900)\left(-\frac{2}{25}x + 240\right) - 1200 \quad \dots \text{③} \end{aligned}$$

と表されるので、 p は x の2次関数である。ここで、2次関数のグラフの対称性を利用すると、2次関数③のグラフの軸は直線

$$x = \frac{900+3000}{2} = 1950$$

となる。よって、 $0 < x < 3000$ より $x = 1950$ のとき p は最大となる。よって利益が最大となるキャップの販売価格は1950円である。 p の最大値は

$$\begin{aligned} p &= 1050\left(-\frac{2}{25} \times 1950 + 240\right) - 1200 = 1050 \times 84 - 1200 \\ &= 87000 \end{aligned}$$

となる。

◀ y (販売数) を $y = ax + b$ として考えている。

◀ 仮定④では

$$a = -\frac{2}{25}, b = 240$$

仮定⑤では

$$a = -\frac{2}{25}, b = 220$$

である。

◀ 仮定④、⑤のときの b の値をそれぞれ b' と b'' とすると、 $a < 0$ より

$$-\frac{b'}{2a} > -\frac{b''}{2a}$$

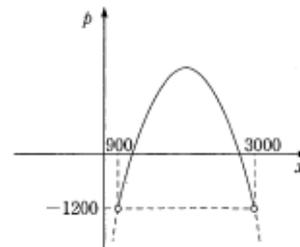
$$-\frac{b'^2}{4a} > -\frac{b''^2}{4a}$$

となる。

◀ y は販売数なので、1個ごとにかかる費用は $900y$ と表すことができる。

◀ 2次関数③は $x = 900$ 、または $x = 3000$ のときに $p = -1200$ となる。

x^2 の係数が負なので、グラフの概形は下のようになる。



2次関数のグラフの対称性からこのグラフの軸は、900と3000の中央にあることがわかる。

(参考) 学習指導要領の関連項目

数学 I

ア 二次関数とそのグラフ

事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。

イ 二次関数の値の変化

(ア) 二次関数の最大・最小

二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。

〔課題学習〕

(1)、(2)、(3)及び(4)の内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどして、生徒の関心や意欲を高める課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識できるようにする。

(様式 5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：1

出題科目	コミュニケーション英語 I																																						
出題のポイント	ある程度の長さの論説・説明文を読み、そのポイントが理解できているか、要旨をまとめることができるかを測定する。																																						
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問 1</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 2</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問 3</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 4</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問 5</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問 6</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問 1		○	問 2	○		問 3		○	問 4	○		問 5	○		問 6		○														
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																																					
問 1		○																																					
問 2	○																																						
問 3		○																																					
問 4	○																																						
問 5	○																																						
問 6		○																																					
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問 1</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 2</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 3</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 4</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 5</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 6</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	問 1	○			問 2	○			問 3	○			問 4	○			問 5	○			問 6	○									
小問番号	選択式	短答式	記述式																																				
問 1	○																																						
問 2	○																																						
問 3	○																																						
問 4	○																																						
問 5	○																																						
問 6	○																																						
主として問う技能 (英語のみ)	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td>問 1</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 2</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 3</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 4</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 5</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 6</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	問 1		○			問 2		○			問 3		○			問 4		○			問 5		○			問 6		○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く																																			
問 1		○																																					
問 2		○																																					
問 3		○																																					
問 4		○																																					
問 5		○																																					
問 6		○																																					

サンプル
問題

次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

Some parents like to post their children's photos on social media. A study found that such parents post about 1,000 photos of their children online before they are five years old.

Posting photos of children is a convenient way for parents to share them with their friends and family. The children's grandparents may not live near them, but they can easily enjoy (a). Some smartphone applications make it very easy to take photos and post them online in a few seconds.

But there are a lot of people who say that parents should not post photos of children online. Naturally, children have their own privacy. Most parents are posting photos without thinking about that. Children are usually not old enough to understand the meaning of privacy. Posting their photos online is like making a TV program on their life without thinking seriously of their privacy.

There may be some trouble when young people realize one day that their whole lives have been recorded online from the day they were born. Photos posted by parents may be photos of children taking a bath or sitting on the toilet. They can take down the photos, but maybe they have already been copied by someone and used for some not-so-good purposes.

A few days ago, I saw a TV program about a mother who posted her family photos online. She learned a lesson when her daughter started asking her to stop posting photos of her when she was 15. "My daughter asked me in tears to stop posting her photos," the mother said. "My first answer was, 'It's my photo.' My daughter started to cry and said, 'Don't you love me? You just want to show me to someone by posting my photos on your blog! I'm sad because you don't protect me at all.' So, I have never posted a photo since then."

A lot of parents, (b), continue to post photos of their children online. They say it is a great way to keep connections to others and build a community of support. These people may feel lonely while raising young children.

問 1 文中の空所(a)に入れるのに最も適当なものを、次 1~4 のうちから一つ選べ。

- 1 talking with their grandchildren on the phone
- 2 meeting other children around them
- 3 seeing their grandchildren's photos
- 4 taking a lot of photos of their children

問 2 下線部アの表す内容として最も適当なものを、次の 1 ~ 4 のうちから一つ選べ。

- 1 Children have their own privacy.
- 2 Parents should not post photos online.
- 3 Many people don't agree with the posting of photos online.
- 4 Understanding the meaning of privacy is difficult.

	<p>問 3 下線部イの文中での意味として最も適当なものを，次の 1～4 のうちから一つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 be proud of 2 feel sad about 3 post 4 remove <p>問 4 下線部ウの表す内容として最も適当なものを，次の 1～4 のうちから一つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 After posting photos of your children, you'll find that some of them feel they are loved by you. 2 Before posting photos of your children online, you should check how they feel about it. 3 If you take photos of your children, you can talk about the photos with them. 4 If you want to post photos of your children online, you should use only the ones you took. <p>問 5 文中の空所(b)に入れるのに最も適当なものを，次の 1～4 のうちから一つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 for example 2 however 3 in addition 4 so <p>問 6 本文全体の主旨として最も適当なものを，次の 1 ～ 4 のうちから一つ選べ。55</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 There are some parents who like to post their children's photos on social media. 2 Posting photos of children online may seem like a good idea, but it may lead to trouble later on. 3 Posting photos of children online is a convenient way for parents to share them with other people. 4 Parents who like to post photos of their children online feel lonely while raising them.
<p>解答例</p>	<p>問 1 3 問 2 1 問 3 4 問 4 2 問 5 2 問 6 2</p> <p>文脈のつながりが理解できているか、未知語を類推できるか、指示語が指す内容が理解できているか、趣旨が理解できているか等がポイント</p>
<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>コミュニケーション英語 I</p> <p>(1) イ説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。また，聞き手に伝わるように音読する。</p>

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：2

出題科目	コミュニケーション英語 I			
出題のポイント	立場を明確にして、英語で自分の意見を理由とともに述べるかを測定する。			
主として問う能力	小問番号 —	知識・技能	思考力・判断力・表現力等 ○	
出題形式	小問番号 —	選択式	短答式	記述式 ○
主として問う技能 (英語のみ)	小問番号 —	聞く	読む	話す ○
サンプル問題	あなたは映画を映画館で見ると家で見るのでは、どちらが好きですか。理由とともに20語程度の英語で答えなさい。			
解答例	<ul style="list-style-type: none"> ・ I go to the movie theater rather than watch movies at home because the screen is wider and the sound system is better.(23 words) ・ I prefer watching movies at home to going to the theater because I can watch movies whenever I want to.(20 words) <p>自分の意見を立案し、意見と理由の整合性も考えて書くことがポイント。</p>			
(参考)学習指導要領の関連項目	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容</p> <p>(1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え等について、簡潔に書く。</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句等に注意しながら読んだり書いたりすること。</p>			

サンプル問題について

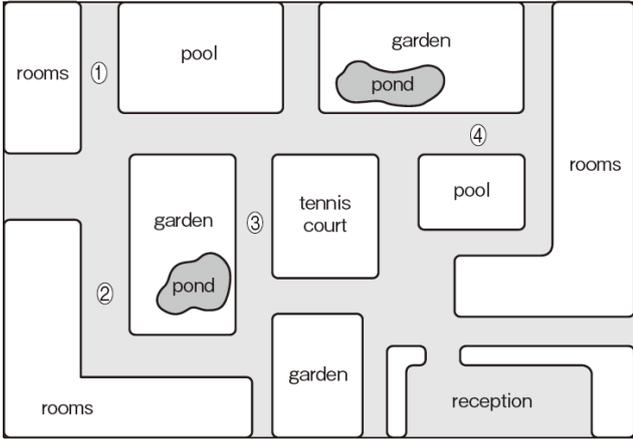
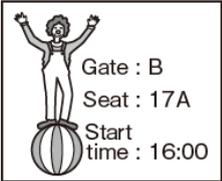
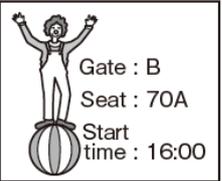
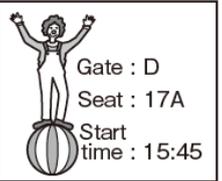
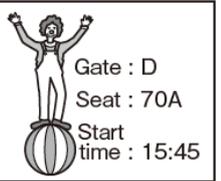
事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

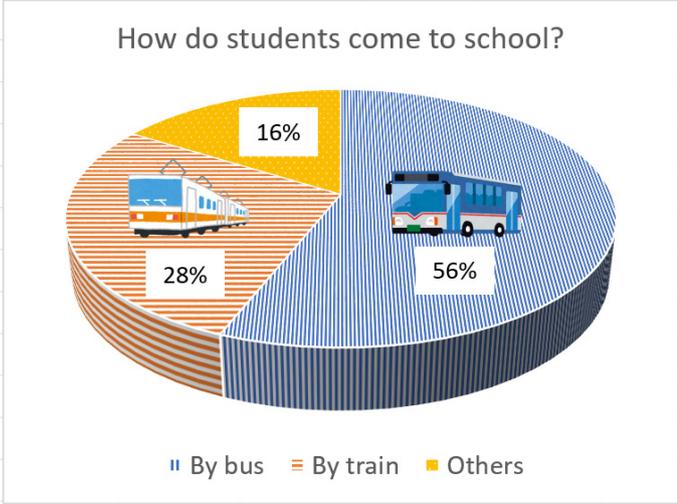
サンプル問題番号：3

出題科目	コミュニケーション英語 I																		
出題のポイント	対話文を聞いて状況を理解し、対話の流れを予想できるかを測定する。																		
主として問う能力	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">小問番号</th> <th style="width: 35%;">知識・技能</th> <th style="width: 20%;">思考力・判断力・表現力等</th> <th style="width: 20%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		(1)	○			(2)	○					
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
(1)	○																		
(2)	○																		
出題形式	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">小問番号</th> <th style="width: 20%;">選択式</th> <th style="width: 20%;">短答式</th> <th style="width: 35%;">記述式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○					
小問番号	選択式	短答式	記述式																
(1)	○																		
(2)	○																		
主として問う技能（英語のみ）	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">小問番号</th> <th style="width: 15%;">聞く</th> <th style="width: 15%;">読む</th> <th style="width: 15%;">話す</th> <th style="width: 35%;">書く</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	(1)	○				(2)	○			
小問番号	聞く	読む	話す	書く															
(1)	○																		
(2)	○																		
サンプル問題	<p>それぞれの問いについて英文を聞き、答えとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つずつ選べ。なお、英文は一回ずつ読まれる。</p> <p>(1) Where is the speaker now ?</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(2) Which picture shows the correct ticket ?</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>①</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>②</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>③</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>④</p>  </div> </div>																		

	<p>【放送文】</p> <p>(1) This hotel is huge! I just want to go back to my room but I've got lost. From reception, I went straight with the tennis court on my left. I saw a pond and turned right. Now I can see a garden on my left.</p> <p>(2) This is your ticket for the circus. All the information you need is written here, but just to remind you, the show starts at 4 p.m. But I recommend coming 15 minutes before that as it gets crowded. Your seat is 17A and you enter at gate B.</p>
<p>解答例</p>	<p>(1) ④ (2) ①</p> <p>モノローグで、必要な情報を正確に聞き取ることがポイント。</p>
<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話等を聞いて、情報や考え等を理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p>

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
 測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回
 対象教科：英語
 測定内容の区分：標準タイプ
 サンプル問題番号：4

出題科目	コミュニケーション英語 I											
出題のポイント	身近なテーマで、第三者について扱った図や表に関して、聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができるかを測定する。											
主として問う能力	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等									
	—		○									
出題形式	小問番号	選択式	短答式	記述式								
	—			○								
主として問う技能 (英語のみ)	小問番号	聞く	読む	話す								
	—			○								
サンプル問題	<p>(下記の問題は、「話すこと」(発表)に関する問題サンプルです。実際には、受検する生徒の学力レベルや実施時期に考慮した内容・難易度での出題を予定しています。)</p> <p>以下の円グラフは、「学校にどのような交通手段で来ているか」をある学校で調査した結果を示している。あなたはこの円グラフについて、説明することになった。まずは30秒間で内容を確認しなさい。その後、何が示されているかを英語で説明しなさい。</p> <div style="text-align: center;">  <p>How do students come to school?</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Transportation Method</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>By bus</td> <td>56%</td> </tr> <tr> <td>By train</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>Others</td> <td>16%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ By bus ■ By train ■ Others</p> </div>				Transportation Method	Percentage	By bus	56%	By train	28%	Others	16%
Transportation Method	Percentage											
By bus	56%											
By train	28%											
Others	16%											
解答例	<p>解答例：At this school, students come to school more by bus than train.</p> <p>解説：グラフの特徴を読み取り、英語で正確に表現する力を測る問題。「電車通学よりもバス通学の方が多い」の他にも、「ほとんどがバスか電車で通学している」など、解答パターンは様々であるが、内容が矛盾しないよう、「誰が」「何を」「どうやって」「どうする」といった要素を明確してから発表するとよい。</p>											

<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>コミュニケーション英語 I</p> <p>2 内容</p> <p>(1) イ 説明や物語等を読んで、情報や考え等を理解したり、概要や要点をとらえたりする。 また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え等について、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> <p>(2) ア リズムやイントネーション等の英語の音声的な特長、話す速度、声の大きさ等に注意しながら聞いたり話したりすること。</p>
---------------------------------------	---

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート βタイプ 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	コミュニケーション英語 I																																						
出題のポイント	ある程度の長さの論説・説明文を読み、そのポイントが理解できているか、要旨をまとめることができるかを測定する。																																						
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th colspan="2">思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問2</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>問3</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>問4</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問5</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>問6</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr></tbody></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		問1		○		問2	○			問3	○			問4		○		問5	○			問6		○								
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																																					
問1		○																																					
問2	○																																						
問3	○																																						
問4		○																																					
問5	○																																						
問6		○																																					
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問2</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問3</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問4</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問5</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問6</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	問1	○			問2	○			問3	○			問4	○			問5	○			問6	○									
小問番号	選択式	短答式	記述式																																				
問1	○																																						
問2	○																																						
問3	○																																						
問4	○																																						
問5	○																																						
問6	○																																						
主として問う技能 (英語のみ)	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問2</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問3</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問4</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問5</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問6</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	問1		○			問2		○			問3		○			問4		○			問5		○			問6		○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く																																			
問1		○																																					
問2		○																																					
問3		○																																					
問4		○																																					
問5		○																																					
問6		○																																					

サンプル
問題

次の英文を読んで、あとの問いに答えよ。

Parents would love to have a child who volunteers to take part in household chores. Now a lot of parents have smartphone applications in order to make their children more useful around the house, (a) some parents may not see the applications as a good way.

Parents don't mind if the applications *resemble videogames. This is because so many children have already been introduced to games on their smartphones and other machines.

These chore applications have the look and feel of a computer adventure game. Children get to pick a character and create *quests (chores) which have different point values. Quests can be set to repeat daily, weekly, monthly, yearly, or just once. When a quest is finished, the character wins and earns points. Some applications even give children digital coins and these can be exchanged for *rewards like TV time or a trip to the ice cream store. Some parents say they really work well to get them to do chores.

A mother of three children aged 4 to 12 started using one of these applications and was impressed by the change she saw in her children. The children became interested in it from the start as they were helping their mom enter the list of chores. The *results have been surprising. "They make their bed, clean up their rooms and *compete to see who can do more housework," says the mother, "It makes me wonder, 'Who are these children?'"

Very young children often like to lend a hand with adult tasks, but few older children say, "(b)" A study in *The International Journal of Time Use Research* found that the number of 9- to 12-year-olds who help with household chores fell from 77% in 1997 to 72% in 2003. By ages 16 to 18, only 65% of children take part in chores.

Experts on parenting say chores teach children self-control. Making an effort and finishing tasks plays an important part in succeeding at school or work. It's best to start teaching children early that chores are a shared family *responsibility. Experts say that if parents can find a way to make chores fun, they should be encouraged to do so.

問1 下線部アの文中での意味として最も適当なものを、次の1~4のうちから一つ選べ。

- 1 housework
- 2 family trip
- 3 homework
- 4 daily communication

問2 文中の空所 (a)に入れるのに最も適当なものを、次の1~4のうちから一つ選べ。

- 1 as soon as
- 2 just before
- 3 because
- 4 though

	<p>問3 下線部 (イ-1) と (イ-2) が指すものの組み合わせとして最も適当なものを、次の 1～4 のうちから一つ選べ。</p> <p>(イ-1) — (イ-2)</p> <p>1 children — some parents</p> <p>2 children — the applications</p> <p>3 the applications — some parents</p> <p>4 the applications — children</p> <p>問4 文中の空所 (b) に入れるのに最も適当なものを、次の 1～4 のうちから一つ選べ。</p> <p>1 What can I do to help ?</p> <p>2 What is the reward for me ?</p> <p>3 I'm too busy to help my parents.</p> <p>4 I don't care about adult tasks.</p> <p>問5 スマートフォンのアプリに関して本文中の記述と合うものを、次の 1～4 のうちから一つ選べ。</p> <p>1 Some applications are designed for children of age 12 or older.</p> <p>2 Some applications give each child a character when he or she finishes the chore.</p> <p>3 Some applications encourage children to do chores by rewarding them.</p> <p>4 Some applications let children compete with their parents in doing chores.</p> <p>問6 本文の内容と一致するものを、次の 1～4 のうちから一つ選べ。</p> <p>1 A lot of parents want their children to take part in household chores without using applications.</p> <p>2 One mother said that her children did not change after trying one of these chore applications.</p> <p>3 A study showed the number of children who volunteer to do housework had increased.</p> <p>4 Experts say children should be encouraged to do housework because it teaches them self-control.</p>
<p>解答例</p>	<p>問1 1 問2 4 問3 4 問4 1 問5 3 問6 4</p> <p>未知語を類推できるか、文脈のつながりが理解できているか、指示語が指す内容が理解できているか、趣旨が理解できているかなどがポイント</p>
<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>コミュニケーション英語 I</p> <p>2 内容</p> <p>(1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p>

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート βタイプ 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:2

出題科目	コミュニケーション英語 I			
出題のポイント	立場を明確にして、英語で自分の意見を理由とともに述べることを測定する。			
主として問う能力	小問番号 —	知識・技能	思考力・判断力・表現力等 ○	
出題形式	小問番号 —	選択式	短答式	記述式 ○
主として問う技能 (英語のみ)	小問番号 —	聞く	読む	話す 書く ○
サンプル問題	あなたは1年に2つ以上のクラブ活動に参加するべきだという意見に対して賛成ですか、反対ですか。理由とともに15語程度の英語で答えなさい			
解答例	<ul style="list-style-type: none"> ・ I agree with this idea because I can make a lot of friends. (13 words) ・ I disagree with this idea because I won't have enough time for either of them. (15 words) 自分の意見を立案し、意見と理由の整合性も考えて書くことがポイント。			
(参考)学習指導要領の関連項目	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。			

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
 測定ツール名:スタディーサポート βタイプ 1年2回-2年1回
 対象教科:英語
 測定内容の区分:標準タイプ
 サンプル問題番号:3

出題科目	コミュニケーション英語 I																		
出題のポイント	対話文を聞いて状況を理解し、対話の流れを予想できるかを測定する。																		
主として問う能力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)	○		(2)	○										
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
(1)	○																		
(2)	○																		
出題形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>選択式</th> <th>短答式</th> <th>記述式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○								
小問番号	選択式	短答式	記述式																
(1)	○																		
(2)	○																		
主として問う技能(英語のみ)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>聞く</th> <th>読む</th> <th>話す</th> <th>書く</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	(1)	○				(2)	○						
小問番号	聞く	読む	話す	書く															
(1)	○																		
(2)	○																		
サンプル問題	<p>(1) 対話を聞き、最後の発言に対する相手の応答として最も適当なものを、下の 1 ~ 4 のうちから一つ選べ。なお、対話は二回読まれる。</p> <p>1 You should take the next one. 2 I don't know where the airport is. 3 This bus is no longer in service. 4 Get off the bus at the second stop.</p> <p>(2) 英文を聞き、答えとして最も適当なものを、下の 1 ~ 4 のうちから一つ選べ。なお、英文は二回読まれる。</p> <p>How much is it for students to have their hair cut ? 1 \$12. 2 \$23. 3 \$25. 4 \$35.</p> <p>【放送文】</p> <p>(1) Woman: Is this the right bus for the city center ? Man: I'm afraid not. It goes to the airport. Woman: Do you know which bus I need to get on ?</p> <p>(2) This is our price list. It's \$35 for cutting any length, long or short. For hair coloring, it's \$40. Straightening or perming costs \$45. Get two or more of these together, for example, a haircut and coloring, and you receive 10% off the total price. For students, there is a \$12 discount for all items.</p>																		

解答例	(1) 1 (2) 2 話者に対する応答や、モノログで示された条件などを聞きとれたかがポイント。
(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
 測定ツール名:スタディーサポート βタイプ 1年2回-2年1回
 対象教科:英語
 測定内容の区分:標準タイプ
 サンプル問題番号:4

出題科目	コミュニケーション英語 I											
出題のポイント	身近なテーマで、第三者について扱った図や表に関して、聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができるかを測定する。											
主として問う能力	小問番号 —	知識・技能	思考力・判断力・表現力等 ○									
出題形式	小問番号 —	選択式	短答式	記述式 ○								
主として問う技能 (英語のみ)	小問番号 —	聞く	読む	話す ○								
サンプル問題	<p>(下記の問題は、「話すこと」(発表)に関する問題サンプルです。実際には、受検する生徒の学力レベルや実施時期に考慮した内容・難易度での出題を予定しています。)</p> <p>以下の円グラフは、「学校にどのような交通手段で来ているか」をある学校で調査した結果を示している。あなたはこの円グラフについて、説明することになった。まずは30秒間で内容を確認しなさい。その後、何が示されているかを英語で説明しなさい。</p> <div data-bbox="306 1332 986 1839" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>How do students come to school?</caption> <thead> <tr> <th>Transportation Method</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>By bus</td> <td>56%</td> </tr> <tr> <td>By train</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>Others</td> <td>16%</td> </tr> </tbody> </table> </div>				Transportation Method	Percentage	By bus	56%	By train	28%	Others	16%
Transportation Method	Percentage											
By bus	56%											
By train	28%											
Others	16%											
解答例	<p>解答例: At this school, students come to school more by bus than train.</p> <p>解説: グラフの特徴を読み取り、英語で正確に表現する力を測る問題。「電車通学よりもバス通学の方が多い」の他にも、「ほとんどがバスか電車で通学している」など、解答パターンは様々であるが、内容が矛盾しないよう、「誰が」「何を」「どうやって」「どうする」といった要素を明確してから発表するとよい。</p>											

<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>
---------------------------------------	---

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θタイプ 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

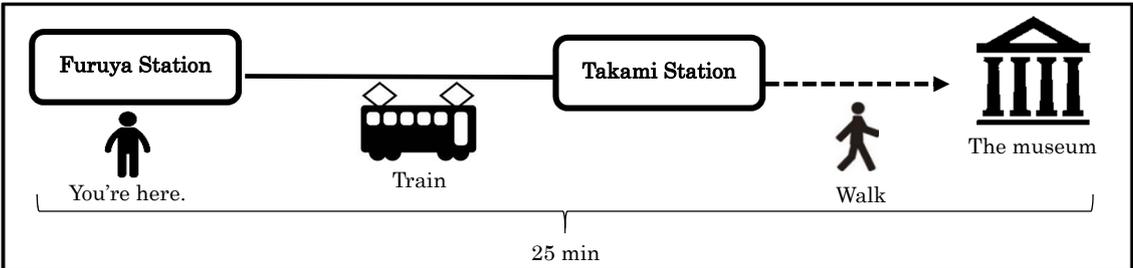
サンプル問題番号:1

出題科目	コミュニケーション英語 I																	
出題のポイント	ある程度の長さの会話文を読み、状況や会話の流れが理解できているかを測定する。																	
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)	○		(2)	○									
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																
(1)	○																	
(2)	○																	
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○							
小問番号	選択式	短答式	記述式															
(1)	○																	
(2)	○																	
主として問う技能(英語のみ)	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	(1)		○			(2)		○				
小問番号	聞く	読む	話す	書く														
(1)		○																
(2)		○																
サンプル問題	<p>次の会話文の空所 (1) , (2) に入れるのに最も適当な文を、それぞれ下の1 ~ 4のうちから一つずつ選べ。</p> <p>Grandmother : Thank you so much for coming to help in my garden today.</p> <p>Emily : You're welcome, Grandma. These flowers are so cute. Where did you get them ?</p> <p>Grandmother : From a flower shop near my house. They're in season now.</p> <p>Emily : I like them very much. (1)</p> <p>Grandmother : You don't have to do that. Just take some from here and plant them in your garden.</p> <p>Emily : That sounds good.</p> <p>Grandmother : Once you plant them, be careful that you don't water them too much.</p> <p>Emily : (2)</p> <p>Grandmother : Only when the ground is dry.</p> <p>Emily : I will take care to check for that. Thank you !</p> <p>(1) 1 I want to buy some for my garden. 2 I've never seen them there. 3 Do I have to plant them ? 4 Should I come here tomorrow ?</p> <p>(2) 1 How long can I keep them ? 2 How often is best to water them ? 3 Where do I need to plant them ? 4 When can you come to check them ?</p>																	

解答例	(1) 1 (2) 2 会話の前後の文脈から、最適な発言を選択するのがポイント。
(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語 I (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
 測定ツール名:スタディーサポート θタイプ 1年2回-2年1回
 対象教科:英語
 測定内容の区分:標準タイプ
 サンプル問題番号:2

出題科目	コミュニケーション英語 I			
出題のポイント	与えられた図表などの情報を正しく読み取り、英語で説明できるかを測定する。			
主として問う能力	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	
	—		○	
出題形式	小問番号	選択式	短答式	記述式
	—			○
主として問う技能 (英語のみ)	小問番号	聞く	読む	話す
	—			○
サンプル問題	<p>次のイラストは、フルヤ駅から博物館まで行く方法と所要時間を示しています。次の空所に15語程度の英語を補い、フルヤ駅から博物館まで行く方法と所要時間を説明しなさい。ただし、複数の文になってもよい。</p>  <p>If you want to go to the museum, ()</p>			
解答例	<ul style="list-style-type: none"> ・ If you want to go to the museum, (go to Takami Station by train and walk to the museum. It'll take 25 minutes.) (15 words) ・ If you want to go to the museum, (take a train to Takami Station and then walk to the museum. It'll take 25 minutes.) (16 words) <p>図とそこに書いてある情報を読み取り、適切な説明ができるかがポイント。</p>			
(参考)学習指導要領の関連項目	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>			

サンプル問題について

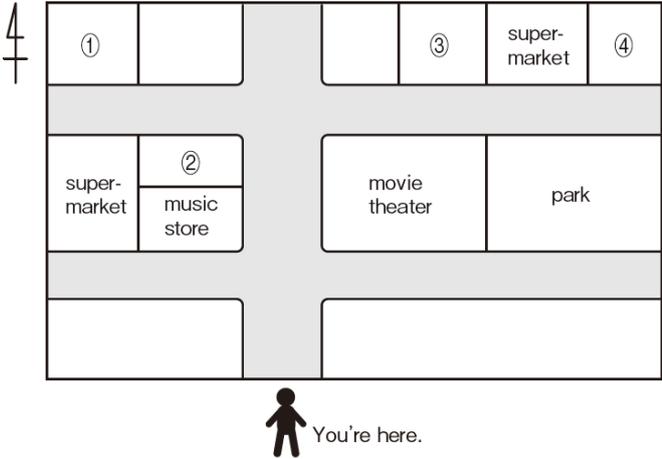
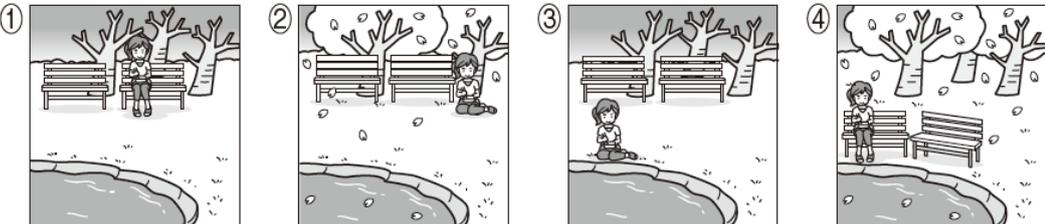
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θタイプ 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:3

出題科目	コミュニケーション英語 I																		
出題のポイント	放送文を聞いて、場面や状況を想像できるかを測定する。																		
主として問う能力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)	○		(2)	○										
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
(1)	○																		
(2)	○																		
出題形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>選択式</th> <th>短答式</th> <th>記述式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○								
小問番号	選択式	短答式	記述式																
(1)	○																		
(2)	○																		
主として問う技能(英語のみ)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>聞く</th> <th>読む</th> <th>話す</th> <th>書く</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	(1)	○				(2)	○						
小問番号	聞く	読む	話す	書く															
(1)	○																		
(2)	○																		
サンプル問題	<p>それぞれの問いについて英文を聞き、答えとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つずつ選べ。なお、英文は一回ずつ読まれる。</p> <p>(1) Where is the post office ?</p>  <p>(2) Which picture shows the park on the day the speaker visited it ?</p> 																		

	<p>【放送文】</p> <p>(1) The post office is easy to find. From here, walk north up the street. Pass the music store on your left and then turn right. Walk down that street and you'll see the post office on your left, just past the supermarket.</p> <p>(2) The park I went to is famous for cherry trees and a beautiful lake. I was unlucky and didn't see any flowers there. There were two benches under the cherry trees, but I didn't sit on either. I enjoyed eating lunch on the ground by the lake.</p>
解答例	<p>(1) ④ (2) ③</p> <p>モノローグから必要なキーワードを聞きとり、情景を頭の中で描くことができるかがポイント。</p>
(参考)学習指導要領の関連項目	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p>

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θタイプ 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:4

出題科目	コミュニケーション英語 I											
出題のポイント	身近なテーマで、第三者について扱った図や表に関して、聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができるかを測定する。											
主として問う能力	小問番号 —	知識・技能	思考力・判断力・表現力等 ○									
出題形式	小問番号 —	選択式	短答式	記述式 ○								
主として問う技能 (英語のみ)	小問番号 —	聞く	読む	話す ○								
サンプル問題	<p>(下記の問題は、「話すこと」(発表)に関する問題サンプルです。実際には、受検する生徒の学力レベルや実施時期に考慮した内容・難易度での出題を予定しています。)</p> <p>以下の円グラフは、「学校にどのような交通手段で来ているか」をある学校で調査した結果を示している。あなたはこの円グラフについて、説明することになった。まずは30秒間で内容を確認しなさい。その後、何が示されているかを英語で説明しなさい。</p> <div data-bbox="308 1335 986 1839" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>How do students come to school?</caption> <thead> <tr> <th>Transportation Method</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>By bus</td> <td>56%</td> </tr> <tr> <td>By train</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>Others</td> <td>16%</td> </tr> </tbody> </table> </div>				Transportation Method	Percentage	By bus	56%	By train	28%	Others	16%
Transportation Method	Percentage											
By bus	56%											
By train	28%											
Others	16%											
解答例	<p>解答例: At this school, students come to school more by bus than train.</p> <p>解説: グラフの特徴を読み取り、英語で正確に表現する力を測る問題。「電車通学よりもバス通学の方が多い」の他にも、「ほとんどがバスか電車で通学している」など、解答パターンは様々であるが、内容が矛盾しないよう、「誰が」「何を」「どうやって」「どうする」といった要素を明確してから発表するとよい。</p>											

<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>コミュニケーション英語 I</p> <p>(1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> <p>(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>
---------------------------------------	---